Vodafone702NKII
取扱説明書

9237245
第 1 版

CE 168

適合宣言
NOKIA CORPORATION は、その責任において、本製品「RM-36」が Council Directive 1999/5/EC の規定に準拠していることをここに宣言します。適合宣言書につきましては、こちらをご参照ください。
http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port は、Nokia Corporation の登録商標または商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。

symbian

本機には、Symbian Software Ltd © 1998-200(5) よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian および Symbian OS は、Symbian Ltd の商標です。

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

Stac ®, LZS ®, © 1996, Stac, Inc., © 1994-1996 Microsoft Corporation. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。

Hi/fn ®, LZS ®, © 1988-98, Hi/fn. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。

本機ソフトウェアの一部の著作権は次のとおりです。
© Copyright ANT Ltd. 1998. All rights reserved.
本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権は次のとおりです。Copyright © 1997-2005. Tegic Communications, Inc. All rights reserved.

本製品は、下記に直接関連する場合以外、MPEG-4 ビジュアル標準に準拠したいかなる使用も禁止されています。(A) データまたは情報のうち（1）事業に関連せずに消費者が作成しそこから無償で入手されたもので、かつ、(2) 個人での利用のみを目的とするもの、並びに (B) その他、米 MPEG LA LLC（MPEG Licensing Administrator, Limited Liability Company）社より別途具体的に許諾された使用。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

Nokia は、状況のいかんを問わず、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用できる製品は地域により異なります。お近くの Nokia 代理店にお問い合わせください。

輸出規制
本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

9237245
第 1 版

目 次

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載されています。

安全を確認して電源をお入れください 携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉 携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください 規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源を切ってください 規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは 携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください 規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください 製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス 資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池 指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください 本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ 重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続 本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報 本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。 を必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。緊急通報の電話番号を入力し、 を押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

本機について

本機は EGSM900、GSM1800、GSM1900、および WCDMA2000 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されているサービスプロバイダにご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

警告 : アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、サービスプロバイダのサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されているサービスプロバイダのサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されているサービスプロバイダから、サービスをご利用になる際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は 3GPP GSM リリース 99 端末で、GPRS サービスに対応しています。また、リリース 97 GPRS ネットワークに対応するよう設計されていますが、すべてのリリース 97 GPRS ネットワークにおいて本機の機能の動作が保証されているわけではありません。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル (HTTP と SSL) に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-MAIL、またはブラウザや MMS を経由したコンテンツダウンロードなどの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

アクセサリ、電池、充電器

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認してください。本機は、ACP-12、LCH-12 充電器に対応しています。

警告 : 本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

認定アクセサリの在庫状況については、製品お買い上げ店までお問い合わせください。アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

本機やアクセサリには小さい部品がついています。お子様の手の届く所に置かないでください。

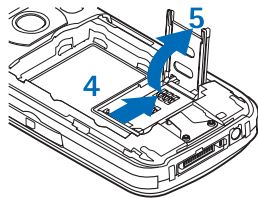
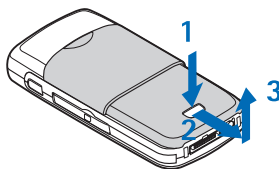
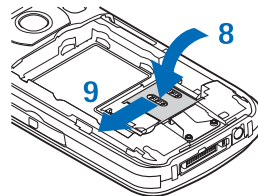
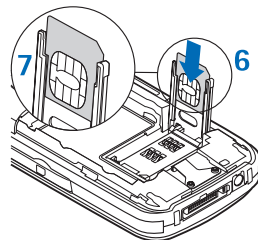
本書に記載されているアイコンは、電話機に表示されるものと異なる場合があります。

お使いになる前に

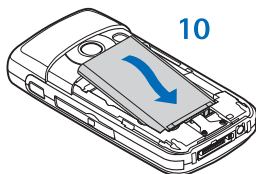
SIM カードまたは USIM カードと電池を取り付ける

用語： USIM カードは SIM カードの拡張版で、WCDMA 携帯電話に対応しています。

1. 本体を裏返して、解除ボタンを押し（1）、カバーを矢印の方向にスライドします（2）。
2. カバーを持ち上げます（3）。

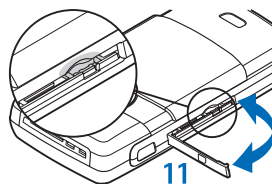
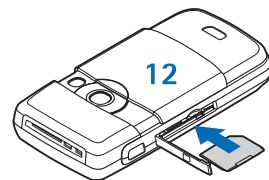
3. SIM カードホルダをはずすには、ホルダを矢印の方向にスライドして（4）開きます（5）。
4. SIM カードまたは USIM カードをホルダに挿入します（6）。SIM カードの角が欠けた部分（7）がホルダの上方向に向いていて、SIM カードの接続端子部分が本体の接続端子と向かい合っていることを確認します。

5. SIM カードホルダを閉じて（8）、所定の位置にきちんと取り付けます（9）。

6 電池を挿入します (**10**)。

7 バックカバーを元に戻します。

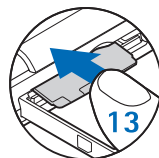
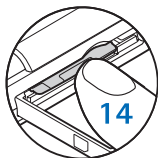
メモリカードを取り付ける

メモリカードは、電話機本体のメモリを保存する場合に使用します。販売パッケージには、次のものが同梱されています。

•メモリカード (小型 MultiMediaCard、RSMMC)

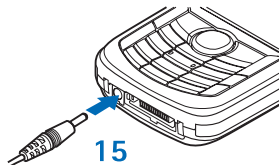
•MultiMediaCard (MMC) アダプタ
このアダプタは本機でメモリカードを使用するときには必要ありません。フルサイズの MMC スロットを備えた別の機器でメモリカードを使用する場合に使用します。

1 メモリカードを取り付けるには、メモリカードスロットのカバーを開きます (**11**)。本体を下向きにし、カバーの上側にあるくぼみに指を入れて、カバーの下側を引き出します。

2 メモリカードをスロットに挿入します (**12**)。角が欠けた部分が本体の底側を向き、カードの接続端子部分が下向きになっていることを確認してください。

3 カードを押し込みます (**13**)。所定の位置に収まると、カチッという音が聞こえます。

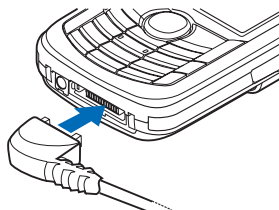
4 カバーを閉じます。カバーが開いているとメモリカードを使用できません。

メモリカードを取り出す

1 メモリカードスロットのカバーを開きます。
2 メモリカードを押して、スロットからはずします (14)。
3 メモリカードを取り出します。本機の電源が入っている場合は、[OK] を押します。

処理の途中でメモリカードスロットカバーを開かないでください。メモリカードや電話機本体、カードに保存されているデータが破損する可能性があります。

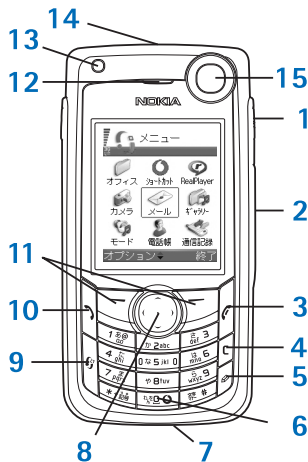
電池を充電する

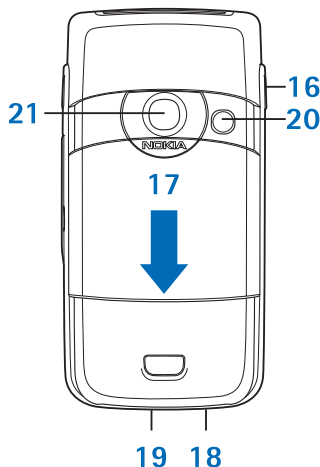
1 充電器のプラグをコンセントに差し込みます。
2 電源コードを本機に接続します (15)。
電池残量表示が点滅を開始します。充電中も本機を使用できます。電池残量がまったく無い状態で充電を開始すると、充電表示が出るまでに数分かかる場合があります。

3 電池の充電が終了すると、電池残量表示の点滅が止まります。まず充電器を本機からはずし、次に充電器のプラグをコンセントから抜きます。

ヘッドセット

本機対応ヘッドセットを本機の Pop-Port™ コネクタに接続します。

警告 : ヘッドセットを使用すると、周囲の音が聞こえにくくなります。お客様の安全を脅かすおそれがある状況では、ヘッドセットの使用をお控えください。

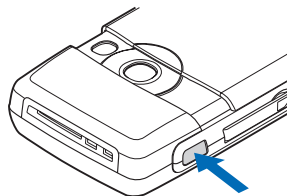
各部の名称と機能

- [ ] 電源キー (**1**)
- メモリカードスロット (**2**)
- [ ] 終了キー (**3**)
- [ ] クリアキー (**4**) を押すと、文字や項目を削除できます。
- [ ] 編集キー (**5**) を押すと、文字を編集するときのコマンド (**コピー**、**切り取り**、**貼り付け**など) のリストが表示されます。
- [ ] (**6**) を長く押すと、**インターネット**に接続されます。
- マイク (送話口)(**7**)
- [ ] メニュー移動用のナビゲーションキー (**8**)。中央のナビゲーションキー [ ] を押すと、選択、確定、または開始できます。
- [ ] メニューキー (**9**) を押すと、メインメニューが表示されます (図を参照)。
- [ ] 開始キー (**10**)
- 左 [ ] および右 [ ] ソフトキー (**11**) を押すと、画面に表示されるコマンドを選択できます。
- 受話口 (**12**)
- 光センサー (**13**) は常に周囲の明るさを測定し、暗い場合に表示部やキーを明るくします。
- ハンズフリースピーカー (**14**)
- フロントカメラ (**15**)(テレビ電話用で、バックカメラより低解像度)

- [ ] 通話中にボイスキー (**16**) を押すと、ハンズフリーモードのオンとオフを切り替えることができます。待受画面で

[ ] を長く押すと、音声コマンドを有効にできます。
- カメラレンズカバー (**17**) を開くと、バックカメラが起動します。この操作により、キー操作ロックがオンの場合はオフになります。カメラレンズカバーを閉じると本機は元のモードに戻ります。キー操作ロックがオンであった場合は再びオンになります。
- 充電器の外部接続端子 (**18**)
- Pop-Port™ コネクタ (**19**)(USB データケーブルやヘッドセットなどのアクセサリ用)
- LED フラッシュ (**20**)

- バックカメラ (**21**)(高解像度の静止画撮影やビデオ録画用)

本機の電源を入れる

電源キー ( ) を長く押します。

PIN コード、UPIN コード、またはロックコードの入力を求められたら、コードを入力して (**** と表示されます)、[ ] (**[OK]**) を押します。PIN コードや UPIN コードは通常、SIM カードまたは USIM カードと一緒に提供されます。ロックコードの初期設定は 12345 です。アクセスコードの詳細については、本書の「ツール ― 設定 ― セキュリティ」を参照してください。

本機には内蔵アンテナがあります。

注意： 他の無線送信機器と同様、本機の電源が入っているときには不用意にアンテナに触れないでください。アンテナに触れると、通話の音質に影響を及ぼしたり、本機が必要以上に高い電力レベルで動作したりする可能性があります。本機の動作時にアンテナ領域に触れないようにすると、アンテナの性能や電池の寿命が最適な状態になります。

ディスプレイについて

ディスプレイとフロントカメラを覆っている保護用プラスチックフィルムをはがしてください。

画面上の少数のドットが表示されなかったり、変色したり、明るく光ったりすることがあります。これは、このタイプのディスプレイに特有のことです。一部のディスプレイでは、ピクセルやドットがオンまたはオフのままになることがありますが、正常なことであり不具合ではありません。

初回設定

1 はじめて本機の電源を入れたときに、次の情報を設定するように求められる場合があります。
都市、**時刻**、**日付**：（ナビゲーションキー）と番号キーを使用します。都市名の最初の文字を入力すると、都市名を検索できます。漢字の都市名の場合は、都市名の最初の文字を入力して漢字に変換します。例えば、「東京」を検索する場合、最初の文字の「東」を入力して検索します。都市を選択すると、本機の時計のタイムゾーンも指定されます。

2 （メニューキー）を押すと、メインメニューが表示されます。

注意： 電話機のメニュー項目の選択順序やアイコンはサービスプロバイダや携帯電話事業者によって異なります。このガイドの説明とは異なる機能については、サービスプロバイダ、または携帯電話事業者までお問い合わせください。

MMS 設定とインターネット設定を構成する

本機には構成ツールがあり、サービスプロバイダ情報に基づいて、MMS、パケットデータ、ストリーミング、インターネットの設定を自動的に構成します。本機には、あらかじめボーダフォンの MMS とウェ

ブの設定がされていますので、設定の必要はありません。

主要なアイコン

「 」本機が GSM ネットワークで使用されています。

「 」本機が WCDMA ネットワークで使用されています。

「 」- 留守番電話サービスセンターに新しい伝言メッセージがあります。

「 」**メール**の**受信メール**フォルダにメッセージが 1 件以上着信しています。アイコンが点滅している場合は、**受信メール**フォルダがいっぱいでメモリ不足の状態を示します。不要なデータを削除してください。

「 」E メールクライアントに新着メールがあります。

「 」**未送信メール**フォルダに送信待ちのメッセージがあります。

「 」/「 」不在着信があります。

「 」**マナーモード**に設定されると表示されます。マナーモードの設定については「音の設定」(P.23) を参照してください。

「 」本機のキー操作がロックされています。

「 」使用中のアラームがあります。

「 」回線 2 が使用中です。

「 」本機に着信する通話がすべて別の電話番号に転送されます。回線が 2 つある場合、回線 1 の転送インジケータは「 」、回線 2 のインジケータは「 」になります。

「 」ヘッドセットが本機に接続されています。

「 」ループセットが本機に接続されています。

「 」Bluetooth 対応の車載キットが本機に接続されています。

「 」Bluetooth 対応ヘッドセットとの接続が切れました。

「 」データ通信が使用中です。

「 」GPRS または EDGE パケットデータ接続が利用可能です。

「 」GPRS または EDGE パケットデータ接続が使用中です。

「 」GPRS または EDGE パケットデータ接続が保留中です。

「 」WCDMA パケットデータ接続が利用可能です。

「 」WCDMA パケットデータ接続が使用中です。

「 」Bluetooth 接続が**オン**に設定されています。

「 」Bluetooth 接続でデータを転送中です。

「 」USB 接続が使用中です。

キー操作ロック (キーガード)

キー操作ロックを使用すると、誤ってキーを押さないようにできます。

ロックするには : 待受画面で、[ ] を押し、すぐに [＊+] を押します。キー操作がロックされているときは、画面に「 」が表示されます。

ロックを解除するには : [ ] を押し、すぐに [＊+] を押します。

キー操作ロックがオンであっても、本機にプログラムされた公認の緊急電話番号には発信できます。緊急電話番号を入力して、 を押します。

キー操作ロックがオンであるときに画面のバックライトを点灯するには、 を押します。

お使いの USIM カードによっては、この状況で、110、118、119 に発信できないことがあります。その場合は、このオプションをオフにし、緊急通報 (P.158) に従って、これらの番号にダイヤルしてください。

注意 : カメラレンズカバーを開くと、キー操作ロックが解除されますのでご注意ください。

待受画面のショートカット機能

・ 開いているアプリケーション間で切り替えをおこなうには、 を長く押します。
アプリケーションを終了するには、アプリケーションを選択して C を押します。メモリ残量が少なくなると、本機によって一部のアプリケーションが閉じられる場合があります。
未保存のデータはアプリケーションが閉じられる前に保存されますが、すべてのケースにおいて保存されるとは限りません。

・ **ショートカット**リストを開くには、待受画面で を押します。

・ **電話帳**を開くには、待受画面で を押します。

・ **通信記録**を開くには、待受画面で を押します。

・ 新しいメッセージを入力するには、待受画面で を押します。

・ モードを変更するには、 を短く押して、モードを選択します。

・ 最近の発信履歴を表示するには、待受画面で を押します。

- 音声コマンドを使用するには、 を長く押します。
- インターネットとの接続を開始するには、待受画面で[ ] を長く押します。

便利な使い方に関する補足

- リストで 1 つの項目にマークを付けるには、項目を選択して、 と を同時に押します。
- リストで複数の項目にマークを付けるには、 を長く押し、同時に または を押します。選択した項目の横にチェックマークが表示されます。選択を終了するには、ナビゲーションキーを押すのをやめて、 を離します。必要な項目をすべて選択したら、移動したり削除したりできます。
- 状況によっては、 を押すと、短縮版のオプションリストが表示され、その表示で利用できる主要なコマンドが示されます。

文字をコピー / 貼り付ける

- 文字と単語を選択するには、 を長く押し、同時に 、 、 または を押します。選択部分を移動すると、文字が強調表示されます。文字をクリップボードにコピーするには、 を押したまま **[コピー]** を押します。その文字をドキュメントに挿入するには、 を押したまま **[貼り付け]** を押します。

別の電話機からコンテンツを転送する

- 転送アプリケーションを使用します。本書の「本機をカスタマイズする」の「別の電話機からコンテンツを転送する」を参照してください。
- Nokia PC SuiteのNokia Content Copierを使用して、互換性のある Nokia 製電話機からコンテンツをコピーします。本機付属 CD-ROM を参照してください。Nokia Content Copier は複数機種の Nokia 製電話機に対応しています。各 Nokia PC Suite の対応機種の詳細については、www.nokia.co.jp を参照してください。

ヘルプ

本機にはヘルプ機能があります。アプリケーションからヘルプにアクセスするには、**[オプション] > ヘルプ**の順に選択します。

電話帳の作成方法に関する説明を表示するには、電話帳の作成を開始して、**[オプション] > ヘルプ**の順に選択します。または、**ツール > ヘルプ**の順に選択して、**電話帳**に関する説明を表示します。説明を読んでいるときに、**ヘルプ**とバックグラウンドで開いているアプリケーションを切り替えるには を長く押します。

インターネットでの Nokia サポート

本機の操作については、www.nokia.co.jp/6680sousa を参照してください。

Nokia 製品に関するその他の情報、ダウンロード、サービスについては、www.nokia.co.jp をご確認ください。

本機をカスタマイズする

注意 : サービスプロバイダや携帯電話事業者によっては、メニューアイテムの順序やメニューのアイコンが異なることがあります。本書で説明されている内容がお手持ちの電話機に該当しない場合は、サービスプロバイダ、または携帯電話事業者までお問い合わせください。

- 待受画面の背景画像や、スクリーンセーバーの表示内容を変更する方法については、「本機の画面表示を変更する」(P.26) を参照してください。
- 待受画面から頻繁に使用するアプリケーションをすばやく開く方法については、「待受画面機能拡張」(P.26) を参照してください。
- 着信音の設定については、「音の設定」(P.23) を参照してください。
- 待受画面でナビゲーションキー、ソフトキー、決定キーに登録されているショートカットを変更する方法については、「待受画面のキー設定」(P. 103) を参照してください。
- 時計の表示方法やアラーム音の変更については、「時計」(P.22) を参照してください。
- カレンダーアラーム音を変更するには、**オフィス** > **カレンダー** > **[オプション]** > **設定** > **カレンダーアラーム音**の順に選択します。
- ウェイクアップメッセージを静止画やテキストに変更するには、**ツール** > **設定** > **電話機** > **一般** > **ウェイクアップメッセージ / ロゴ**の順に選択します。「ウェイクアップメッセージ」(P.103) を参照してください。
- 着信音を電話帳に登録するには、**電話帳**を選択します。「着信音を電話帳に登録する」(P.38) を参照してください。
- ワンタッチダイヤルに電話帳の電話番号を登録するには、待受画面で番号キーを押して ([1] は留守番電話用として使用)、発信キーを押します。**[はい]** を押してから、電話帳を選択します。ワンタッチダイヤルをオンにする方法については、「ワンタッチダイヤル」(P.105) を参照してください。
- メインメニューを再配置するには、メインメニューで、**[オプション]** > **移動**、**新規フォルダ**、

または**フォルダへ移動**の順に選択します。あまり使用しないアプリケーションをフォルダに移動したり、頻繁に使用するアプリケーションをメインメニューに配置したりできます。

時計

時計で使用できるオプションは、**アラーム設定**、**アラーム変更**、**アラーム解除**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

を押して、**オフィス** > **時計**の順に選択します。

アラームを新しく設定するには、**[オプション]** > **アラーム設定**の順に選択します。アラーム時刻を入力して、**[OK]** を選択します。アラームの使用中は、待受画面に「」インジケータが表示されます。

アラームを停止にするには、**[停止]** を選択します。アラーム音が鳴ったときに、いずれかのキーを押すか、**[スヌーズ]** を選択すると、アラームが停止し、約 5 分後に再び鳴り始めます。これは最大 5 回まで繰り返すことができます。

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。**[停止]** を選択すると、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は **[いいえ]** を選択します。電話をかけたり受けたりする場合は **[はい]** を選択します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、**[はい]** を選択しないでください。

アラームを解除するには、**時計** > **[オプション]** > **アラーム解除**の順に選択します。

時計設定

時計設定を変更するには、時計で **[オプション]** > **設定**の順に選択します。

待受画面の時計の表示方法を変更するには、**時計のタイプ** > **アナログ**または**デジタル**の順に選択します。

携帯電話ネットワークを使用して、本機の時刻、日付、タイムゾーンを更新するには (ネットワークサービス)、**時刻自動更新**を選択します。**時刻自動更新**設定を有効にするには、本機を再起動する必要があります。

アラーム音を変更するには、**アラーム音**を選択します。

夏時間対応を変更するには、**夏時間**を選択します。**オン**を選択すると、**現在地の設定**時刻に 1 時間追加されます。「世界時計」(P.23) を参照してください。夏時間の使用中は、時計のメイン表示に「☼」インジケータが表示されます。

世界時計

時計を開いて、◎を押すと、世界時計が表示されます。世界時計表示では、さまざまな都市の時刻を表示できます。

都市をリストに追加するには、**[オプション] > 都市追加**の順に選択します。都市名の最初の文字を入力します。検索フィールドが自動的に表示され、合致する都市が表示されます。漢字の都市名の場合は、都市名の最初の文字を入力して漢字に変換します。例えば、「東京」を検索する場合、最初の文字の「東」を入力して検索します。都市を選択して追加します。リストには最大 15 都市まで追加できます。

時刻を表示する都市を設定するには、設定する都市を選択して、**[オプション] > 現在地の設定**の順に選択します。選択した都市が時計のメイン表示に表示され、本機の時刻がその都市の時刻に変わります。時刻とタイムゾーンが合っているかを確認してください。

音の設定

着信音、メッセージ受信音、その他の各種イベント、環境、発信者グループに関する音を設定およびカスタマイズするには、♫を押して、**モード**を選択します。現在選択されているモードは待受画面の上部で確認できます。**通常モード**が使用されている場合は、現在の日付だけが表示されます。

マナーモードをすばやく有効または無効にするには、待受画面で [ﾏﾅｰ #] を長く押します。

マナーモードでは、以下の場合には無音とはなりません。

- Real Player™ でのコンテンツ再生音
- 時計のアラーム音
- 通話時のスピーカーからの音声
- ブラウザのプラグインからの音声
- カメラのシャッター音
- ビデオの録音開始・終了音

モードを変更するには、待受画面で ⏻ を短く押します。有効にするモードを選択して、**[OK]** を選択します。

> **補足 :** 音を選択するときに、**着信音ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**を選択するとブックマークのリストが表示されます。ブックマークを選択してインターネットページに接続し、音をダウンロードできます。

モードの内容を変更するには、**モード**を選択します。モードを選択し、**[オプション] > カスタマイズ**の順に選択します。変更する設定を選択して、◉ を押すと、選択肢が表示されます。メモリカードに格納されている音には「▤」が表示されます。音のリストをスクロールし、それぞれの音を聞いてから選択できます。音を停止するにはどれかキーを押します。

新しいモードを作成するには、**[オプション] > 新規作成**の順に選択します。

オフラインモード

オフラインモードを使用すると、ワイヤレスネットワークに接続しない状態で電話を使用できます。**オフラインモード**を有効にすると、ワイヤレスネットワークとの接続が切れて、電波強度インジケータが「☒」に変わります。本機ですべてのワイヤレス電話信号を送受信できなくなります。メッセージを送信しようとすると、未送信メールに保管されて、後で送信されます。

補足 : カレンダーと時計のアラーム音の変更方法については、「本機をカスタマイズする」(P.21) を参照してください。

警告 : オフラインモードでは、特定の緊急電話番号以外に電話をかけたり、ネットワーク接続が必要な機能を使用したりできません。電話をかけるには、モードを変更して電話機能を有効にします。本機がロックされている場合は、ロック解除コードを入力してから、モードを変更して電話をかける必要があります。

警告 : オフラインモードを使用するには本機の電源が入っている必要があります。ワイヤレス機器の使用が禁止されている場合や、その使用により電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

オフラインモードを終了するには、別のモードを選択して、**[オプション] > 開始 > [はい]** の順に選択します。本機で再びワイヤレス通信ができるようになります (十分な電波強度がある場合)。Bluetooth 接続が有効であるときに**オフラインモード**にすると、Bluetooth 接続が無効になります。**オフラインモード**を終了すると、Bluetooth 接続は自動的に有効に戻ります。「Bluetooth 接続の設定」(P.95) を参照してください。

別の電話機からコンテンツを転送する

Bluetooth 接続を使用して、互換性のある Nokia Series 60 電話機から、電話帳、カレンダー、静止画、ビデオクリップ、サウンドクリップをコピーできます。

本機は SIM カードなしで使用できます。SIM カードのない状態で本機の電源を入れると、自動的にオフラインモードになります。これにより、別の電話機で SIM カードを使用できます。

転送を開始する前に、両方の電話機で Bluetooth 接続を有効にする必要があります。それぞれの電話機で、を押して、**外部接続** > **Bluetooth** の順に選択します。**Bluetooth** > **オン**の順に選択します。それぞれの電話機に名前を付けます。

コンテンツを転送するには、次の手順で操作します。

1 お客様の電話機で、を押して、**ツール** > **転送**の順に選択します。画面に表示される指示に従ってください。

2 Bluetooth 接続を使う機器の検索が実行されます。検索が終了したら、リストから相手の電話機を選択します。

3 お客様の電話機にコードを入力するように求められます。任意のコード (1 ～ 16 桁) を入力して、**[OK]** を選択します。相手の電話機にも同じコードを入力して、**[OK]** を選択します。

4 **転送**アプリケーションがメッセージとして相手の電話機に送信されます。

5 相手の電話機で**転送**アプリケーションをインストールするためのメッセージを開き、画面に表示される指示に従います。アプリケーションがメインメニューに追加されます。

6 相手の電話機からコピーするコンテンツをお客様の電話機で選択します。

相手の電話機のメモリやメモリカードからお客様の電話機やメモリカードにコンテンツがコピーされます。コピー時間は転送するデータ量によって変わります。コピーをキャンセルして、後で続行することもできます。

本機の画面表示を変更する

本機の画面表示 (壁紙、カラーセット、アイコンなど) を変更するには、を押して、**ツール** > **テーマ**の順に選択します。使用中のテーマには「✔」が表示されます。**テーマ**では、他のテーマの要素をまとめたり**ｷﾞｬﾗﾘｰ**の静止画を選択したりすることでテーマをさらにカスタマイズできます。メモリカード内のテーマには「」が表示されます。

テーマのメイン表示で使用できるオプションは、**プレビュー** / **ダウンロード**、**適用**、**編集**、**ヘルプ**、および**終了**です。

テーマを有効にするには、テーマを選択して、**[オプション]** > **適用**の順に選択します。

テーマをプレビューするには、テーマを選択して、**[オプション]** > **プレビュー**の順に選択します。

テーマを編集するには、テーマを選択し、**[オプション]** > **編集**の順に選択して、次のオプションを変更します。

- **壁紙** — 待受画面の背景画像として表示される画像です。
- **色選択** — 画面で使用する色です。
- **スクリーンセーバー** — スクリーンセーバーのタイプで、日付と時間、またはお客様が入力したテキストです。スクリーンセーバー起動時間の設定 (P.104) もあわせて参照してください。
- **「ｼｮｰﾄｶｯﾄ」の背景** — ショートカット機能の背景画像です。

選択したテーマを元の設定に戻すには、テーマの編集中に **[オプション]** > **元のテーマに戻す**の順に選択します。

編集できないテーマもあります。

待受画面機能拡張

待受画面から頻繁に使用するアプリケーションをすばやく開くことができます。

を押して、**ツール** > **設定** > **電話機** > **待受画面のキー設定** > **待受画面機能拡張**の順に選択し、◉ を押すと、待受画面機能拡張のオン / オフを切り替えることができます。

待受画面機能拡張では、画面上部にデフォルトのアプリケーションが表示され、その下にカレンダー、To-do が表示されます (予定などが保存されている場合)。

アプリケーションまたはイベントを選択して、◉ を押します。

待受画面機能拡張がオンのときは、待受画面で使用できる標準のナビゲーションキーショートカットが使用できなくなります。

1 デフォルトのアプリケーションショートカットを変更するには、を押して、**ツール** > **設定** > **電話機** > **待受画面のキー設定** > **待受画面ショートカット設定**の順に選択し、を押します。

2 アプリケーションへのショートカットを強調表示して、**[オプション]** > **変更**の順に選択します。

3 リストから新しいアプリケーションを選択して、を押します。

一部のショートカットは固定されているため、変更できません。

電話をかける

電話

補足：通話中に音量を大きくしたり小さくしたりするには、◉または◉を押します。

1 待受画面で、電話番号を市外局番から入力します。番号を削除するには C を押します。

海外で国際電話をかける場合は、[* +] を 2 回押して「+」(国際電話用のアクセスコードです) を表示させせます。次に国コード、市外局番 (必要に応じて先頭の 0 を省きます)、電話番号の順に入力します。日本国内から国際電話をかける際に使用する国際電話用のアクセスコードの設定については、「通話設定」(P.104) を参照してください。

2 を押して、電話をかけます。

3 電話を終了する (または呼び出しをキャンセルする) には、を押します。

補足：留守番電話の電話番号を変更するには、を押して、**オフィス** > **留守電** > **[オプション]** > **電話番号変更**の順に選択します。サービスプロバイダから入手した番号を入力して、**[OK]** を押します。

を押すと、別のアプリケーションが使用中であっても通話は終了します。

1 **電話帳**から電話するには、を押して、**電話帳**を選択します。通話先の名前を選択するか、名前の最初の文字を検索フィールドに入力します。合致する通話先のリストが表示されます。を押して電話をかけます。または、**[オプション]** > **電話をかける** を選択し、通信タイプとして**電話**を選択します。

留守番電話センター (ネットワークサービス) を呼び出すには、待受画面で [1] を長く押します。「転送電話サービス」(P.113) もあわせて参照してください。

待受画面で、最近ダイヤルした番号に電話をかけるには、を押して、最近ダイヤルした 20 件の番号にアクセスします。通話先の番号を選択し、を押して電話をかけます。

テレビ電話

テレビ電話をかけると、お客様と通話相手の間で双方向のリアルタイム映像を表示できます。お客様の電話機のカメラで撮影された映像が、テレビ電話の通話相手に表示されます。

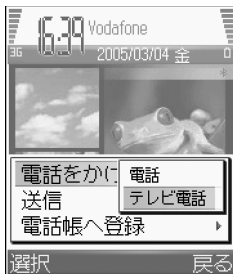
補足 : カメラレンズカバーを使用すると、フロントカメラとバックカメラを切り替えることができます。「カメラ」(P.41) を参照してください。

テレビ電話をかけるには、USIM カードが必要であるとともに、WCDMA ネットワークの通話圏内にいる必要があります。テレビ電話サービスのご利用とお申し込みについては、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。テレビ電話は、互換性のある携帯電話または ISDN クライアントとの 2 者間でのみ行うことができます。音声電話、テレビ電話、データ通信を行っている間は、新たにテレビ電話を開始することはできません。

アイコン :

「」映像を受信していない (通話相手が映像を送信していないか、ネットワークが映像を中継していない) 場合。

「」お客様が映像送信を拒否した場合。かわりに静止画を送信する方法については、「通話設定」(P.104) を参照してください。

1 テレビ電話を開始するには、待受画面で電話番号を入力するか、**電話帳**を選択して通話先を選択します。次に、**[オプション]** > **電話をかける** > **テレビ電話**の順に選択します。

2 テレビ電話が開始するまで少し時間がかかる場合があります。**画像待機中**というメッセージが表示されます。

相手を呼び出せなかった場合 (たとえば、ネットワークがテレビ電話に対応していない場合や通話相手の機器に互換性がない場合)、かわりに通常の電話をかけたりメッセージを送信したりするかを確認するメッセージが表示されます。

補足 : 通話中に音量を大きくしたり小さくしたりするには、◐または◑を押します。

3 テレビ電話が通話中になると、2 つの映像を表示したりハンズフリースピーカーから音声を再生したりできます。通話相手が映像送信を拒否することがあります ( )。その場合は、静止画や灰色の背景画面が表示されます。音声は聞こえます。

映像表示と音声のみを切り替える場合は、**ビデオ送信**、**オーディオ送信**、または**ｵｰﾃﾞｨｵとﾋﾞﾃﾞｵ送信**を**有効** / **無効**にします。

お客様自身の画像をズームするには、**ズームイン**または**ズームアウト**を選択します。ズームインジケータは画面の上部に表示されます。

4 テレビ電話を終了するには、を押します。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

電話番号をワンタッチダイヤルキー ([か 2abc] ～ [wxyz 9]) に登録するには、を押して、**ツール** > **ワンタッチ**の順に選択します。[1] は留守番電話用に使用されます。電話帳を開くと、ワンタッチダイヤルとして登録された電話番号の右側に、受話器のマークが表示されます。

ワンタッチダイヤルをオンにする方法については、「ワンタッチダイヤル」(P.105) を参照してください。

待受画面で電話をかけるには、ワンタッチダイヤルキー、の順に押します。

補足：キーを長く押すワンタッチダイヤルで電話をかけるには、を押して、**ツール** > **設定** > **通話** > **ワンタッチダイヤル** > **オン**の順に選択します。

会議通話をかける (ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ)

1 最初の参加者に電話をかけます。

2 別の参加者に電話をかけるには、**[オプション]** > **電話をかける**の順に選択します。最初の通話は自動的に保留になります。

3 新しい参加者が通話に応答したときに、最初の参加者を会議通話に参加させるには、**[オプション]** > **会議通話**の順に選択します。

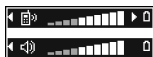
新しい参加者を通話に加えるには、操作 2 を繰り返した後で、**[オプション]** > **会議通話** > **参加者追加**の順に選択します。本機では、お客様自身を含め最大 6 人まで会議通話を行うことができます。

参加者の 1 人と個別通話を行うには、**[オプション]** > **会議通話** > **個別通話**の順に選択します。通話相手を選択して、**[個別通話]** を押します。お客様の電話機では会議通話が保留になります。他の参加者は会議通話を続行できます。個別通話が終了したら、**[オプション]** > **会議通話** > **参加者追加**の順に選択して、会議通話に戻ります。

参加者を削除するには、**[オプション]** > **会議通話** > **参加者削除**の順に選択します。次に、参加者を選択して、**[削除]** を選択します。

4 進行中の会議通話を終了するには、を押します。

音量とハンズフリースピーカーの調節

音量を大きくしたり小さくしたりするには、通話中や音を聞いているときに、◯または◯を押します。

ハンズフリースピーカーを使用すると、電話機を持たずに近い距離で (たとえば、近くのテーブルに置いて) 話したり聞いたりできます。サウンドアプリケーションではデフォルトで内蔵スピーカーが使用されます。

・ 通話中にハンズフリースピーカーを使用するには、通話を開始して、◯を押します。

重要 : ハンズフリースピーカーを使用中は本機を耳元に近づけないでください。音量が非常に大きくなる可能性があります。

・ 通話中または音を聞いているときにハンズフリースピーカーをオフにするには、◯を押します。

電話に応答する、着信を拒否する

電話に応答するには、◯を押します。

着信中に着信音を消すには、**[マナー]** を選択します。着信中に待受画面上部に音量変更のバーが表示されますが、このバーは受話音量変更用ですので、着信音の音量の変更はできません。

補足 : 本機対応のヘッドセットが接続されているときは、ヘッドセットのキーを押して、電話に応答したり通話を終了したりします。

電話に応答しない場合は、◯を押して着信を拒否します。発信者には通話中音が聞こえます。**転送電話ｻｰﾋﾞｽ** > **通話中**機能を作動させて電話を転送している場合は、拒否した電話も転送されます。「転送電話サービス」(P.113) を参照してください。

着信を拒否するときに、電話に応答できない理由を知らせる SMS を発信者に送信することもできます。**[オプション]** > **SMS 送信**の順に選択します。送信前に本文を編集できます。**通話拒否時 SMS 送信** (P.104) もあわせて参照してください。

テレビ電話中に電話に応答すると、テレビ電話は終了します。

テレビ電話に応答する、着信を拒否する

テレビ電話がかかってくると、「」が表示されます。

1 を押して、テレビ電話に応答します。**ビデオ画像を発信者に送信しますか？**が表示されます。

[はい] を選択すると、お客様の電話機のカメラで撮影されている映像が発信者に表示されます。**[いいえ]** を選択した場合、または何も選択しない場合、映像送信は開始されずに音声が聞こえます。映像のかわりに灰色の画面が表示されます。この灰色の画面を静止画に変更する方法については、「通話設定」、**テレビ電話の静止画** (P.104) を参照してください。

2 テレビ電話を終了するには、を押します。

注意： テレビ電話中に映像送信を拒否しても、その通話はテレビ電話として課金されます。携帯電話事業者やサービスプロバイダの料金体系をご確認ください。

割込通話サービス (ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ)

ツール > **設定** > **通話** > **割込通話サービス**で、**割込通話サービス** (ネットワークサービス) を有効にしておくと、通話中にかかってきた別の電話に応答できます。

補足： 電話機をマナーモードにする場合など、環境やイベントによって電話機の音を変更する方法については、「音の設定」(P.23) を参照してください。

待機中の通話に応答するには、を押します。最初の通話は保留になります。

2 つの通話を切り替えるには、**[切替]** を押します。かかってきた電話や保留中の電話を通話中の電話とつないで、お客様の通話を切るには、**[オプション]** > **転送**の順に選択します。通話中の電話を終了するには、を押します。両方の通話を終了するには、**[オプション]** > **すべての通話終了**の順に選択します。

通話中に使用できるオプション

通話中に使用できるオプションの多くはネットワークサービスです。**ミュート**または**ミュート解除**、**応答**、**拒否する**、**切替**、**保留**または**保留解除**、**通常通話に切替**、**ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替**、または**ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替** (Bluetooth 接続対応のヘッドセットが接続されている場合)、**通話終了**または**すべての通話終了**、**電話をかける**、**会議通話**、および**転送**のオプションを使用する場合は、通話中に **[オプション]** を選択します。続いて、次のオプションを選択します。

上書き — 通話中の電話を終了し、かわりに待機中の電話に応答します。

MMS 送信 (WCDMA ネットワークのみ) — MMS で静止画や映像を通話相手に送信します。を押すと、

ファイルが互換性のある機器に送信されます (ネットワークサービス)。

プッシュ信号送信 — 一連のプッシュ信号 (たとえば、パスワード) を送信できます。プッシュ信号を入力するか、電話帳でプッシュ信号を検索します。待機文字 (**w**) または一時停止文字 (**p**) を入力するには、[＊+記号] を繰り返し押します。**[OK]** を選択すると、プッシュ信号が送信されます。

補足 : プッシュ信号を電話帳の**電話番号**フィールドや**プッシュ信号**フィールドに追加できます。

テレビ電話の通話中に使用できるオプション

有効または**無効** (映像、音声、映像と音声の両方)、**通常通話に切替**、**ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替**、または**ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替** (Bluetooth 接続対応のヘッドセットが接続されている場合)、**通話終了**、**フロントカメラ使用** / **バックカメラ使用**、**ズームイン** / **ズームアウト**、および**ヘルプ**のオプションを使用する場合は、テレビ電話での通話中に **[オプション]** を選択します。

通信記録

発着信履歴

不在着信、着信、発信の電話番号を表示するには、 を押して、**通信記録** > **発着信履歴**の順に選択します。着信は、ネットワークがこの機能に対応しているとともに、本機の電源が入っていて、ネットワークサービス圏内にいる場合にのみ記録されます。

テレビ電話には、ビデオのマークが右側に表示されます。

補足 : 待受画面に不在着信に関するメッセージが表示されているときに、**[表示]** を選択すると、不在着信リストにアクセスできます。折り返し電話する場合は、名前または電話番号を選択して、 を押します。

発着信履歴を消去する — 最近の通話リストをすべて消去するには、発着信履歴のメイン表示で **[オプション]** > **発着信履歴を消去**の順に選択します。いずれかの発着信履歴を消去するには、消去する履歴を開いて、**[オプション]** > **履歴消去**の順に選択します。一件ずつ消去するには、消去する履歴の種類を開き、消去する履歴を選択して、C を押します。

通話時間

かかってきた電話やかけた電話のおおよその通話時間を表示するには、を押して、**通信記録** > **通話時間**の順に選択します。

注意：サービスプロバイダが実際に請求する通話料金は、ネットワーク機能や請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

通話時間記録を消去するには、**[オプション]** > **通話時間記録を消去**の順に選択します。この操作を行うには、ロックコードが必要です。「セキュリティ」の「電話機と SIM」(P.109) を参照してください。

パケット接続

パケットデータ接続中に送受信されるデータ量を調べるには、を押して、**通信記録** > **パケット接続**の順に選択します。たとえば、パケットデータ接続料金は送受信したデータ量によって課金される場合があります。

すべての通信履歴を表示する

通信記録で表示されるアイコン：
「 」着信通信記録
「 」発信通信記録
「 」不在着信通信記録

本機に記録された電話、テレビ電話、SMS、データ接続を表示するには、を押して、**通信記録**を選択し、を押して、一般通信記録を開きます。通信記録ごとに、送信者または受信者、電話番号、サービスプロバイダ名、アクセスポイントを表示できます。一般通信記録をフィルタにかけて 1 種類の記録だけを表示したり、通信記録情報に基づいて新しく電話帳を作成したりできます。

補足：送信メッセージのリストを表示するには、を押して、**メール** > **送信済みメール**の順に選択します。

サブ記録 (複数の部分に分割されて送信された SMS やパケットデータ通信など) も、1 つの通信記録として記録されます。メールボックス、マルチメディアメッセージセンター、インターネットページへの接続は、パケットデータ接続として表示されます。

注意 : メッセージの送信時に送信というメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、本機にプログラムされているメッセージセンターにメッセージが送信されたことを表します。受信者がメッセージを受け取ったという意味ではありません。メッセージサービスの詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

通信記録をフィルタにかけるには、**[オプション]** > **フィルタ**の順に選択して、フィルタを選択します。

通信記録、発着信履歴、メッセージ配信レポートの内容を完全に消去するには、**[オプション]** > **通信記録消去**の順に選択します。**[はい]** を選択して確認します。

通信記録期間を設定するには、**[オプション]** > **設定** > **通信記録期間**の順に選択します。通信記録のイベントは、設定した日数の期間、電話機メモリに保存されます。その期間を過ぎると自動的に消去されて空きメモリになります。**通信記録なし**を選択すると、通信記録の内容、発着信履歴、配信レポートはすべて完全に削除されます。

パケットデータカウンタと接続時間記録 : 転送したデータ量 (KB 単位) や特定のパケットデータ接続時間を表示するには、**ﾊﾟｹｯﾄ**の表示がある着信記録または発信履歴を選択して、**[オプション]** > **詳細情報表示**の順に選択します。

電話帳

を押して、**電話帳**を選択します。**電話帳**では、個人用の着信音、ボイスタグ、画像を電話帳に登録できます。また、電話帳グループを作成して、SMS や E-mail を多数の受信者に同時に送信することもできます。受け取った連絡先情報 (ビジネスカード) を電話帳に登録することもできます。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。連絡先情報は、本機と互換性のある機器との間でのみ送受信できます。

電話帳で使用できるオプションは、**開く**、**電話をかける**、**新規メール作成**、**新規電話帳登録**、**編集**、**削除**、**複製**、**グループへ追加**、**所属グループ**、**マーク / マーク解除**、**コピー**、**SIM 電話帳**、**URL を開く**、**送信**、**電話帳情報**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

名前と番号を登録する

1 **[オプション]** > **新規電話帳登録**の順に選択します。
2 必要なフィールドに入力して、**[OK]** を押します。

電話帳の編集時に使用できるオプションは、**画像追加**、**画像削除**、**詳細情報追加**、**詳細情報削除**、**タイトル変更**、**ヘルプ**、および**終了**です。

フリガナは電話帳の検索で使用します。

補足 : 電話帳の登録および編集には、Nokia PC Suite の Nokia Contacts Editor も使用できます。本機付属 CD-ROM を参照してください。

サムネイル画像を電話帳に登録するには、電話帳を開いて、**[オプション]** > **編集** > **[オプション]** > **画像追加**の順に選択します。登録先から電話がかかってくると、その画像が表示されます。

電話帳を編集する

電話帳を編集するには、編集する電話帳を選択して、**[オプション]** > **編集**の順に選択します。

電話帳を削除する

電話帳を 1 件削除するには、電話帳を選択して、C を押します。複数の電話帳を同時に削除するには、✎ と ◉ を同時に押して、削除する連絡先にマークを付け、C を押して削除します。

電話帳を全件削除するには、を押し、**電話帳** > **[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** > **[オプション]** > **削除**の順に選択します。

基本番号と基本アドレス

基本番号や基本アドレスを電話帳に登録できます。これにより、1 つの連絡先に複数の番号やアドレスを登録している場合に、特定の番号やアドレスに簡単に電話をかけたりメッセージを送信したりできます。

1 電話帳で連絡先を 1 件選択して、◉を押します。
2 **[オプション] > デフォルト値設定**の順に選択します。
3 番号やアドレスを登録するデフォルト設定を選択して、**登録**を選択します。
4 デフォルトとして設定する番号またはアドレスを選択します。

電話帳の名前のリストで、携帯の番号がデフォルト値になっている場合は「📱」が、電話番号がデフォルト値になっている場合は「☎」が名前の前に表示されます。

電話帳をコピーする

補足 : 電話帳を送信するには、送信する電話帳を選択し、**[オプション] > 送信 > SMS**、**MMS**、または **Bluetooth** の順に選択します。「メッセージ」(P.55) および「Bluetooth 接続を使用してデータを送信する」(P.96) を参照してください。

- 名前や番号を SIM カードから電話機にコピーするには、 を押して、**電話帳 > [オプション] > SIM 電話帳 > SIM フォルダ**の順に選択します。次に、コピーする名前を選択して、**[オプション] > 電話帳にコピー**の順に選択します。
- 電話帳から SIM に電話番号、FAX 番号、ポケベル番号などをコピーするには、**電話帳**を開き、番号を選択して、**[オプション] > コピー > SIM フォルダへ**の順に選択します。

補足 : Nokia PC Suite を使用すると、互換性のある PC と電話帳を同期させることができます。本機付属 CD-ROM を参照してください。

SIM フォルダとその他の SIM サービス

注意 : SIM サービスのご利用の可否、使用料金、ご利用に関する情報については、SIM カードベンダー (携帯電話事業者、サービスプロバイダ、その他のベンダー) にお問い合わせください。

 を押して、**電話帳 > [オプション] > SIM 電話帳 > SIM フォルダ**の順に選択すると、SIM カードに保存されている名前と番号が表示されます。SIM ディレクトリでは、番号を追加、編集したり、電話帳にコピーしたりできます。また、電話をかけることもできます。SIM カードに登録されているお客様

の電話番号を表示するには、**[オプション] > 自局電話番号**の順に選択します。

着信音を電話帳に登録する

電話帳登録メンバやグループメンバから電話がかかってくると、登録した着信音が再生されます (発信者が電話番号を通知していて、本機がその番号を認識した場合)。

補足 : ワンタッチダイヤルは、頻繁に使用する番号に素早く電話をかける方法です。ワンタッチダイヤルキーには 8 つの電話番号を登録できます。「ワンタッチダイヤルで電話をかける」(P.30) を参照してください。

1. ◉を押して電話帳を開くか、グループリストを開いて、電話帳グループを選択します。
2. **[オプション] > 着信音**の順に選択します。着信音リストが表示されます。
3. 個々の電話帳または選択したグループで使用する着信音を選択します。

着信音を削除するには、着信音リストで**デフォルト音**を選択します。

電話帳グループに一度着信音を設定し、その後にそのグループへ電話帳を追加した場合、追加された電話帳にはグループの着信音が反映されません。

ボイスダイヤル

電話帳に登録したボイスタグを発声して電話をかけることができます。どんな言葉でもボイスタグにすることができます。

ボイスタグをご使用になる前に、次のことにご注意ください。

- ボイスタグは言語に依存しません。お客様の声に依存します。
- ボイスタグを発声するときは、録音したボイスタグと同じ発声をしてください。
- ボイスタグは周囲の音に敏感です。ボイスタグを録音するときや、ボイスタグを使って電話をかけるときは、静かな場所で行ってください。
- 名前が短すぎると認識されません。短い名前を使用したり、同じような発音の名前を別の電話番号にボイスタグとして登録したりすることは適切ではありません。

注意 : ボイスタグは、騒がしい場所での発声や緊急時の使用に適していません。どのような環境や事態においても、ボイスダイヤルの機能だけに依存しないでください。

ボイスタグの登録

例 : 人の名前をボイスタグとして使用できます。

電話帳ごとに 1 つのボイスタグを登録できます。ボイスタグは最大 50 件の電話番号に登録できます。

1. **電話帳**で、ボイスタグを登録する電話帳を開きます。
2. ボイスタグを登録する電話番号を選択して、**[オプション]** > **ボイスタグ追加**の順に選択します。

   補足 : 登録したボイスタグのリストを表示するには、**電話帳** > **[オプション]** > **電話帳情報** > **ボイスタグ**の順に選択します。
3. **[開始]** を選択して、ボイスタグを録音します。ビープ音の後に、ボイスタグとして録音する言葉を明瞭に発声します。録音したタグが再生されて保存されるまで待ちます。電話番号にボイスタグを登録すると、電話帳の電話番号の横に「 」が表示されます。

ボイスタグで電話をかける

ボイスタグを発声するときは、録音したボイスタグと同じ発声をしてください。ボイスタグで電話をかけるときは、内蔵スピーカーが使用されます。電話機を少し離して、ボイスタグを明瞭に発声してください。

を長く押します。短いビープ音が鳴って、**音声を入力してください**というメッセージが表示されたら、ボイスタグを発声してください。登録されているボイスタグが再生され、名前と電話番号が表示されてから、認識されたボイスタグの電話番号に電話がかけられます。

補足 : ボイスタグを再生、変更、削除するには、電話帳を開いて、ボイスタグが登録されている電話番号 (「 」で識別可) を選択します。次に、**[オプション]** > **ボイスタグ** > **再生**、**変更**、または**削除**の順に選択します。

電話帳グループを作成する

1. **電話帳**で を押して、グループリストを開きます。
2. **[オプション]** > **新規グループ**の順に選択します。
3. グループ名を入力するか、デフォルト名**グループ**を使用して、**[OK]** を選択します。
4. グループを開いて、**[オプション]** > **メンバ追加**の順に選択します。
5. 連絡先を 1 件選択し、 を押して、マークを付けます。複数のメンバを同時に追加するには、追加するすべての連絡先に対して前述の操作を繰り返します。
6. **[OK]** を選択すると、連絡先がグループに追加されます。

グループの名前を変更するには、**[オプション] > 名前変更**の順に選択し、新しい名前を入力して、**[OK]** を選択します。

グループリスト表示で使用できるオプションは、**開く**、**新規グループ**、**削除**、**名前変更**、**着信音**、**電話帳情報**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

グループからメンバを削除する

1 グループリストで、変更するグループを開きます。
2 連絡先を 1 件選択して、**[オプション] > グループから削除**の順に選択します。
3 **[はい]** を選択すると、その連絡先がグループから削除されます。

補足 : 連絡先が属するグループを調べるには、連絡先を選択して、**[オプション] > 所属グループ**の順に選択します。

カメラおよびギャラリー

カメラ

静止画やビデオクリップを撮影および使用する場合は、他人の権利を尊重し、地域の法令、条例、習慣などに従ってください。

本機はカメラを 2 台装備しています。背面には高解像度カメラ、前面には低解像度カメラがあります。いずれのカメラも静止画撮影とビデオ撮影に使用できます。

背面にあるカメラレンズカバーを開いてバックカメラを有効にするか、待受画面で を押し、**カメラ**を選択してフロントカメラを有効にします (カメラレンズカバーがすでに開いている場合は、バックカメラが有効になります)。

補足 : カメラレンズカバーを開くと、キー操作ロックが無効になります。カバーを開く前にキー操作ロックがオンになっていた場合は、カメラレンズカバーを閉じる (カメラ起動時) と再び有効になります。

カメラが有効になると、**カメラ**アプリケーションが起動して、撮影する対象が表示されます。 または を押すと、**静止画**表示と**ビデオ**表示を切り替えることができます。

カメラレンズカバーを使用して、2 台のカメラを切り替えることができます。カメラレンズカバーを開くと、バックカメラを使用できます。カメラレンズカバーを閉じると、フロントカメラを使用できます。また、**[オプション] > フロントカメラ使用**または**バックカメラ使用**の順に選択してもカメラを切り替えることができます。

カメラでは、静止画撮影とビデオ録画ができます。静止画とビデオは、自動的にギャラリーに保存されます。静止画は JPEG 画像で生成され、ビデオクリップは 3GPP ファイル形式 (拡張子 .3GP) で録画されます。また、静止画やビデオは、E-mail の添付ファイルや、MMS、または Bluetooth 接続で送信できます。

補足 : 電話帳に画像を登録できます。「名前と番号を登録する」(P.36) を参照してください。

本機の画像解像度は、バックカメラを使用した場合、最高 1280 × 960 ピクセルです。ただし、実際の画像解像度は異なることがあります。

画像を撮影する

◉または◉を押すと、**静止画**表示と**ビデオ**表示を切り替えることができます。**静止画**表示を開きます。

画像撮影の前に使用できるオプションは、**撮影**、**新規**、**フラッシュ** (バックカメラのみ)、**フロントカメラ使用** / **バックカメラ使用**、**ナイトモード開始** / **ナイトモード停止**、**連写モード** / **通常モード**、**セルフタイマー**、**ギャラリーへ移動**、**画質調整**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

カメラインジケータとして次のものが表示されます。

- 電話機メモリ「▯」インジケータとメモリカード「▯」インジケータ (1) は、画像の保存先を示します。
- 画像インジケータ (2) は、電話機メモリやメモリカードに保存できる画像の数の概算値を示します (この数は選択した画質によって異なります)。
- ズームインジケータ (3) は、ズームのレベルを示します。ズームインするには◉、ズームアウトするには◉を押します。
- フラッシュインジケータ (4) は、フラッシュが**オン** (⚡)、**オフ** (⚡)、または**自動** (A) のいずれかを示します。
- ナイトモードインジケータ (5) は、ナイトモードが有効であることを示します。

- 連写モードインジケータ (6) は、連写モードが有効であることを示します。「画像を連写する」(P.43) を参照してください。
- セルフタイマーインジケータ (7) は、画像撮影までどれくらい時間があるかを示します。「セルフタイマー」(P.44) を参照してください。

ショートカットは次のとおりです。

- ナイトモードを有効または無効にするには、[1] を押します。
- 連写モードを有効または無効にするには、[4] を押します。
- 明るさを調整するには、[3] を押します。
- コントラストを調整するには、[6] を押します。

画像を撮影するには、◉を押します。画像が保存されるまで電話機を動かさないでください。画像は、**ギャラリー**の**画像**フォルダに自動的に保存されます。「ギャラリー」(P.47) を参照してください。

ズーム、ライティング、または色の設定を変更した場合、撮影した画像を保存するのに時間がかかることがあります。

画像を撮影するときには、次のことに注意してください。

・ カメラが動かないように、両手でカメラを持つことをお勧めします。
・ 暗い場所で静止画またはビデオを撮影するには、ナイトモードを使用します。ナイトモードを使用する場合、露出時間が長くなるため、通常に比べて長い時間カメラを固定しておく必要があります。
・ 画像を撮影する前にライティング調整や色調整を行うには、**[オプション]** > **画質調整** > **明るさ**、**コントラスト**、**ホワイトバランス** (バックカメラのみ)、または**色合い** (バックカメラのみ) の順に選択します。「色とライティングを調整する」(P.44) を参照してください。
・ ズームした画像は、ズームしていない画像より画質が低くなりますが、画像のサイズは同じです。PC 上で表示すると、画質の質が異なる場合があります。
・ どのキーも押さずに約 1 分が経過すると、**カメラ**は、省電力モードに入ります。画像の撮影を継続するには、◉ を押します。

画像を撮影した後は、次のことに注意してください。

・ 撮影した画像を保存しない場合は、C を押します。
・ 新しい画像を撮影するためにビューファインダに戻るには、◉ を押します。
・ **Bluetooth**、**E-mail**、または **MMS** を使用して画像を送信するには、↘ を押します。詳細については、「メッセージ」(P.55) および「Bluetooth での外部接続」(P.95) を参照してください。
・ 画像を待受画面の壁紙にするには、**[オプション]** > **壁紙に設定**の順に選択します。

画像を連写する

連写で 6 枚の画像を撮るようにカメラを設定するには、**[オプション]** > **連写モード**の順に選択します。撮影後、画像は**ｷﾞｬﾗﾘｰ**に自動的に保存され、グリッド状に表示されます。

セルフタイマー

セルフタイマーを使用して、指定秒数後に画像を撮影します。セルフタイマーを設定するには、**[オプション]** > **セルフタイマー** > **10 秒**、**20 秒**、または**30 秒**の順に選択します。**[開始]** を選択します。タイマーの実行中は、セルフタイマーインジケータ「⏲」が点滅し、ビープ音が鳴ります。選択した秒数が経過すると、画像が撮影されます。

フラッシュ

バックカメラには、暗い場所でも撮影できるようにLED フラッシュが付いています。フラッシュで使用できるモードは、**オン**、**オフ**、および**自動**です。

フラッシュを使用するには、**[オプション]** > **フラッシュ** > **オン**の順に選択します。

フラッシュが**オフ**に設定されている場合や**自動**に設定されている場合に周囲が明るいときも、画像を撮影するときにフラッシュが少し光ります。これにより、被写体が撮影されたタイミングを把握することができます。撮影された画像にフラッシュの影響はありません。

色とライティングを調整する

カメラで色やライティングをより正確に再現できるようにするには、**[オプション]** > **画質調整**の順に選択し、次のオプションから選択します。

明るさ — 左右にスクロールして、該当する明るさの設定を選択します。

コントラスト — 左右にスクロールして、該当するコントラストの設定を選択します。

ホワイトバランス (バックカメラのみ) — リストから現在のライティング状態を選択します。これにより、カメラでより正確な色を再現できるようになります。

色合い (バックカメラのみ) — リストから色効果を選択します。

指定した設定に合わせて画面表示が変更され、画像やビデオが最終的にどのように見えるかが示されます。

カメラの設定を調整する

1. **[オプション]** > **設定** > **静止画**の順に選択します。
2. 変更する設定を選択します。

   画質 — **高**、**標準**、および**低**があります。画像の画質を上げると、メモリの消費量も増えます。ズームした画像は、ズームしていない画像より画質が低くなりますが、画像のサイズは同じです。たとえば、PC 上で表示すると、画像の質が異なる場合があります。画像を印刷する場合は、画質に**高**または**標準**を選択します。

   撮影した画像を表示 — 撮影後に、今撮影した画像を確認する場合は**はい**を、継続して撮影する場合は**いいえ**を選択します。

画像解像度 (バックカメラのみ) — 撮影する画像の解像度を選択します。

用語 : 解像度は、画像の鮮明度と透明度を示します。解像度は、画像内のピクセル数で表されます。ピクセルが増えるほど、画像は精細になり、メモリの消費量が増えます。

デフォルト画像名 — 撮影する画像のデフォルト名を設定します。日付を任意のテキストで上書きできます (たとえば、Holiday_2004)。

使用するメモリ — 画像を保存する場所を選択します。

ビデオを録画する

◎または◎を押すと、**静止画**表示と**ビデオ**表示を切り替えることができます。**ビデオ**表示を開きます。

ビデオ録画の前に使用できるオプションは、**録画**、**新規**、**フロントカメラ使用** / **バックカメラ使用**、**ナイトモード開始** / **ナイトモード停止**、**ミュート** / **ミュート解除**、**ギャラリーへ移動**、**画質調整**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

ビデオ録画インジケータとして次のものが表示されます。

- 電話機メモリ「▯」インジケータとメモリカード「▯」インジケータ (1) は、ビデオの保存先を示します。
- 現在のビデオ録画時間インジケータ (2) は、経過時間と残り時間を示します。
- ズームインジケータ (3) は、ズームのレベルを示します。録画前または録画中に被写体にズームインするには、◎を押します。ズームアウトするには、◎を押します。
- マイクインジケータ (4) は、音声がない状態で録画されていることを示します。
- ナイトモードインジケータ (5) は、ナイトモードが有効であることを示します。

ショートカットは次のとおりです。

- ナイトモードを有効または無効にするには、[1] を押します。
- 明るさを調整するには、[3] を押します。
- コントラストを調整するには、[6] を押します。

画像を撮影する前にライティング調整や色調整を行うには、**[オプション] > 画質調整 > 明るさ**、**コントラスト**、**ホワイトバランス** (バックカメラのみ)、または**色合い** (バックカメラのみ) の順に選択します。「色とライティングを調整する」(P.44) を参照してください。

録画を開始するには、◉ を押します。録画アイコン「●」が表示されます。バックカメラを使用してビデオを録画する場合は、LED フラッシュが点滅し、ビデオが録画中であることを被写体に示します。録画したビデオにフラッシュの影響はありません。

録画を一時停止するには、◉ を押します。一時停止アイコン「❚❚」が点滅します。再度 ◉ を押すと、録画が再開されます。

ビデオ録画は、一時停止を実行した場合や、どのキーも押さずに約 1 分が経過した場合に、自動的に停止します。

録画を停止するには、**[停止]** を選択します。ビデオクリップは、**ｷﾞｬﾗﾘｰ**の**ビデオクリップ**フォルダに自動的に保存されます。「ギャラリー」(P.47) を参照してください。

ビデオクリップを録画した後

- 録画したばかりのビデオクリップをすぐに再生するには、**[オプション] > 再生**の順に選択します。
- ビデオを保存しない場合は、C を押します。
- 新しいビデオを撮影するためにビューファインダに戻るには、◉ を押します。
- **Bluetooth**、**E-mail** または **MMS** を使用してビデオを送信するには、↘ を押します。詳細については、「メッセージ」の章 (P.55) と「Bluetooth での外部接続」(P.95) を参照してください。

ビデオ録画の設定を調整する

[オプション] > 設定 > ビデオの順に選択し、次のオプションから変更する設定を選択します。

長さ — **最大**を選択すると、ビデオ録画時間はメモリカードの空き容量によって制限され、ビデオクリップごとに最長約 1 時間に設定されます。このように録画されたビデオクリップは、録画属性により MMS で送信できません。**標準**を選択すると、録画できるビデオクリップが 300 kB(時間にすると約 30 秒) に制限されます。こうすることにより、互換性のある機器に MMS として簡単に送信できます。ただし、ネットワークによっては、送信できる MMS の最大サイズが 100 kB に制限されていることがあります。

ビデオ解像度 — 128 × 96 または 176 × 144 を選択します。

デフォルトビデオ名 — デフォルト名を定義するか、日付を選択します。

使用するメモリ — デフォルトのメモリストア、電話機メモリ、またはメモリカードを指定します。

ギャラリー

画像、サウンドクリップ、プレイリスト、ビデオリスト、ストリーミングリンク、および .ram ファイルを保存および整理するには、 を押して、ｷﾞｬﾗﾘｰを選択します。

画像（ ）、**ビデオクリップ**（ ）、**ミュージック**（ ）、**ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ**（ ）、**リンク**（ ）または**すべてのﾌｧｲﾙ**（ ）を選択し、 を押して開きます。

画像と**ビデオクリップ**のフォルダでは、フォルダの参照のほか、フォルダの作成、アイテムへのマーク付加、フォルダへのアイテムのコピーおよび移動が可能です。サウンドクリップ、ビデオクリップ、.ram ファイルおよびストリーミングリンクのオープンと再生は、RealPlayer アプリケーションで行われます。「RealPlayer」(P.52) を参照してください。

補足： Nokia PC Suite の Nokia Phone Browser によって本機から互換性のある PC に画像を転送することができます。本機付属 CD-ROM を参照してください。

ファイルやフォルダを開くには、 を押します。画像は、イメージビューアで開きます。「画像を表示する」(P.47) を参照してください。

ファイルをメモリカードや電話機メモリにコピーまたは移動するには、ファイルを選択して、**[オプション] > 整理 > メモリカードにコピー / メモリカードへ移動**または**電話機メモリにコピー / 電話機メモリへ移動**の順に選択します。メモリカードに保存されたファイルには、「 」が表示されます。

ブラウザを使用してｷﾞｬﾗﾘｰのメインフォルダの 1 つにファイルをダウンロードするには、**画像ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**（ ）、**ﾋﾞﾃﾞｵﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**、**ﾄﾗｯｸﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**、または**ｻｳﾝﾄﾞﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**を選択します。そうすると、ブラウザが開き、ダウンロード元のサイトのブックマークを選択できます。

ファイルを検索するには、**[オプション] > 検索**の順に選択します。検索するテキスト（たとえば、検索するファイルの名前や日付）を入力し、検索を開始します。検索条件に一致したファイルが表示されます。

画像を表示する

カメラで撮影した画像は、**ｷﾞｬﾗﾘｰ**に保存されます。また、画像は、MMS で E-mail の添付ファイルとして、または Bluetooth 経由で受信できます。受信した画像をギャラリーで表示できるようにするには、電話機メモリまたはメモリカードに保存する必要があります。

ｷﾞｬﾗﾘｰの**画像**フォルダ（ ）を開いて、イメージビューアを起動します。画像を選択し、 を押して表示します。

画像表示で使用できるオプションは、**送信**、**壁紙に設定**、**回転**、**ズームイン / ズームアウト**、**全画**

面表示、**削除**、**名前変更**、**詳細情報表示**、**「ｼｮｰﾄｶｯﾄ」に追加**、**ヘルプ**、および**終了**です。

画像をズームするには、**[オプション]** > **ズームイン**または**ズームアウト**の順に選択します。画面の上部にズーム倍率が表示されます。ズーム倍率は一時的に表示されるだけで、保存はされません。通常の倍率に戻すには、[ ] を長く押します。

画像の他の部分を表示するには、**[オプション]** > **全画面表示**の順に選択します。画像を囲む枠が削除されます。画像をズームするときや、全画面表示モードで画像を表示するときに焦点を移動するには、ナビゲーションキーを使用します。

画像を回転するには、**[オプション]** > **回転**の順に選択します。

ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ

ビデオエディタ

カスタムビデオクリップを作成するには、を押して、**オフィス** > **エディタ**の順に選択します。カスタムビデオクリップは、ビデオクリップを組み合わせたりトリミングしたり、サウンドクリップ、トランジション、効果を追加したりすることで作成できます。トランジションとは、ビデオの始めや終わり、ビデオクリップの間に追加できる視覚効果のことです。

ビデオ、サウンド、トランジションを編集する

1 1 つまたは複数のビデオクリップにマークを付けて選択します。

2 **[オプション]** > **編集**の順に選択します。ビデオクリップ編集画面では、ビデオクリップを挿入してカスタムビデオクリップを作成したり、トリミングや効果の追加によりクリップを編集したりできます。サウンドクリップの追加や長さの変更もできます。

補足 : ビデオクリップのスナップショットを撮影するには、再生表示、編集プレビュー表示、またはカット表示で、**[オプション]** > **ｽﾅｯﾌﾟｼｮｯﾄ撮影**の順に選択します。

ビデオを変更するには、次のオプションのいずれかを選択します。

プレビュー — カスタムビデオクリップをプレビューできます。

挿入 :

- **ビデオクリップ** — 選択したビデオクリップを挿入できます。ビデオクリップのサムネイルがメイン表示に表示されます。このサムネイルは、ビデオクリップの最初の表示 (全面黒以外) で構成されます。選択したビデオクリップの名前と長さも表示されます。
- **サウンドクリップ** — 選択したサウンドクリップを挿入できます。選択したサウンドクリップの名前と長さはメイン表示に表示されます。
- **新規サウンドクリップ** — 選択した場所に新しいサウンドクリップを録音します。

カット — ビデオクリップカット表示やサウンドクリップカット表示でビデオクリップやサウンドクリップをトリミングできます。

ビデオクリップ編集 :

- **移動** — 選択した位置にビデオクリップを移動できます。

- **カラー効果追加** — ビデオクリップに色効果を挿入できます。
- **スローモーション使用** — ビデオクリップの再生速度を遅くできます。
- **ミュート** / **ミュート解除** — オリジナルのビデオクリップサウンドをミュートまたはミュート解除できます。
- **削除** — ビデオからビデオクリップを削除できます。

ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ編集:

- **移動** — 選択した位置にサウンドクリップを移動できます。
- **所要時間設定** — サウンドクリップの長さを編集できます。
- **削除** — ビデオからサウンドクリップを削除できます。
- **複製** — 選択したビデオクリップやサウンドクリップのコピーを作成できます。

トランジション編集 — トランジションには、ビデオの始め、ビデオの終わり、ビデオクリップ間の 3 種類があります。開始トランジションは、ビデオの最初のトランジションが有効であるときに選択できます。

3 **保存**を選択するとビデオが保存されます。**設定**で**使用するメモリ**を指定します。デフォルト設定は電話機メモリです。

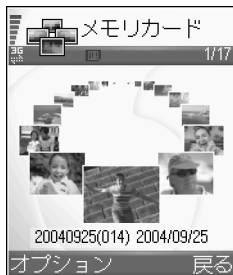
補足 : 設定表示では、**ﾃﾞﾌｫﾙﾄのﾋﾞﾃﾞｵ名**、**ﾃﾞﾌｫﾙﾄのｽｸﾘｰﾝｼｮｯﾄ名**、および**使用するメモリ**を指定できます。

ビデオを送信する場合は、**送信** > **MMS**、**Bluetooth**、または **E-mail** の順に選択します。マルチメディアメッセージの最大送信可能サイズについては、サービスプロバイダにお問い合わせください。ビデオが大きすぎて MMS で送信できない場合は「 」が表示されます。

補足 : サービスプロバイダが許可している最大 MMS サイズよりも大きいビデオクリップを送信する場合、Bluetooth 接続を使用すると、Bluetooth テクノロジの送信圏内にいる受信者にビデオクリップを送信できます。「Bluetooth 接続を使用してデータを送信する」(P.96) を参照してください。Bluetooth 接続を使用して Bluetooth テクノロジ搭載のパソコンに転送することや、メモリカードリーダー (内蔵 / 外付け) を使って転送することもできます。

画像マネージャ

画像を視覚的に参照するには、 を押して、**オフィス** > **画像ﾏﾈｼﾞｬ**の順に選択します。

1 を押して、**電話機メモリ**または**メモリカード**を選択します。**画像ﾏﾈｼﾞｬ**には、選択したフォルダに存在するフォルダ数や画像数も表示されます。

2 フォルダを開いて、画像を視覚的に参照します。 と を押して、画像とフォルダの間を移動します。 を押すと、画像が表示されます。

 と を同時に押して、イメージショーで表示する画像にマークを付けます。選択した画像の横にチェックマークが表示されます。**[オプション]** > **イメージショー**の順に選択します。 や を押すと、イメージショーの次の画像や前の画像が表示されます。

画像プリント

画像プリントを使用すると、USB (PictBridge 対応)、Bluetooth 接続、または MMC を使って画像を印刷できます。プリンタ選択表示に表示される使用可能プリンタのリストから選択できます。

注意 : PictBridge 対応プリンタで印刷する場合は、画像プリントを選択してから、USB ケーブルを接続してください。

 を押して、**オフィス** > **画像プリント**の順に選択します。印刷する画像を選択します。

画像選択表示で使用できるオプションは、**印刷**、**マーク / マーク解除**、**開く** (アルバム選択時に表示)、**ヘルプ**、および**終了**です。

プリンタ選択

印刷する画像を選択すると、使用可能な印刷機器のリストが表示されます。本機に対応している DKU-2 ケーブルを使って PictBridge 対応の USB プリンタに接続すると、そのプリンタが自動的に表示されます。

使用する機器を選択します。印刷プレビュー画面が表示されます。

印刷プレビュー

印刷機器を選択すると、選択した画像が定型のレイアウトを使って表示されます。レイアウトを変更する場合は、左右のナビゲーションキーを使用して、選択したプリンタで使用できるレイアウトをスクロールします。1 ページに収まる枚数よりも多くの画像を選択した場合は、上下にスクロールすると、他のページも表示できます。

印刷プレビューで使用できるオプションは、**印刷**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

印刷設定

使用できる設定オプションは、選択した印刷機器の機能によって異なります。

用紙サイズを選択するには、**用紙サイズ**を選択し、リストから用紙サイズを指定して、**[OK]** を選択します。**[キャンセル]** を選択すると、前の表示に戻ります。

RealPlayer™

を押して、**RealPlayer** を選択します。**RealPlayer** を使用すると、ビデオクリップ、サウンドクリップ、プレイリスト、送信されてくるストリームメディアファイルを再生できます。ストリーミング再生リンクはインターネットページを参照しているときに再生させたり、電話機メモリやメモリカードに保存したりできます。

RealPlayer は、.mp4、.3gp ファイルに対応しています。ただし、**RealPlayer** がすべてのファイル形式やファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。たとえば、**RealPlayer** は .mp4 ファイルをすべて開こうとしますが、一部の .mp4 ファイルには 3GPP 規格に準拠しないコンテンツが含まれている場合があります。本機はこのような場合に対応していません。

クリップ選択時に **RealPlayer** で使用できるオプションは、**再生**、**全画面で再生** / **再生**、**全画面で再生** / **停止**、**ミュート** / **ミュート解除**、**クリップ詳細**、**送信**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

ビデオクリップやサウンドクリップを再生する

1 電話機メモリやメモリカードに保存されているメディアファイルを再生するには、**[オプション]** > **開く**の順に選択して、次のいずれかを選択します。

   最近使ったファイル — **RealPlayer** で最近再生した 6 つのファイルのいずれかを再生できます。

   保存ファイルから — **ギャラリー**に保存されているファイルを再生できます。「ギャラリー」(P.47) を参照してください。

2 ファイルを選択して ◉ を押すと、ファイルが再生します。

補足 : ビデオクリップを全画面表示モードで表示するには、[ｶ 2abc] を押します。もう一度押すと、標準画面モードに戻ります。

RealPlayer で表示されるアイコン :
「　」繰り返し
「　」ランダム
「　」繰り返しとランダム
「　」ミュート

再生中のショートカット :

メディアファイルを早送りするには、 を長く押します。

巻き戻すには、 を長く押します。

ミュートするには、「 」インジケータが表示されるまで を長く押します。音を出すには、「 」インジケータが表示されるまで を長く押します。

送信されてくるコンテンツのストリーミング再生

多くのサービスプロバイダでは、デフォルトアクセスポイントとしてインターネットアクセスポイントを使用します。WAP アクセスポイントを使用するサービスプロバイダもあります。

アクセスポイントは、本機を最初に起動するときに設定される場合があります。

詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

注意 : RealPlayer では、rtsp:// という URL アドレスだけを開くことができますが、RealPlayer は .ram ファイルへの http リンクを認識します。

送信されてくるコンテンツのストリーミング再生を行うには、ｷﾞｬﾗﾘｰ、インターネットページ、受信した SMS や MMS に含まれるストリーミング再生リンクを選択します。ライブコンテンツのストリーミング再生を行う前に、本機はサイトに接続してコンテンツの読み込みを開始します。

RealPlayer の設定を受信する

携帯電話事業者やサービスプロバイダからの特別な SMS で RealPlayer の設定を受信できます。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。詳細については、携帯電話事業者やサービスプロバイダにお問い合わせください。

RealPlayer の設定を変更する

[オプション] > 設定の順に選択し、次のオプションから選択します。

ビデオ — 再生終了後に、ビデオクリップを RealPlayer で自動的に繰り返し再生させることができます。

オーディオ設定 — トラックリストを繰り返し再生したり、トラックリストのサウンドクリップをランダム再生したりする場合に選択します。

接続設定 — プロキシサーバの使用の有無を選択したり、デフォルトアクセスポイントを変更したり、接続時に使用するタイムアウト時間やポート範囲を設定したりできます。正確な設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

プロキシ設定:

- **プロキシ使用** — プロキシサーバを使用する場合は、**はい**を選択します。
- **ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** — プロキシサーバのIPアドレスを入力します。
- **プロキシポート番号** — プロキシサーバのポート番号を入力します。

用語: プロキシサーバは、メディアサーバとユーザの間に位置する中間サーバです。一部のサービスプロバイダでは、セキュリティの強化や、サウンドクリップやビデオクリップが含まれるインターネットページへのアクセス速度を向上させるためにプロキシサーバを使用しています。

ネットワーク設定:

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** — インターネット接続に使用するアクセスポイントを選択して、◉を押します。
- **オンライン時間** — ネットワークリンクを使って再生するメディアクリップを一時停止するとき、**RealPlayer** がネットワーク接続を切断するまでの時間を設定します。**ユーザ定義**を選択して、◉を押します。時間を入力して、**[OK]** を選択します。
- **接続タイムアウト** — ◐または◑を押し、ネットワークリンクを選択してからメディアサーバに接続するまでの最大許容時間を設定して、**[OK]** を選択します。
- **サーバタイムアウト** — ◐または◑を押し、メディアサーバからの応答を待機し始めてから接続を切るまでの最大許容時間を設定して、**[OK]** を選択します。
- **最小 UDP ポート** — サーバのポート範囲の下限ポート番号を入力します。最小値は 6970 です。
- **最大 UDP ポート** — サーバのポート範囲の上限ポート番号を入力します。最大値は 32000 です。各種ネットワークの帯域幅の値を編集するには、**[オプション] > 詳細設定**の順に選択します。

メッセージ

注意：次の機能は、日本国内ではご利用いただけません。

・データが含まれた特別な SMS の作成

・インターネットサービスメッセージやセルブロードキャストメッセージの受信

・サービスコマンドの送信

を押して、**メール**を選択します。**メール**では、SMS、MMS、E-mail メッセージ、およびデータが含まれた特別な SMS の作成、送受信、編集および整理ができます。また、Bluetooth 接続経由でのメッセージやデータ受信、インターネットサービスメッセージやセルブロードキャストメッセージの受信、サービスコマンドの送信も可能です。

メールメイン表示で使用できるオプションは、**開く**、**新規メール作成**、**接続**（メールボックスの設定が済んでいる場合に表示）/ **切断**（メールボックスに接続されている場合に表示）、**SIM に保存されたﾒｰﾙ**、**情報メッセージ**、**サービスコマンド**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

注意：携帯電話事業者やサービスプロバイダが対応している場合のみ、これらの機能を使用できます。これらのメッセージを受信して表示できるのは、互換性のある MMS または E-mail 機能のある機器だけです。一部のネットワークでは、受信者が使用する機器に MMS を表示するためのインターネットページリンクが表示されることがあります。

メールを開くと、**新規メール作成**機能とフォルダのリストが表示されます。

受信メール — E-mail 以外のメッセージやセルブロードキャストメッセージが受信されると、このフォルダに保存されます。E-mail メッセージは**メールボックス**に保存されます。

マイフォルダ — この中で、受信したメッセージを整理します。

補足： メッセージを整理するには、**マイフォルダ**の中に新しいフォルダを追加します。

メールボックス — **メールボックス**では、リモートメールボックスに接続して新着 E-mail メッセージを取得したり、以前取得した E-mail メッセージをオフラインで表示したりすることができます。「E-mail」(P.75) を参照してください。

下書き — まだ送信していない、下書きのメッセージを保存します。

送信済みメール — 最新の送信済みメッセージを 15 通まで保存します。ただし、Bluetooth 接続経由のメッセージは含みません。保存するメッセージの数を変更する方法については、「その他設定」(P.77) を参照してください。

未送信メール — 送信待ちのメッセージが一時的に保存されます。

配信レポート — 送信済みの SMS と MMS の配信レポートを送信するように、携帯電話事業者に要求できます (ネットワークサービス)。一般に、E-mail アドレスに送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

補足 : いずれかのデフォルトフォルダを開いた状態で、◐または◑を押すとフォルダを切り替えられます。

ネットワークサービスの有効化コマンドなど、サービス要求 (USSD コマンドともいう) を入力してサービスプロバイダに送信するには、**メール**のメイン表示で **[オプション] > サービスコマンド**の順に選択します。

情報メッセージとは、多種多様なトピックから指定した内容 (たとえば、天気や道路状況) のメッセージを、サービスプロバイダから送信してもらうネットワークサービスです。選択可能なトピックとそのトピック番号については、サービスプロバイダにお問い合わせください。**メール**のメイン表示で、**[オプション] > 情報メッセージ**の順に選択します。メイン表示では、トピックのステータス、トピック番号、名前、およびチェックのためのフラグ「⚑」の有無を参照できます。

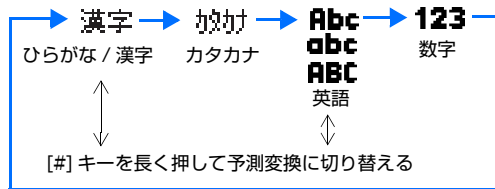
情報メッセージで使用できるオプションは、**開く**、**登録** / **登録解除**、**ホットマーク** / **ホットマーク削除**、**トピック**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

セルブロードキャストメッセージは、WCDMA ネットワークでは受信できません。パケットデータ接続では、セルブロードキャストの受信ができない可能性があります。

文字を入力する

文字入力画面の右上に、入力モードを示すインジケータが表示されます。電話機言語のメニューで英語を選択した場合、デフォルトの入力モードは英字です。日本語を選択した場合、デフォルトはひらがな / 漢字です。「電話機設定」(P.103) を参照してください。

文字入力時に繰り返し [#] を短く押すと、電話機言語のメニューで選択した言語に関係なく、次の図の順に入力モードが切り替わります。

入力モードを切り替える

英語文字入力モードで、約 1 秒待って [#] を短く押すと、英語文字入力モードの種類が変わります。後述の「従来の英語文字入力」を参照してください。

補足 : 文字入力中に を押すと、希望する入力モードを選択できます。

補足 : 文字入力モードがカタカナ、英字または数字のときに を押して**全角**を選択すると、全角文字を入力できます。全角入力モードの場合は、全角を示すアイコンが表示されます。**半角**を選択すると、半角文字を入力できます。

文字入力についての補足

- 予測入力モードのオン / オフを切り替えるには、英字モードまたはひらがな / 漢字モードで [#] を長く押します。
- カーソル位置より左の文字を削除するには、C を押します。複数の文字を削除するには、C を長く押します。
- カーソルを移動するには、 キーを使用します。
- 数字を挿入するには、希望する数字のキーを長く押します。
- 特殊文字のリストを表示するには、[*+記号] を 1 回押します。リストをスクロールするには、 を使用します。希望する文字を選択するには、 を押します。
- 絵文字のリストを表示するには、[*+記号] を 2 回押します。

補足 : 文字入力中に を押して、**記号挿入**または**絵文字挿入**を選択することもできます。

キーとそれに対応するひらがな / 漢字およびカタカナ

キー	ひらがな / 漢字モード（全角）	カタカナモード（半角 / 全角）	英字モード（半角 / 全角）	数字モード（半角 / 全角）
[1 あ@]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	記号	1
[か 2 abc]	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
[さ def 3]	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
[4 た ghi]	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
[な 5 jkl]	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
[は mno 6]	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
[7 ま pqrs]	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
[や 8 tuv]	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
[ら wxyz 9]	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
[わをん 0]	わをん、。！？ 改行、スペース	ﾜｦﾝｰ､｡!? 改行、スペース	スペース、 改行	0
[* + 記号]	゛ ゜（濁点と半濁点） 小さなひらがな 記号と絵文字のリスト	゛ ゜（濁点と半濁点） 小さなカタカナ 記号と絵文字のリスト	記号と絵文字 のリスト	記号と絵文字 のリスト
[文字モード #]	入力モードの切り替え	入力モードの切り替え	入力モードの 切り替え	入力モードの 切り替え

日本語予測文字入力

「 漢字」が文字入力画面の右上に表示されているかどうかを確認します。

補足：文字入力中に を押して、**日本語予測オン**または**英語予測オン**を選択すると、それぞれの予測入力モードをオンにすることができます。

1 ひらがなを入力するには、番号キーを押します。

予測された変換候補のリストが表示されます。入力した文字が増えるごとに希望する単語に近付き、変換候補が絞り込まれます。

2 リストをスクロールするには、 を使用します。希望する語句を選択するには、 を押します。

本機では、入力された内容に基づいて、次の語句が予測されます。予測された変換候補の次のリストが自動的に表示されます。1 文字入力すると、新しい候補リストが表示されます。

- 候補リストを削除するには、 または **[キャンセル]** を押します。
- 希望する語がリストにない場合は、**[変換]** を押します。さらに変換が必要な場合は、 を押して、変換候補ウィンドウを表示します。ウィンドウの右上にあるカウンタは、リストに示される変換候補の数です。

変換された文字は、自動的に変換候補リストに記録されます。ユーザ辞書に登録した単語や頻繁に使用する単語は、変換候補リストの上位に表示されます。リストに表示される語順を元に戻す方法については、「電話機設定」(P.103) を参照してください。

従来の日本語文字入力

「 漢字」が文字入力画面の右上に表示されているかどうかを確認します。

1 ひらがなを入力するには、番号キーを押します。変換が不要な場合は、 を押します。

2 強調表示された文字を変換するには、 を押します。変換候補リストを表示するには、 を再度押します。リストをスクロールするには、 または を押します。希望する文字を選択するには、 を押します。

- 強調表示された文字が変換されます。文字が変換されると、強調表示部分の色が変化します。
- 単語の変換結果が適切でなかった場合は、 または を押して、変換する範囲を変更します。変換するには を押し、確定するには を押します。
- を 1 回押して希望する句に変換できた場合、すぐに句全体を確定するには、 を長く押します。

コード入力

「区点コード一覧表」(P.145) の 4 桁のコードを使用して、文字、記号、数字を入力できます。

1. を押して、**区点コード挿入**を選択します。
2. 「区点コード一覧表」(P.145) の 4 桁のコードを入力して、**[OK]** を押します。

ユーザ辞書に単語を登録する

ユーザ辞書に登録する単語には、読みをひらがなで登録できます。保存した単語は、文字変換に使用されます。文字を入力するときは、その文字とともに保存した読みを入力してください。

1. 辞書に単語を登録するには、を押して**ツール** > **ﾕｰｻﾞ辞書**の順に選択します。
2. **[オプション]** > **新規単語登録**の順に選択します。
3. **単語**フィールドに語句を入力します。
4. を押して、カーソルを**読み**フィールドに移動し、ひらがなで読みを入力します。単語の登録では、小さなひらがななど、読みの最初の文字として入力できないものがあります。

補足 : 文字の入力中に を押しても、**単語登録**を選択できます。

単語登録後に使用できるオプションは、**開く**、**新規単語登録**、**削除**、**マーク** / **マーク解除**、**ヘルプ**、および**終了**です。

従来の英語文字入力

英語文字入力モードには、次の 3 種類のモードがあります。英語で文字を入力中に [#] を短く 1 回押すと、英語文字入力モードの種類が変わります。表示される入力モードは次のように異なります。

「Abc」- 文頭大文字モードです。文頭の文字が大文字で入力されると、小文字モードに変わります。また、ピリオドを入力すると、このモードに変わります。

「abc」- 小文字モードです。文頭の文字を一文字入力した後に、このモードに自動的に変わります。

「ABC」- 大文字モードです。このモードは、文頭大文字モード、または小文字モードで文字を入力した後に [#] を短く入力して切り替えることができます。ピリオドを入力すると文頭大文字モードに、スペースを入力すると小文字モードに自動的に変わります。

数字モードに切り替えるには、これらの英語文字入力モードを使用中に [#] を連続して短く 2 回押します。

従来の文字入力を使用して文字を入力すると、ディスプレイの右上にインジケータ「Abc」が表示されます。

- 希望する文字が表示されるまで、番号キー ([1] ～ [9]) を繰り返し押します。番号

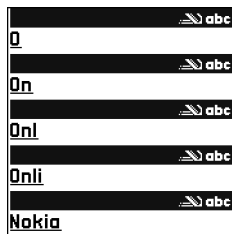
キーでは、キーに表記されているよりも多くの文字を使用できます。

- 次の文字が現在の文字と同じキー上にある場合、カーソルが表示されるまで待ち (または を押し)、文字を入力します。
- 一般的な句読点は、[1] キーで入力できます。希望する句読点が表示されるまで、繰り返し [1] を押します。

  特殊文字のリストを表示するには、[* + 記号] を 1 回押します。リストをスクロールするには、 を使用します。文字を選択するには、 を押します。
- スペースを挿入するには、[0] または を押します。次の行にカーソルを移動するには、[0] を 2 回押すか、または を 1 回押します。

英語予測文字入力 — 英語の辞書

どの文字も、キーを 1 回押すだけで入力できます。予測文字入力は内蔵の英語辞書に基づいています。この英語辞書には新しい単語を追加することもできます。英語辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、もっとも新しい単語で上書きされます。

1 英語予測文字入力を有効にするには、 を押して、**英語予測オン**を選択します。これにより、本機のすべての編集で予測文字入力が有効になります。予測文字入力を使用して文字を入力すると、ディスプレイの右上に「 」が表示されます。

2 希望する単語を入力するには、[2abc] ～ [wxyz 9] キーを押します。1 文字につき、1 回キーを押します。たとえば、英語辞書が選択されているときに「Nokia」と入力する場合、N は [mno 6]、o は [mno 6]、k は [5 jkl]、i は [4 ghi]、a は [2abc] を押します。

単語の候補は、キー入力ごとに変化します。

3 単語の入力が終了し、入力した文字が適切な場合は、確定するために、 を押すか、[0] を押してスペースを追加します。

単語が正しくない場合は、[* + 記号]、 、または を繰り返し押して、英語辞書で一致する単語を表示するか、 を押して、**英語予測** > **一致した単語**の順に選択します。

単語の末尾に文字 **?** が表示されている場合、入力した単語が英語辞書にありません。英語辞書に単

語を追加するには、[スペル入力] を選択して、従来の文字入力で単語 (32 文字まで) を入力し、[OK] を選択します。これで、単語が英語辞書に追加されます。英語辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、もっとも新しい単語で上書きされます。

4 次の単語の入力を開始します。

補足 : 予測文字入力のオン / オフを切り替えるには、英字モードで [#] を長く押します。

予測文字入力を使用する場合についての補足

補足 : 予測文字入力では、よく使われる句読点 (.,?!`) のうち、どれが必要であるか推測されます。句読点の順位と利用可能性は、辞書の言語によって異なります。

一般的な句読点は、[1] キーで入力できます。[1] を押した後、繰り返し [* +] を押すと、希望する句読点を検索できます。

特殊文字のリストを表示するには、[* +] を 1 回押します。

[* +] を繰り返し押すと、辞書で一致する単語が 1 つずつ表示されます。

を押して**英語予測**を選択し、を押して次のオプションのいずれかを選択します。

一致した単語 — キー入力に応じた単語のリストを表示します。

語句挿入 — 従来の文字入力で辞書に単語 (32 文字まで) を追加します。辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、もっとも新しい単語で上書きされます。

単語の編集 — 従来の文字入力で単語を編集します。これは、その単語が有効 (下線付き) の場合に使用できます。

複合語を書き込む

英語の複合語の前半を入力します。確定するには、を押します。英語の複合語の後半を入力します。複合語にするには、[0] を押してスペースを入力します。

予測文字入力をオフにする

を押して、**英語予測 > オフ**の順に選択すると、本機のすべての編集で予測英語文字入力がオフになります。

クリップボードへ文字をコピーする

1 文字と単語を選択するには、を長く押します。同時に、またはを押します。カーソルが移動すると、文字が強調表示されます。
2 文字をクリップボードにコピーするには、を押したまま**コピー**を押します。

3 その文字をドキュメントに挿入するには、 を押したまま**貼り付け**を押すか、 を 1 回押して、**貼り付け**を選択します。

複数行の文字を選択するには、 を長く押します。同時に、 または を押します。

選択した文字をドキュメントから削除するには、 を押します。

メッセージを入力し、送信する

受信する機器によって、MMS の表示が異なることがあります。

著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集および転送は禁止されています。

補足 : 送信オプションがある任意のアプリケーションから、メッセージの作成を開始できます。メッセージに追加するファイル (静止画またはテキスト) を選択し、**[オプション]> 送信**の順に選択します。

MMS または E-mail を作成する前に、接続を正しく設定しておく必要があります。「MMS および E-mail 設定を受信する」(P.66) および「E-mail」(P.75) を参照してください。

メッセージ編集で使用できるオプションは、**送信**、**宛先追加**、**挿入** (E-mail)、**添付ファイル** (E-mail)、**プレビュー** (MMS)、**添付リスト** (MMS)、**ファイル削除** (MMS)、**削除**、**宛先確認**、**メッセージ詳細**、**送信オプション**、**ヘルプ**、および**終了**です。

1 **新規メール作成**を選択します。メッセージオプションのリストが表示されます。

   SMS — SMS を送信します。

   MMS — MMS を送信します。

   E-mail — E-mail を送信します。E-mail アカウントの設定が完了していない場合は、設定を要求するメッセージが表示されます。

2 電話帳から受信者やグループを選択するには、◉ を押します。または、受信者の電話番号や E-mail アドレスを入力します。[＊+記号] を押し、受信者の区切り記号として、セミコロン (;) を追加します。また、クリップボードから電話番号やアドレスをコピー & ペーストすることもできます。

   補足 : マークを付けるには、該当する電話帳までスクロールして ◉ を押します。一度に複数の受信者にマークを付けることができます。

3 ◉ を押して、メッセージフィールドに移動します。

4 メッセージを書き込みます。

5 MMS にメディアオブジェクトを追加するには、**[オプション]** > **ファイル添付** > **画像**、**サウンドクリップ**、または**ビデオクリップ**の順に選択します。サウンドが追加されると、「 」アイコンが表示されます。

MMS
スライド 1/1
3G
5.8KB
abc
Hello,
オプション
閉じる

6 **添付ファイル作成** > **サウンドクリップ**の順に選択すると、**音声メモ**が起動す

るので、新しいサウンドを録音できます。**[選択]** を押すと、作成したサウンドが自動的に保存され、そのコピーがメッセージに挿入されます。**[オプション]** > **プレビュー**の順に選択して、MMS の表示を確認します。

7 E-mail に添付ファイルを追加するには、**[オプション]** > **挿入** > **画像**、**サウンドクリップ**、**ビデオクリップ**、または**ノート**の順に選択します。E-mail の添付ファイルは、ナビゲーションバーにアイコン「」で示されます。

8 メッセージを送信するには、**[オプション]** > **送信**の順に選択するか、またはを押します。

注意 : 本機では、標準の 160 文字を超えても SMS を送信できます。メッセージが 160 文字を超える場合は、メッセージが 2 つ以上に分割されて送信されます。そのため、料金がかさみます。ナビゲーションバーには、メッセージの長さを示すインジケータ (160 から、入力した文字数を引いたもの) が表示されます。たとえば、10 (2) は、残りの文字数が 10 文字で、2 通のメッセージとして送信されることを示します。使用する文字によっては、通常よりも文字数が多くなります。

注意 : E-mail メッセージは、送信される前に、自動的に未送信メールに保管されます。送信エラーになった場合、E-mail は失敗のステータスが付いて未送信メールに残ります。

補足 : E-mail アドレスまたはサイズの大きい画像を受信できる機器に MMS を送信するときは、大きめの画像サイズを使用してください。受信側の機器がわからない場合、またはネットワークがサイズの大きいファイルに対応していない場合は、小さめの画像サイズまたは 15 秒以内のサウンドクリップを使用することをお勧めします。設定を変更するには、**メール**のメイン表示で、**[オプション]** > **設定** > **MMS** > **画像サイズ**の順に選択します。

補足 : **メール**では、プレゼンテーションを作成し、MMS で送信することもできます。MMS 編集表示で、**[オプション]** > **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成** (**MMS 作成モード**が**確認メッセージ付き**または**制約なし**の場合にのみ表示される) の順に選択します。「MMS」(P.73) を参照してください。

MMS および E-mail 設定を受信する

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

携帯電話事業者やサービスプロバイダから、設定内容を SMS で受信できます。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。

データサービスのご利用とお申し込みについては、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。サービスプロバイダからの指示に従って、設定してください。

MMS 設定を手動で入力する

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

1 **ツール** > **設定** > **接続** > **アクセスポイント**の順に選択して、MMS アクセスポイントの設定を定義します。「接続設定」(P.106) を参照してください。
2 **メール** > **[オプション]** > **設定** > **MMS** > **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ**の順に選択して、優先接続先として作成したアクセスポイントを選択します。「MMS」(P.73) もあわせて参照してください。

補足 : サウンドやノート以外のファイルを添付ファイルとして送信するには、該当するアプリケーションを開き、使用可能な場合は、**送信** > **E-mail** の順に選択します。

E-mail の送受信、取得、返信、転送の前に、次の処理を実行する必要があります。

- インターネットアクセスポイント(IAP)を正しく設定する。「接続設定」(P.106) を参照してください。
- E-mail 設定を正しく定義する。「E-mail」(P.75) を参照してください。個別の E-mail アカウントを持っている必要があります。リモートメールボックスとインターネットサービスプロバイダ (ISP) の指示に従って、設定してください。

受信メール — メッセージを受信する

受信メールアイコン :
「 」**受信メール**内に未読メッセージがあります
「 」未読の SMS
「 」未読の MMS
「 」Bluetooth 接続経由で受信したデータ

メッセージを受信すると、待受画面に「 」および**新着メッセージがあります 1 件**というテキストが表示されます。**[表示]** を押して、受信したメッセージを開きます。**受信メール**内のメッセージを開くには、該当するメッセージを選択して、◉ を押します。

MMS

重要： MMS のオブジェクトには、ウィルスが含まれていることがあります。ウィルスが含まれている場合、本機または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

MMS の通知メールには、「」に「!」が付いて表示されます。MMS を本機に取得する場合は、通知メールを選択した状態で、または通知メールを開いて **[オプション] > 受信**の順に選択します。MMS「」を開くとき、画像やメッセージの表示、内蔵スピーカーでのサウンドの再生 (サウンドが含まれている場合は「」が表示される) を同時に実行できます。アイコン内の矢印をクリックすると、サウンドを再生できます。

MMS に含まれるメディアオブジェクトの種類を確認するには、**[オプション] > 添付リスト**の順に選択します。本機に MMS オブジェクトファイルを保存することも、Bluetooth 接続経由で他の機器へファイルを送信することもできます。

マルチメディアプレゼンテーションを受信することもできます。これらのプレゼンテーションを表示するには、**[オプション] > ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ再生**の順に選択します。

著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集および転送は禁止されています。

データおよび設定

注意： 日本国内ではご利用いただけません。

本機では、Over-The-Air(OTA) メッセージとも呼ばれる、データを含むさまざまな SMS「」を受信できます。

構成メッセージ — 携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門から、SMS サービス番号、留守番電話番号、インターネットアクセスポイント設定、アクセスポイントログインスクリプト設定、または E-mail 設定をメッセージで受信できます。設定を保存するには、**[オプション] > すべて保存**の順に選択します。

ビジネスカード — **電話帳**に情報を保存するには、**[オプション] > ビジネスカード保存**の順に選択します。ビジネスカードに添付された証明書またはサウンドファイルは保存されません。

着信音 — 着信音を保存するには、**[オプション] > 保存**の順に選択します。

オペレータロゴ — 携帯電話事業者の ID のかわりに待受画面にロゴを表示するには、**[オプション] > 保存**の順に選択します。

補足： MMS のデフォルトのアクセスポイント設定を変更するには、**メール** > **[オプション]** > **設定** > **MMS** > **使用する** **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ**の順に選択します。

カレンダーエントリ ― 招待状を保存するには、**[オプション]** > **カレンダーに保存**の順に選択します。

インターネットメッセージ ― ブックマークをインターネットのブックマークリストに保存するには、**[オプション]** > **ブックマークへ追加**の順に選択します。メッセージにアクセスポイント設定とブックマークの両方が保存されている場合、データを保存するには、**[オプション]** > **すべて保存**の順に選択します。

E-mail 通知 ― リモートメールボックスにある新着 E-mail の数を示します。詳細通知では、より詳細な情報が示されます。

補足： 画像が添付された vCard ファイルを受信した場合、画像は電話帳に保存されます。

インターネットサービスメッセージ

注意： 日本国内ではご利用いただけません。

インターネットサービスメッセージ「」とは、通知 (たとえば、ニュース見出し) のことです。これには、SMS またはリンクが含まれている場合があります。サービスのご利用とお申し込みについては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

マイフォルダ

マイフォルダでは、フォルダへのメッセージの整理、フォルダの新規作成、フォルダの名前変更および削除が可能です。

補足： 定型文フォルダのテキストを使用すれば、頻繁に送信するメッセージを何度も作成しなくて済みます。

メールボックス

本機で自宅や会社のメールがチェックできます。**メールボックス**を選択したときに E-mail アカウントの設定が完了していない場合は、設定を要求するメッセージが表示されます。

E-mail クライアントの設定については、「E-mail」(P.75) を参照してください。または、ノキアジャパンのホームページにある E-mail の設定方法 (www.nokia.co.jp/6680mail) を参照してください。

新しいメールボックスを作成すると、**メール**のメイン表示の**メールボックス**が、そのメールボックスの名前で上書きされます。最大 6 つのメールボックスを作成できます。

メールボックスを開く

メールボックスを開くと、以前取得した E-mail メッセージとそのヘッダーをオフラインで表示するか、または E-mail サーバに接続するかを選択できます。

該当するメールボックスを選択して ◉ を押すと、**メールボックスに接続しますか？**というメッセージが表示されます。

メールボックスに接続して新着の E-mail のヘッダーやメッセージを取得するには、**[はい]** を選択します。メッセージをオンラインで表示すると、パケットデータ接続でリモートメールボックスに継続的に接続されます。「接続設定」(P.106) もあわせて参照してください。

取得済みの E-mail メッセージをオフラインで表示するには、**[いいえ]** を選択します。E-mail メッセージをオフラインで表示すると、本機はリモートメールボックスに接続されません。

E-mail メッセージを取得する

オフラインの場合、リモートメールボックスへの接続を開始するには、**[オプション] > 接続**の順に選択します。

重要： E-mail メッセージには、ウィルスが含まれていることがあります。ウィルスが含まれている場合、本機または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

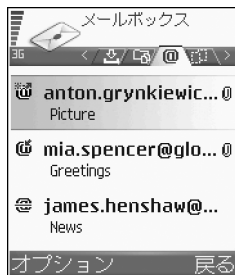
1 リモートメールボックスにすでに接続している場合は、**[オプション] > E-mail 受信**の順に選択して、次のいずれかを選択します。

新着 — すべての新着 E-mail メッセージを本機に取得します。

選択したメッセージ — マークを付けた E-mail メッセージのみを取得します。

すべて — メールボックスからすべてのメッセージを取得します。

メッセージの取得を停止するには、**[キャンセル]** を選択します。

2 E-mail メッセージを取得した後は、引き続きオンラインで E-mail メッセージを表示することができます。または、**[オプション] > 切断**の順に選択して接続を切断し、オフラインで E-mail を表示することもできます。

E-mail ステータスアイコン :
「」新着 E-mail (オフライン / オンラインモード): メッセージ本文は本機に取得されていません (外向き矢印)。
「」新着 E-mail: メッセージ本文は本機に取得済みです (内向き矢印)。
「」既読の E-mail メッセージ
「」ヘッダーが既読で、メッセージ本文が本機から削除されています。

「」未読 E-mail: メールボックスに未読の E-mail がある場合、スクリーンセーバに表示されます。

「」新着メール : E メールクライアントに新着メールがある場合、画面右上に表示されます。

3 E-mail メッセージを開くには、を押します。E-mail メッセージをまだ取得していない (アイコン内の矢印が外向き) 状態で、オフラインの場合は、このメッセージをメールボックスから取得するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

E-mail 添付ファイルを表示するには、添付ファイルのインジケータ「」があるメッセージを開いて、**[オプション] > 添付ファイル**の順に選択します。添付ファイルのインジケータがグレー表示で、添付ファイルがまだ取得されていない場合は、**[オプション] > 受信**の順に選択します。**添付ファイル**表示では、添付ファイルを取得したり、開いたり、保存したりすることができます。また、Bluetooth 接続を使用して添付ファイルを送信することもできます。

補足 : メールボックスで IMAP4 プロトコルを使用する場合は、取得するメッセージ数と、添付ファイルを取得するかどうかを指定できます。POP3 プロトコルで使用できるオプションは、**ヘッダーのみ**、**受信ｻｲｽﾞ指定 (KB)**、または**ﾒｯｾｰｼﾞと添付ﾌｧｲﾙ**です。

E-mail メッセージを削除する

E-mail メッセージをリモートメールボックスに保持したまま、本機から削除するには、**[オプション] > メッセージ削除 : > 電話機のみ**の順に選択します。

本機内の E-mail のヘッダーは、リモートメールボックス内と同じ状態を保つようになっています。メッセージ本文を削除しても、ヘッダーは本機に残ります。ヘッダーも削除する場合は、まずリモートメールボックスから E-mail メッセージを削除し、次に本機からリモートメールボックスに再度接続して、ステータスを更新する必要があります。

補足 : E-mail をリモートメールボックスから**マイフォルダ**の下にあるフォルダにコピーするには、**[オプション] > フォルダへコピー**の順に選択し、リストからフォルダを選択して、**[OK]** を選択します。

E-mail を本機とリモートメールボックスから削除するには、**[オプション]** > **メッセージ削除 :** > **電話機とサーバ**の順に選択します。

オフラインの場合、E-mail はまず本機から削除されます。リモートメールボックス内の E-mail は、リモートメールボックスに次に接続したときに自動的に削除されます。POP3 プロトコルを使用している場合、削除マークの付いたメッセージは、リモートメールボックスへの接続を終了した後に削除されます。

本機とサーバからの E-mail の削除をキャンセルするには、次の接続時に削除するマーク「」が付いた E-mail を選択して、**[オプション]** > **削除取消し**の順に選択します。

メールボックスから切断する

オンラインの場合は、**[オプション]** > **切断**の順に選択して、リモートメールボックスとのパケットデータ接続を終了します。

補足 : また、メールボックスを接続したままで、新しい E-mail(デフォルトで**ヘッダーのみ**) をリモートメールボックスから本機に自動的に取得することもできます (サーバが IMAP IDLE 機能に対応している場合のみ)。メッセージアプリケーションをバックグラウンドで接続したままにするには、 を 2 回押します。接続したままにしておくと、データトラフィックが増えて通信費が高くなることがあります。

オフライン中に E-mail メッセージを表示する

次回**メールボックス**を開いたときに、E-mail メッセージをオフラインで表示して確認するには、**メールボックスに接続しますか ?** というメッセージに対して、**[いいえ]** を選択します。すでに取得していれば、E-mail のヘッダー、メッセージ、あるいはその両方を参照できます。また、次回メールボックスに接続したときに送信する E-mail の新規作成、返信、または転送も可能です。

未送信メール — 送信待ちのメッセージ

未送信メールには、送信待ちのメッセージが一時的に保存されます。

未送信メールにあるメッセージのステータスは次のとおりです。

送信中 — 接続が確立されて、メッセージが送信中です。

待機中 / **順番待ち** — 同じ種類の前のメッセージが送信済みであれば、送信されます。

...（時間）に再送信 — 本機は、タイムアウト時間が経過すると、メッセージを再送信しようとします。すぐに送信を再開するには、**送信**を押します。

保留中 — ドキュメントが**未送信メール**内に保管されている間は、保留に設定できます。対象の送信待ちメッセージを選択して、**[オプション]** > **後で送信する**の順に選択します。

失敗 — 最大の送信試行回数に達しました。送信は失敗しました。SMS を送信しようとしていた場合は、メッセージを開いて、送信オプションが適切かどうかを確認します。

例： ネットワーク圏外で送信できなかったメッセージが未送信メールボックスにある場合、ネットワーク圏内になったときに本機は送信を開始します。E-mail の場合は、次回リモートメールボックスに接続するときに E-mail メッセージを送信します。

SIM カードのメッセージを表示する

本機では、SMS を USIM カードに保存することはできません。別の携帯電話端末を使用して USIM カードに SMS を保存し、その USIM カードを本機に装填した場合は、次の操作で SMS を表示します。

SIM メッセージを表示できるようにするには、本機のフォルダに SIM メッセージをコピーしておく必要があります。

1. **メール**のメイン表示で、**[オプション]** > **SIM に保存されたﾒｰﾙ**の順に選択します。
2. メッセージにマークを付けるには、**[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **マーク**または**すべてをマーク**の順に選択します。
3. **[オプション]** > **コピー**の順に選択します。フォルダのリストが表示されます。
4. フォルダを選択し、**[OK]** を選択してコピーを開始します。フォルダを開き、メッセージを表示します。

メッセージの設定

SMS

メール > **[オプション]** > **設定** > **SMS** の順に選択します。

メッセージセンター — 定義済みのメッセージセンターをリスト表示します。

使用するﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｰ — SMS の配信に使用されるメッセージセンターを選択します。

配信レポート受信（ネットワークサービス）— メッセージ配信レポートを送信するよう、ネットワークに要求します。**いいえ**に設定されている場合は、通信記

録に**送信**ステータスのみが表示されます。「通信記録」(P.33) を参照してください。

メッセージ有効期間 — メッセージ受信者が有効期間内にメッセージを受信できない場合、このメッセージはメッセージセンターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間**は、ネットワークで許可されているメッセージの最長期間です。

送信ﾒｯｾｰｼﾞのﾀｲﾌﾟ — このオプションは、メッセージセンターが SMS をその他の形式に変換できることが確実な場合にのみ変更します。詳しくは、携帯電話事業者にお問い合わせください。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

優先する接続 — ネットワークで使用可能になっていれば、通常の WDCMA および GSM ネットワーク経由またはパケットデータで SMS を送信できます。「接続設定」(P.106) を参照してください。

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

同一ｾﾝﾀｰ経由で返信 (ネットワークサービス) — 同一のメッセージセンター番号で返信メッセージを送信する場合は、**[はい]** を選択します。

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

メッセージセンター設定の編集時に使用できるオプションは、**編集**、**新規ﾒｯｾｰｼﾞｾﾝﾀｰ**、**削除**、**ヘルプ**、および**終了**です。

新しいメッセージセンターを追加する

1. **メッセージセンター** > **[オプション]** > **新規ﾒｯｾｰｼﾞｾﾝﾀｰ**の順に選択します。
2. ◉を押して、メッセージセンターの名前を入力し、**[OK]** を選択します。
3. ◉と◉を押して、メッセージセンターの番号を入力します。番号は、サービスプロバイダから取得します。
4. **[OK]** を選択します。
5. 新しい設定を使用するには、設定表示に戻ります。**使用するﾒｯｾｰｼﾞｾﾝﾀｰ**を選択して、新しいメッセージセンターを選択します。

MMS

メール > **[オプション]** > **設定** > **MMS** の順に選択します。

画像サイズ — MMS 内の静止画のサイズを指定します。オプションは、**オリジナル** (**MMS 作成モード**が**確認メッセージ付き**または**制約なし**に設定されている場合にのみ表示)、**小**、および**大**です。**オリジナル**を選択すると MMS のサイズが大きくなります。

MMS 作成モード — **確認メッセージ付き**を選択した場合、受信者側でサポートされていないメッセージ

の送信を試みると、本機から通知を受けます。**制約あり**を選択すると、サポート対象外のメッセージが送信されないようになります。

使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ (**設定してください**) — MMS センターの優先接続として使用するアクセスポイントを選択します。

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

契約ﾈｯﾄﾜｰｸ内受信 — 契約ネットワーク内での MMS メッセージ受信方法を選択します (**自動**、**手動**、または**オフ**)。**手動**を選択した場合は、MMS センターでメッセージが保存されます。**手動**を設定中に受信したメッセージは、**自動**を選択して後で受信できます。

ローミング時受信 — 契約ネットワーク外で MMS メッセージを取得する方法を選択します。契約ネットワーク圏外にいる場合に MMS を送受信すると、料金がかさみます。**ローミング時受信 > 自動**の順に選択すると、パケットデータ接続が自動的に開始され、メッセージが取得されます。契約ネットワーク圏外にいるときに、MMS を受信しないように設定する場合は、**ローミング時受信 > オフ**の順に選択します。

匿名ﾒｯｾｰｼﾞ受信許可 — 匿名の送信者からのメッセージを拒否するには、**いいえ**を選択します。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

広告受信 — 広告の MMS を受信するかどうかを指定します。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) — 送信メッセージのステータスを通信記録に保存する場合は、**はい**を選択します。

注意 : 一般に、E-mail アドレスに送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

配信ﾚﾎﾟｰﾄ送信拒否 — 受信済み MMS の配信レポートを本機が送信しないように設定するには、**はい**を選択します。

メッセージ有効期間 — メッセージ受信者が有効期間内にメッセージを受信できない場合、このメッセージは MMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間**は、ネットワークで許可されているメッセージの最長期間です。

補足 : OTA メッセージを使って、サービスプロバイダからマルチメディア設定と E-mail 設定を入手することもできます。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。

E-mail

メール > [オプション] > 設定 > E-mail の順に選択するか、メールボックスのメイン表示で **[オプション] > E-mail 設定**の順に選択して、次のオプションから選択します。

使用するﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ — E-mail の送信に使用するメールボックスを選択します。

メールボックス — 定義済みのメールボックスのリストを開きます。メールボックスが定義されていない場合は、メールボックスを定義するようメッセージが表示されます。設定を変更するメールボックスを選択し、次の設定を行います。

メールボックス設定

メールボックス名 — メールボックスにわかりやすい名前を付けます。

使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ (設定してください) — メールボックスのインターネットアクセスポイント (IAP) を選択します。「接続設定」(P.106) を参照してください。

自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ (設定してください) — サービスプロバイダから提供された E-mail アドレスを入力します。お客様のメッセージへの返信は、このアドレスに送信されます。

送信メールサーバ (設定してください) — E-mail を送信するメールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。携帯電話事業者の発信サーバしか使用できない場合があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

メッセージ送信 — 本機からの E-mail の送信方法を指定します。**メッセージ送信**を選択したときに機器をメールボックスに接続する場合は、**直ちに送信**を選択します。リモートメールボックスに接続できるようになったときに E-mail を送信する場合は、**次回接続時**を選択します。

ユーザ名 — サービスプロバイダから提供されたユーザ名を入力します。

パスワード — パスワードを入力します。このフィールドに何も指定しないと、リモートメールボックスに接続を試みたときにパスワードの入力が求められます。

受信メールサーバ (設定してください) — E-mail を受信するメールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

メールボックスタイプ — リモートメールボックスのサービスプロバイダが推奨する E-mail プロトコルを指定します。オプションは、**POP3** および **IMAP4** です。このオプションは設定作成時のみ変更できます。メールボックス設定を保存または終了すると、変更できません。POP3 プロトコルを使用している場合は、オンラインモードで E-mail メッセージが自動更新されることはありません。最新の E-mail メッ

セージを表示するには、いったん切断してメールボックスに接続しなおす必要があります。

セキュリティ (ポート) — POP3、IMAP4、および SMTP プロトコルで使用すると、リモートメールボックスへの接続が保護されます。

APOP 安全ログイン (**ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾀｲﾌﾟ** に IMAP4 が選択されている場合は非表示) — POP3 プロトコルで使用すると、メールボックスへの接続中、リモートの E-mail サーバへのパスワードの送信が暗号化されます。

ユーザ設定

E-mai 受信数 (E-mail プロトコルが POP3 に設定されている場合は非表示) — メールボックスに取得できる新着 E-mail の数を定義します。

受信 — E-mail のどの部分を取得するのかを、**ヘッダーのみ**、**受信ｻｲｽﾞ指定 (KB)**、**ﾒｯｾｰｼﾞと添付ﾌｧｲﾙ** (E-mail プロトコルが IMAP4 に設定されている場合は非表示) の中から指定します。

添付ファイル受信 (E-mail プロトコルが POP3 に設定されている場合は非表示) — E-mail を添付ファイルとともに取得するかどうかを選択します。

登録フォルダ (E-mail プロトコルが POP3 に設定されている場合は非表示) — その他のフォルダをリモートメールボックスに登録することも、それらのフォルダから本文を取得することもできます。

自分にコピー送信 — **はい**を選択すると、リモートメールボックスと**自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ**で指定されたアドレスに、E-mail のコピーを保存します。

署名添付 — E-mail メッセージに署名を添付する場合、**はい**を選択します。

自分の名前 — 名前を入力します。受信者側の電話機がこの機能に対応している場合、ここで入力した名前が E-mail アドレスのかわりに受信者の電話機に表示されます。

自動受信

ヘッダー受信 — この機能がオンになっている場合は、メールボックス名の右側に「 」が表示され、メッセージが自動的に取得されます。メッセージを取得するタイミングと頻度を指定できます。データトラフィックが増えて通信費が高くなることがあります。

インターネットサービスメッセージ

メール > **[オプション]** > **設定** > **サービスメッセージ**の順に選択します。サービスメッセージを受信するかどうかを選択します。ブラウザを自動的に有効にしてネットワーク接続を開始し、サービスメッセージの取得時に本文を取得できるように設定する場合は、**ﾒｯｾｰｼﾞﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** > **自動**の順に選択します。

セルブロードキャスト

トピックとそのトピック番号についてサービスプロバイダに確認し、**メール** > **[オプション]** > **設定** > **情報メッセージ**の順に選択して、設定を変更します。

言語 — **すべて**では、すべてのサポート対象言語でセルブロードキャストメッセージを取得できます。**選択**では、セルブロードキャストメッセージを取得する言語を選択できます。希望する言語がない場合は、**その他**を選択します。

トピック検出 — **トピック検出** > **オン**の順に設定すると、新しいトピック番号が自動的に検索され、名前のない新しい番号がトピック一覧に保存されます。新しいトピック番号を自動的に保存しない場合は、**オフ**を選択します。

その他設定

メール > **[オプション]** > **設定** > **その他**の順に選択します。

送信済みﾒｯｾｰｼﾞ保存 — **送信済みメール**フォルダに送ったすべての SMS、MMS、または E-mail のコピーを保存する場合に選択します。

保存メッセージ数 — **送信済みメール**フォルダに一度に保存できる送信済みメッセージの数を指定します。デフォルトのメッセージ数は、20 件です。この制限値までメッセージを保存すると、もっとも古いメッセージが削除されます。

使用するメモリ — メッセージの保存先メモリとして**電話機メモリ**または**メモリカード**を選択します。

補足： **メモリカード**を選択した場合は、メモリカードスロットカバーを開いたりメモリカードを取りはずしたりする前に、オフラインモードを有効にしてください。メモリカードが使用できない場合、メッセージは電話機メモリに保存されます。

新着 E-mail の通知 — メールボックスに新着 E-mail が受信されたときに通知するかしないかを選択します。

カレンダー

ショートカット : カレンダー表示で任意のキー ([1] ~ [ ]) を押します。会議エントリが表示され、入力したテキストが**件名**フィールドに追加されます。

カレンダーエントリを作成する

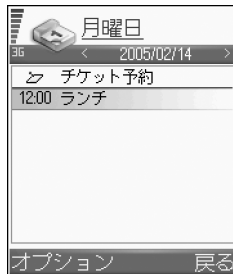
1 を押して、**オフィス** > **カレンダー** > **[オプション]** > **新規エントリ**の順に選択し、次のオプションから選択します。

会議 — 特定の日時の予定について通知を表示できます。

メモ — 各日にメモを作成できます。

記念日 — 誕生日や特別な記念日に通知を表示できます。記念日を設定すると、毎年通知されます。

2 フィールドに入力します。フィールド間の移動には、を使用します。

アラーム (会議、記念日) — **オン**を選択し、を押して、**アラーム時刻**フィールドと**アラーム日付**フィールドに入力します。日表示の「 」はアラームを表します。カレンダーアラームを停止するには、**[マナー]** を選択してカレンダーアラーム音をオフにします。アラーム文字は画面上に表示されたままです。カレンダーアラームをオフにする場合は **[停止]** を選択します。スヌーズに設定する場合は **[スヌーズ]** を選択します。

繰り返し — を押して、繰り返すエントリを変更します (「 」 が日表示に表示されます)。このオプションは、会議のエントリに表示されます。

繰り返し終了日 — 繰り返しエントリの終了日を設定できます。

同期 : を押すと次の項目が表示されます。

プライベート — 同期の終了後、お客様だけがカレンダーエントリを参照できます。他の誰かがオンラインでアクセスしてカレンダーを参照することはできません。

パブリック — お客様のカレンダーにオンラインでアクセスできる人がカレンダーエントリを参照できます。

なし — 同期を実行しても、カレンダーエントリはお客様の PC にコピーされません。

3 エントリを保存するには、**[OK]** を選択します。

補足 : カレンダーノートを互換性のある電話機に送信するには、**[オプション]** > **送信** > **SMS**、**MMS**、または **Bluetooth** の順に選択します。

カレンダー表示

補足 : [オプション] > **設定**の順に選択して、カレンダーを開いたときの表示または週の開始日を変更できます。

月表示の場合、カレンダーエントリのある日には右下隅に小さな三角形が表示されます。週表示の場合、メモと記念日は 8 時より前に配置されます。

日表示や週表示で表示されるアイコンは次のとおりです。

メモ
記念日
会議にはアイコンはありません。

- 特定の日に移動するには、**[オプション]** > **指定日へ移動**の順に選択し、日付を入力して、**[OK]** を選択します。
- 今日の日付に移動するには、[#] を押します。
- 本機の言語を日本語に設定している場合は、月表示の週開始日を月曜日に変更すると、月表示で週番号が表示されます。

補足 : カレンダーや To-do データは、Nokia の他機種からお客様の電話機に移動することも、Nokia PC Suite を使用して互換性のある PC と同期することもできます。本機付属 CD-ROM を参照してください。

カレンダーアラームを設定する

会議を通知するために、アラームを設定できます。このオプションは、メモには使用できません。

1. アラームを設定するエントリを開き、**アラーム** > **オン**の順に選択します。
2. **アラーム時刻**および**アラーム日付**を設定します。
3. **繰り返し**を選択し、を押してアラームの繰り返し間隔を選択します。繰り返しを設定したエントリには、「」が右側に表示されます。
4. **[OK]** を選択します。
カレンダーアラームを削除するには、削除するアラームがあるエントリを開き、**アラーム** > **オフ**の順に選択します。

カレンダーエントリを削除する

ｶﾚﾝﾀﾞｰにある過去のエントリを削除すると、本機のメモリ容量を節約できます。

一度に複数のイベントを削除するには、月表示に移動して、**[オプション]** > **エントリ削除**の順に選択し、次のいずれかを選択します。

- **指定日より前を削除** — 指定した日付よりも前にあるカレンダーエントリをすべて削除します。
- **すべてのエントリ** — カレンダーエントリをすべて削除します。

カレンダー設定

ｶﾚﾝﾀﾞｰｱﾗｰﾑ音、**デフォルト表示**、**週開始日**、および**週表示タイトル**を修正するには、**[オプション] > 設定**の順に選択します。**週表示タイトル**は、週開始日を月曜日に設定すると表示されます。

インターネット

さまざまなサービスプロバイダが、モバイルデバイス専用に設計されたホームページを提供しています。これらのページにアクセスするには、を押して、**オフィス > インターネット**の順に選択します。これらのページは、WML (Wireless Markup Language)、XHTML (Extensible Hypertext Markup Language)、または HTML (Hypertext Markup Language) で作成されています。

利用可能なサービス、価格、請求方式については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにご確認ください。また、サービスプロバイダにサービスの利用方法についても確認してください。

ショートカット： 接続を開始するには、待受画面で [ ] を長く押します。

インターネットにアクセスする

- 使用するインターネットページにアクセスするための設定を保存します。「ブラウザの設定を受信する」(P.81) または「設定を手動で入力する」(P.81) を参照してください。
- インターネットに接続します。「接続する」(P.83) を参照してください。
- ページのブラウズを開始します。「ページを表示する」(P.83) を参照してください。
- インターネットへの接続を終了します。「接続を切断する」(P.86) を参照してください。

ブラウザの設定を受信する

注意： 日本国内ではご利用いただけません。

補足： 設定は携帯電話事業者やサービスプロバイダのインターネットサイトから入手できる場合があります。

インターネットページを提供する携帯電話事業者またはサービスプロバイダから、特別な SMS でインターネットサービスの設定が送信されてくる場合があります。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。詳細については、携帯電話事業者やサービスプロバイダにお問い合わせください。

設定を手動で入力する

サービスプロバイダからの指示に従って、設定してください。

1 **ツール > 設定 > 接続 > アクセスポイント**の順に選択して、アクセスポイントの設定を定義します。「接続設定」(P.106) を参照してください。

2 インターネット > [オプション] > ブックマーク管理 > ブックマーク追加の順に選択します。アクセスポイントで定義したページのブックマーク名と URL を記入します。

ブックマーク

用語 : ブックマークとは、インターネットの URL(必須)、ブックマークタイトル、アクセスポイントからなる情報です。インターネットページによってはユーザ名とパスワードもこれに含まれます。

ブックマークで使用できるオプションは、**開く**、**ブックマークを開く**、**ブラウザに戻る**、**ブックマーク管理**、**マーク / マーク解除**、**ナビゲーション**、**詳細オプション**、**送信**、**ブックマーク検索**、**詳細**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

注意 : 本機に、Nokia とは関連のないサイトのブックマークが登録されている場合があります。Nokia では、それらのサイトに対する保証は一切行っていません。このようなサイトにアクセスする場合は、他のインターネットサイトへのアクセスと同様に、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

ブックマーク表示で表示されるアイコン :

「 」デフォルトのアクセスポイントに定義されたスタートページ。ブラウズ用に別のデフォルトのアクセスポイントを使用すると、スタートページはそれに応じて変化します。

「 」自動ブックマークフォルダには、ページをブラウズすることで自動的に記録されたブックマーク「 」が蓄積されます。このフォルダのブックマークは、ドメインに応じて自動的に編成されます。

「 」タイトルまたはインターネットアドレスを示す任意のブックマーク。

ブックマークを手動で追加する

1 ブックマーク表示で、**[オプション] > ブックマーク管理 > ブックマーク追加**の順に選択します。

2 各フィールドに入力します。URL アドレスは、必須項目です。デフォルトのアクセスポイントがブックマークにまだ登録されていない場合は、登録されます。[* + 記号] を押して、/、.、: および @ などの特殊文字を入力します。文字を消去するには、C を押します。

3 **[オプション] > 保存**の順に選択して、ブックマークを保存します。

ブックマークを送信する

該当するブックマークを選択し、**[オプション] > 送信 > SMS** の順に選択します。 を押して送信します。一度に複数のブックマークを送信できます。

接続する

必要な接続設定をすべて保存したら、それらのページにアクセスできるようになります。

1 ブックマークを選択するか、またはフィールド「 」にアドレスを入力します。アドレスを入力すると、一致するブックマークがフィールドの上に表示されます。 を押して、一致するブックマークを 1 つ選択します。

ブラウズ中に使用できるオプションは、**開く**、**確定**、**ファイル削除**、**ビューアで開く**、**ウォレットを開く**、**サービスオプション**、**ﾌﾞｯｸﾏｰｸﾘｽﾄに戻る**、**ﾌﾞｯｸﾏｰｸとして保存**、**画像表示**、**ナビゲーション**、**詳細オプション**、**画像表示**、**ブックマーク送信**、**検索**、**詳細**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です (表示中のページにより異なります)。

2 を押して、ページのダウンロードを開始します。

接続セキュリティ

接続中にセキュリティマーク「 」が表示されると、本機とインターネットゲートウェイまたはサーバ間のデータ伝送は暗号化されます。

セキュリティアイコンは、ゲートウェイとコンテンツサーバ (要求されたリソースが保存される場所) 間のデータ伝送が安全であることを示すものではありません。ゲートウェイとコンテンツサーバの間のデータ伝送を保証するのは、サービスプロバイダです。

接続、暗号化ステータス、およびサーバとユーザ認証に関する情報を表示するには、**[オプション]** > **詳細** > **セキュリティ**の順に選択します。

セキュリティ機能は、銀行業務などの一部のサービスで必須です。このような接続にはセキュリティ証明書が必要です。詳細についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。「証明書管理」(P.111) もあわせて参照してください。

ページを表示する

ブラウザのページでは、まだ参照していないリンクは青の下線で、一度参照したリンクは紫の下線で示されます。リンクとして機能する画像は、周囲に青の枠線があります。

リンクを開く、ボックスにチェックマークを付ける、および項目を選択する場合は、 を押します。

ブラウズ中に前のページに移動するには、**[戻る]** を選択します。**[戻る]** を使用できない場合は、**[オプション]** > **ナビゲーション** > **履歴**の順に選択して、ブラウズセッション中にアクセスしたページのリスト (アクセスした順) を表示します。履歴リストは、セッションを終了するたびにクリアされます。

サーバから最新のコンテンツを取得するには、**[オプション]** > **ナビゲーション** > **再読み込み**の順に選択します。

ブックマークを保存するには、**[オプション]** > **ﾌﾞｯｸﾏｰｸとして保存**の順に選択します。

補足：ブラウズ中にブックマーク表示にアクセスするには、◉を長く押します。ブラウザ表示に戻るには、**[オプション] > ブラウザに戻る**の順に選択します。

ブラウズ中にページを保存するには、**[オプション] > 詳細オプション > ページ保存**の順に選択します。ページは、電話機メモリにもメモリカードにも保存できます。保存後は、オフラインでも参照できます。これらのページに後でアクセスするには、ブックマーク表示で◉を押して、**保存ページ**表示を開きます。

新しい URL アドレスを入力するには、**[オプション] > ナビゲーション > URL 入力**の順に選択します。

現在表示中のページでコマンドのサブリストを開くには、**[オプション] > サービスオプション**の順に選択します。

着信音、静止画、オペレータロゴ、テーマ、ビデオクリップなどのアイテムをダウンロードできます。ダウンロードした各種アイテムは、本機のそれぞれ対応するアプリケーションに保存されます。たとえば、静止画をダウンロードすると、**ギャラリー**に保存されます。

ショートカット：[文字 #] を使用するとページの末尾に、[* + 記号] を使用するとページの先頭に移動します。

著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集および転送は禁止されています。

重要：有害ソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのソフトウェアだけをインストールしてください。

ブラウズ中に新しいインターネットサービスメッセージをダウンロードして表示するには、**[オプション] > 詳細オプション > ｻｰﾋﾞｽﾒｯｾｰｼﾞを読む** (新しいメッセージがある場合のみ表示) の順に選択します。「インターネットサービスメッセージ」(P.68) もあわせて参照してください。

補足：お客様のブラウザは、インターネットページのブラウズ中に自動的にブックマークを蓄積します。ブックマークは、自動ブックマークフォルダ「 」に保存され、ドメインに応じて自動的に編成されます。「インターネット設定」(P.86) もあわせて参照してください。

保存ページを表示する

頻繁に更新されない情報を掲載したページを定期的にブラウズする場合は、ページを保存しておくとオフラインでブラウズすることができます。保存ページ表示で、保存したブラウザページを格納するフォルダを作成することもできます。

保存ページ表示で使用できるオプションは、**開く**、**ブラウザに戻る**、**再読み込み**、**保存ページ管理**、**マーク / マーク解除**、**ナビゲーション**、**詳細オプション**、**詳細**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

保存ページ表示を開くには、ブックマーク表示で ◉ を押します。保存ページ表示で、◉ を押して、保存したページ「 」を開きます。

ブラウズ中にページを保存するには、**[オプション] > 詳細オプション > ページ保存**の順に選択します。

ブラウザサービスへの接続を開始し、ページの最新バージョンをダウンロードするには、**[オプション] > ナビゲーション > 再読み込み**の順に選択します。ページの再読み込みが終了した後も、本機はオンラインのままです。

アイテムをダウンロードして購入する

着信音、静止画、オペレータロゴ、テーマ、ビデオクリップなどのアイテムをダウンロードできます。これらのアイテムには、無料のものも、有料のものもあります。ダウンロードした各種アイテムは、本機のそれぞれ対応するアプリケーションに保存されます。たとえば、写真をダウンロードすると、**ギャラリー**に保存されます。

重要 : 有害ソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのアプリケーションだけをインストールしてください。

1 アイテムをダウンロードするには、リンクを選択して ◉ を押します。

   アイテムが無料の場合、**確定**を選択します。ダウンロードされると、そのコンテンツは該当するアプリケーションによって自動的に表示されます。

   ダウンロードをキャンセルするには、**[キャンセル]** を選択します。

2 アイテム購入するには、「購入」などの該当するオプションを選択します。

3 表示された事項を注意深く読みます。

   オンラインコンテンツに互換性がある場合、ウォレット情報を使用して購入できます。

4 **ウォレットを開く**を選択します。ウォレットコードの入力を求められます。「ウォレットコードを作成する」(P.92) を参照してください。

5 お客様のウォレットから該当するカードのカテゴリを選択します。

6 **[入力]** を選択します。これにより、選択したウォレット情報がアップロードされます。

   購入に必要なすべての情報がウォレットに含まれていない場合、不足している情報の入力を求められます。

注意：著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集、および転送は禁止されています。

接続を切断する

[オプション] > **詳細オプション** > **切断**の順に選択するか、または を長く押してブラウズを終了し、待受画面に戻ります。

キャッシュをクリアする

アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されます。

注意：キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり実際にアクセスしたりした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されています。キャッシュをクリアするには、**[オプション]** > **ナビゲーション** > **キャッシュをクリア**の順に選択します。

インターネット設定

[オプション] > **設定**の順に選択し、次のオプションから選択します。

デフォルトアクセスポイント — デフォルトのアクセスポイントを変更するには、を押して使用可能なアクセスポイントのリストを開きます。「接続設定」(P.106) を参照してください。

画像表示 — ブラウズ中に画像をロードするかどうかを選択します。**いいえ**を選択した場合、後でブラウズ中に画像をロードするには、**[オプション]** > **画像表示**の順に選択します。

フォントサイズ — テキストのサイズを選択します。

デフォルトエンコード — テキストの文字が適切に表示されない場合は、言語に応じて別の文字エンコードを選択する必要があります。

自動ブックマーク — 自動的にブックマークを蓄積しない場合は、**オフ**を選択します。自動的にブックマークを蓄積し、ブックマーク表示にはフォルダを表示しない場合は、**フォルダ表示なし**を選択します。

画面サイズ — ブラウズ中に表示する内容を選択します。**標準**または**全画面表示**を選択します。

検索ページ — ブックマーク表示で**ナビゲーション** > **検索ページを開く**の順に選択したとき、またはブラウズしているときにダウンロードされるインターネットページを定義します。

音量 — インターネットページに埋め込まれたサウンドを再生するようにブラウザを設定する場合は、音量レベルを選択します。

表示オプション — **携帯画面サイズ**モードの場合にできるだけレイアウトを正確に表示するには、**画質**を選択します。外部カスケードスタイルシート (CSS) をダウンロードしない場合は、**速度**を選択します。

クッキー — cookie の送受信を有効または無効にします。クッキーを削除するには、を押し、**オフィス** > **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ** > **[オプション]** > **詳細オプション** > **クッキー削除**の順に選択します。

用語 : cookie とは、頻繁にアクセスされているコンテンツのユーザとその設定をコンテンツプロバイダが把握する手段の 1 つです。

Java/ECMA スクリプト — スクリプトの使用を有効または無効にします。

セキュリティ警告 — セキュリティ通知を表示または非表示にします。

シリアル番号送信 — ネットワークサービスから要求があったときに、電話機のシリアル番号をお客様のユーザ ID として送信する場合は、**オン** を選択します。

ﾌﾟｯｼｭ信号送信確認 — 通話中、本機がプッシュ信号を送信する前に確認のメッセージを表示するかどうかを選択します。「通話中に使用できるオプション」(P.32) もあわせて参照してください。

ウォレット > **オン** — 対応しているブラウザを開いたときに自動的にウォレットが開きます。「ウォレット」(P.91) を参照してください。

オフィス

電卓

加算、減算、乗算、除算、平方根計算、パーセント計算を行うには、 を押して、**オフィス** > **電卓**の順に選択します。

注意 : 本機の電卓は精度に限りがあり、簡単な計算用として設計されています。

数字をメモリ (**M** で表記) に記憶させるには、**[オプション]** > **メモリ** > **保存**の順に選択します。メモリに記憶させた数字を取り出すには、**[オプション]** > **メモリ** > **再呼び出し**の順に選択します。メモリに記憶させた数字を消去するには、**[オプション]** > **メモリ** > **クリア**の順に選択します。

パーセント計算

1 パーセントを計算する数字を入力します。
2 「×」、「÷」、「−」、「+」のいずれかを選択します。
3 パーセント値を入力します。
4 「%」を選択します。

コンバータ

単位を変換するには (たとえば、**長さ**を**ヤード**から**メートル**に変換するには)、 を押して、**オフィス** > **ｺﾝﾊﾞｰﾀ**の順に選択します。

ｺﾝﾊﾞｰﾀで使用できるオプションは、**単位選択** / **通貨変更**、**変換タイプ**、**通貨レート**、**ヘルプ**、および**終了**です。

本機の**ｺﾝﾊﾞｰﾀ**は精度に限りがあり、四捨五入の際に誤差が生じる場合があります。

1 **タイプ**フィールドを選択して、◉を押すと、尺度のリストが表示されます。使用する尺度を選択して、**[OK]** を選択します。
2 最初の**単位**フィールドを選択して、◉を押します。変換元の単位を選択して、**[OK]** を選択します。次の**単位**フィールドを選択して、変換先の単位を選択します。
3 最初の**数量**フィールドを選択して、変換する値を入力します。もう一方の**数量**フィールドに変換された値が自動的に表示されます。

   小数点を追加するには [#] を押します。**+**、**-**(温度の場合)、**E**(指数) の各記号を追加するには [* + 記号] を押します。

基本通貨と交換レートを設定する

補足：変換方向を変更するには、値を第 2 の**数量**フィールドに入力します。結果は第 1 の**数量**フィールドに表示されます。

通貨換算を行う前に、基本通貨の選択と交換レートの追加が必要です。基本通貨の換算レートは常に 1 です。基本通貨によって別の通貨との換算レートが決まります。

1 **ｺﾝﾊﾞｰﾀ** > **[オプション]** > **通貨レート**の順に選択します。通貨リストが表示されます。基本通貨は一番上に表示されます。
2 基本通貨を変更するには、基本通貨にする通貨を選択して、**[オプション]** > **基本通貨に設定**の順に選択します。

   補足：通貨記号を変更するには、通貨レート表示を開き、通貨を選択して、**[オプション]** > **通貨記号変更**の順に選択します。
3 交換レートを追加します。通貨を選択して、新しいレート (選択した基本通貨を 1 としたときの通貨の比率) を入力します。

必要な交換レートをすべて挿入すると、通貨換算を行えるようになります。

注意：基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがゼロになるので、新しいレートを入力する必要があります。

To-do

タスクリストを作成する

ノートを入力したりタスクリストを更新したりするには、 を押して、**オフィス** > **To-do** の順に選択します。

ノートを追加するには、任意のキーを押して**件名**フィールドにタスクを書き込みます。

タスクの期限を設定するには、**期限日**フィールドを選択し、日付を入力します。

To-do ノートの優先度を設定するには、**優先度**フィールドを選択し、 を押して優先度を選択します。優先度アイコンには、「 ! 」(**高**) および「 – 」(**低**) があります。優先度**標準**にアイコンはありません。

タスク完了のマークを付けるには、**To-do** リストで該当するタスクを選択し、**[オプション]** > **完了マーク**の順に選択します。

タスクを復元するには、**To-do** リストで該当するタスクを選択し、**[オプション]** > **完了マーク解除**の順に選択します。

ノート

ノートを入力するには、を押して、**オフィス** > **ノート**の順に選択します。ノートは本機と互換性のある機器に送信できます。受信したテキストファイル (TXT 形式) は**ノート**に保存できます。

音声メモ

通話中の会話や音声メモを録音するには、を押して、**オフィス** > **音声メモ**の順に選択します。通話中の会話を録音する場合、録音中はお客様と通話相手の両方に約 5 秒間隔でビープ音が聞こえます。

ショートカット・ウォレット

ショートカット

ショートカットを登録する

ショートカットの一例：
「」**カレンダー**を開きます。
「」**受信メール**を開きます。
「」**ノート**を開きます。

ショートカット (お気に入りの画像、ノート、ブックマークなどへのリンク) を保存するには、を押して、**ショートカット**を選択します。ショートカットは、個々のアプリケーション (**ギャラリー**など) からしか登録できません。アプリケーションによっては、この機能を備えていない場合もあります。

1 ショートカットを登録するアプリケーションの項目を選択します。

2 **「ショートカット」に追加**を選択します。ショートカットが指している項目を (たとえば、フォルダ間で) 移動すると、**ショートカット**にあるショートカットは自動的に更新されます。

ショートカットアイコンの左下にある識別子を変更するには、**[オプション] > ショートカットアイコン**の順に選択します。

ショートカットを削除する

ショートカットを選択して、C を押します。デフォルトショートカットは削除できません。

ショートカットに登録されているアプリケーションやドキュメントを削除すると、削除した項目のショートカットアイコンは**ショートカット**表示で淡色表示になります。そのショートカットは、次回ショートカットを開くときに削除できます。

ウォレット

を押して、**オフィス > ウォレット**の順に選択します。
ウォレットは、お客様の個人情報 (クレジットカードやデビットカードの番号、住所、ユーザ名とパスワードなど) を格納する領域です。

ウォレットに格納されている情報は、インターネットページのオンラインフォームでクレジットカードの詳細情報が必要な場合などに自動的に入力されます。
ウォレット内のデータは暗号化され、お客様が決めるウォレットコードで保護されます。

ウォレットは、約 5 分経過すると自動的に閉じます。内容を再び表示するにはウォレットコードを入力します。自動タイムアウトの長さは必要に応じて変更できます。「ウォレット設定」(P.94) を参照してください。

ウォレットのメイン表示で使用できるオプションは、**開く**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

ウォレットコードを作成する

ウォレットを開くたびに、ウォレットコードの入力を求められます。作成したコードを入力して、**[OK]** を選択します。

最初にウォレットを開くときは、お客様のウォレットコードを作成する必要があります。

1 選んだコード (4 ～ 10 桁の英数字) を入力して、**[OK]** を選択します。

2 コードの確認を求められます。同じコードを入力して、**[OK]** を選択します。ウォレットコードは他人に知られないようにしてください。

連続 3 回ウォレットコードを誤って入力すると、ウォレットは約 5 分間ブロックされます。さらに誤ったウォレットコードが入力されると、ブロック時間が長くなります。

ウォレットコードを忘れた場合は、コードをリセットする必要があります。リセットするとウォレットに保存されている情報はすべて失われます。「ウォレットとウォレットコードをリセットする」(P.94) を参照してください。

個人カードの詳細を保存する

1 ウォレットのメインメニューで**カード類**カテゴリを選択して、◉ を押します。

2 リストでカードの種類を選択して、◉ を押します。

支払カード — クレジットカードとデビットカード

ロイヤリティカード — 会員カードと店舗カード

オンラインアクセスカード — オンラインサービスのユーザ名とパスワード

住所カード — 自宅や勤務先の基本的な連絡先情報

ユーザ情報カード — オンラインサービス用にカスタマイズした個人設定

3 **[オプション] > 新規カード**の順に選択します。空白のフォームが表示されます。

4 フィールドに入力して、**[OK]** を選択します。

カード発行者やサービスプロバイダから本機にカード情報を直接受信することもできます (このサービスが提供されている場合)。カードが属するカテゴリが通知されます。カードを保存するか破棄します。保存したカードの表示や名前の変更はできますが、編集はできません。

カード内のフィールドは表示、編集、削除できます。変更内容は終了時に保存されます。

個人ノートを作成する

個人ノートは、機密情報 (銀行の口座番号など) を保存するためのツールです。個人ノート内のデータにはブラウザからアクセスできます。個人ノートをメッセージとして送信することもできます。

1 **ｳｫﾚｯﾄ**のメインメニューで**個人ノート**カテゴリを選択して、◉を押します。

2 **[オプション] > 新規ノート**の順に選択します。空白のノートが表示されます。

3 [1] ～ [0] を押して、入力します。文字を消去するには、Cを押します。

4 **[OK]** を選択して保存します。

ウォレットプロファイルを作成する

お客様の個人データを保存したら、そのデータを組み合わせてウォレットプロファイルにすることができます。ウォレットプロファイルを使用すると、さまざまなカードやカテゴリからブラウザにウォレットデータを入力できます (フォームに入力するときなど)。

1 ウォレットのメインメニューで**ｳｫﾚｯﾄﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ**カテゴリを選択して、◉を押します。

2 **[オプション] > 新規プロファイル**の順に選択します。新しいウォレットプロファイルフォームが表示されます。

3 フィールドに入力するか、項目リストからオプションを選択します。

プロファイル名 — プロファイル名を選んで入力します。

支払カード — リストからカードを選択します。

ロイヤリティカード — リストからカードを選択します。

オンラインアクセスカード — リストからカードを選択します。

発送先 — リストからアドレスを選択します。

請求先 — この情報は、デフォルトでは発送先と同じです。別の住所が必要な場合は、住所カードカテゴリで選択します。

ユーザ情報カード — リストからカードを選択します。

電子領収書受信先 — リストから宛先を選択します。

電子領収書配信方法 — **電話機**、**E-mail**、または**電話機 &E-mail** を選択します。

RFID 送信 — **オン**または**オフ**に設定します。お客様の電話機固有の ID をウォレットプロファイルと一緒に送信するかどうかを指定します。

4 **[OK]** を選択します。

例 : お客様の支払カードの詳細情報をアップロードすることで、カード番号と有効期限が必要なときに入力する必要がなくなります (参照しているコンテンツによって異なります)。また、認証が必要なモバイルサービスに接続するときに、アクセスカードとして保存されたお客様のユーザ名とパスワードを取り出すことができます。

チケットの詳細情報を表示する

ブラウザを使ってオンラインで購入したチケットの通知を受信できます。受信した通知はウォレットに格納されます。通知を表示するには、次の手順で操作します。

1 ウォレットのメインメニューで**チケット**カテゴリを選択して、◉を押します。

2 **[オプション] > 表示**の順に選択します。通知内のフィールドは一切変更できません。

ウォレット設定

ウォレットのメインメニューで、**[オプション] > 設定**の順に選択して、次のいずれかを選択します。

ウォレットコード — ウォレットコードを変更します。現在のコードの入力、新しいコードの作成、新しいコードの確認を求められます。

RFID — 電話機 ID コード、タイプ、送信オプションを設定します。

自動終了 — 自動タイムアウト時間 (約 1 ～ 60 分) を変更します。タイムアウト時間が経過すると、内容にアクセスするのにウォレットコードを再入力する必要があります。

ウォレットとウォレットコードをリセットする

この操作を行うと、ウォレットの内容がすべて消去されます。

ウォレットの内容とウォレットコードを両方ともリセットするには、次の手順で操作します。

待受画面で *#7370925538# と入力します。

本機のロックコードを入力して、**[OK]** を選択します。「セキュリティ」(P.109) を参照してください。

次にウォレットを開くときは、新しいウォレットコードを入力する必要があります。「ウォレットコードを作成する」(P.92) を参照してください。

外部接続

Bluetooth での外部接続

Bluetooth テクノロジを使用すると、静止画、ビデオクリップ、音楽やサウンドクリップ、ノートを送信したり、Bluetooth テクノロジ搭載の互換機器 (たとえば、PC) に接続したり、ワイヤレスでの接続が可能になります。Bluetooth テクノロジ搭載の機器は電波を使用して通信するため、本機と接続先機器とが見通し線上になくても構いません。10 メートル以内に配置する必要があるだけです。ただし、壁や他の電子機器などの障害物による干渉を受ける可能性はあります。

本機は Bluetooth Specification 1.1 に準拠しており、Generic Access Profile、Serial Port Profile、Dial-up Networking Profile、Headset Profile、Handsfree Profile、Generic Object Exchange Profile、Object Push Profile、File Transfer Profile、Basic Imaging Profile、の Bluetooth プロファイルに対応しています。Bluetooth テクノロジを搭載した他の機器間の相互運用性を保証するため、Nokia が認定した本機用のアクセサリを使用してください。本機との互換性については、Bluetooth 機器の各メーカーにご確認ください。

地域によっては、Bluetooth テクノロジの使用が制限される可能性があります。地方自治体やサービスプロバイダにご確認ください。

Bluetooth を使用する機能では、他機能の使用中にバックグラウンドで実行できるため、電池の使用量が多くなり、電池寿命が短くなります。

Bluetooth 接続の設定

を押して、**外部接続** > **Bluetooth** の順に選択します。

次のオプションを入力します。

Bluetooth — **オン**または**オフ**に設定します。

自機名称公開 > **すべての機器に公開** — Bluetooth テクノロジ搭載の接続先機器で本機を検出できます。**非公開** — 接続先機器で本機を検出できません。

機器名 — 本機の名前を指定します。Bluetooth 接続をオンに設定して**自機名称公開**を**すべての機器に公開**に変更すると、本機とこの名前が他の Bluetooth テクノロジ搭載機器のユーザに公開されます。

Bluetooth 接続を使用してデータを送信する

一度に確立できる Bluetooth 接続は 1 つのみです。

1 送信するアイテムが保存されたアプリケーションを開きます。たとえば、静止画を他の互換機器に送信する場合は、**ｷﾞｬﾗﾘｰ**を開きます。

2 アイテム (たとえば、静止画) を選択して、**[オプション]** > **送信** > **Bluetooth** の順に選択します。

補足 : 機器の検出時、機器によっては、固有のアドレス (機器アドレス) しか表示されないことがあります。本機固有のアドレスを検出するには、待受画面で ***#2820#** と入力します。

本機は、受信できる範囲内に機器があるかどうか検索を開始します。受信範囲内にある Bluetooth テクノロジ搭載機器は、検出されるたびに 1 台ずつ画面に表示されます。機器アイコン、機器の名前、機器の種類、ニックネームが表示されます。

補足 : 以前に機器を検出したことがあれば、そのときに検出された機器のリストが最初に表示されます。改めて検出を行う場合は、**追加の機器**を選択します。このリストは、本機の電源を切るとクリアされます。

検出を中断するには、**[停止]** を押します。機器リストの表示が停止するので、すでに検出された機器から 1 つを選択して、接続を開始できます。

3 接続する機器を選択します。

4 接続先の機器が、データ転送可能になる前にペアリングを完了していなければならないタイプの場合、トーンが鳴った後で、パスコードの入力が求められます。

独自のパスコード (1 ～ 16 桁) を作成し、接続先の機器の所有者もこのコードを使用することを確認します。このパスコードを使用するのは一度だけです。

補足 : SMS のかわりに Bluetooth 接続を使用してテキストを送信するには、**ノート**アプリケーションを開き、テキストを入力し、**[オプション]** > **送信** > **Bluetooth** の順に選択します。

この機器はペアリングの後、認証済み機器表示に保存されます。

用語 : ペアリングとは、認証のことです。Bluetooth テクノロジ搭載機器では、これらの機器をペアリングするために両方の機器で同じパスコードを使用しなければなりません。ユーザインタフェースのない機器の場合、パスコードは工場出荷時に設定されています。

接続が確立すると、**データ送信中**というメッセージが表示されます。

メールの**送信済みメール**フォルダには、Bluetooth 接続を使って送信されたメッセージは保存されません。

他の機器のアイコン :
「 」コンピュータ
「 」電話
「 」オーディオまたはビデオ
「 」ヘッドセット
「 」その他

Bluetooth 接続のステータスをチェックする

- 待受画面に「 」が表示されると、Bluetooth 接続が起動中です。
- 「 」が点滅している場合、本機は接続先の機器への接続を試みています。
- 「 」が点滅せずに表示されている場合、Bluetooth で接続中です。

機器をペアリングする

補足 : 短い名前 (ニックネームまたは別名) を指定するには、その機器を選択し、認証済み機器表示で **[オプション] > ニックネーム登録**の順に選択します。この名前は、機器の検索中または機器が接続を要求するときに、特定の機器を識別するのに役立ちます。

認証済み機器は識別が容易で、機器検索では「 」で表示されます。**Bluetooth** メイン表示で を押して、認証済み機器表示「 」を開きます。

機器をペアリングするには、**[オプション] > 機器検索**の順に選択します。本機は機器検索を開始します。機器を選択します。パスコードを交換します。
「Bluetooth 接続を使用してデータを送信する」(P.96) の操作 4 を参照してください。

ペアリングを解除するには、その機器までスクロールし、**[オプション] > 削除**の順に選択します。すべてのペアリングをキャンセルするには、**[オプション] > すべて削除**の順に選択します。

補足 : 現在ある機器に接続しており、その機器とのペアリングを削除する場合、ペアリングはすぐに削除されますが、接続は有効なままです。

機器を認証済みまたは未認証の状態に設定するには、その機器を選択して、次のオプションから選択します。

自動接続を設定 — 本機とこの機器との接続を通知なしで確立することができます。個別の承認や認証は必要ありません。このステータスは、自分が所有している互換性のあるヘッドセットや PC などの機器や、信用できる相手が所有する機器で使用してください。「 」は、自動接続が設定されている機器を表します。

自動接続を解除 — この機器からの接続要求は、毎回個別に認証する必要があります。

Bluetooth 接続を使用してデータを受信する

Bluetooth 接続を使用してデータを受信すると、トーンが鳴り、メッセージを受信するかどうかを尋ねられます。受信した場合、「」が画面上部に表示され、**メール**の**受信メール**フォルダにアイテムが配置されます。Bluetooth 接続を使用して受信したメッセージは「」で示されます。「受信メール — メッセージを受信する」(P.66) を参照してください。

Bluetooth 接続をオフにする

Bluetooth 接続をオフにするには、**Bluetooth** > **オフ**の順に選択します。

PC 接続

本機は、さまざまな PC 接続アプリケーションとデータ通信アプリケーションで使用できます。Nokia PC Suite を使用すると、電話帳、カレンダー、および To-do ノートなどを、互換性のある PC と本機との間で同期させることができます。Windows 2000 および Windows XP で使用可能な Nokia PC Suite のインストール方法の詳細については、CD-ROM の『Nokia PC Suite ユーザガイド』および Nokia PC Suite ヘルプの「インストール」の項を参照してください。

CD-ROM

CD-ROM は、互換 PC の CD-ROM ドライブに挿入すると自動的に起動します。起動しない場合は、Windows エクスプローラを開いて、CD-ROM を挿入した CD-ROM ドライブを右クリックし、「自動再生」を選択します。

本機をモデムとして使用する

本機は、Bluetooth 接続やデータケーブルで互換 PC と接続することによって、E-mail の送受信やインターネットへの接続でのモデムとして使用できます。インストール手順の詳細については、CD-ROM にある『Nokia PC Suite ユーザガイド』の「モデムオプション」を参照してください。

接続状況

GSM および WCDMA ネットワークで本機を使用する場合、複数のデータ接続が同時に有効になることがあります。複数のデータ接続のステータスの表示、送受信されたデータ量の詳細の表示、および接続の切断を実行するには、を押し、**外部接続** > **接続状況**の順に選択します。**接続状況**を開くと、次の項目が表示されます。

- 確立しているデータ接続。データ通信は、「 」が表示されます。
- 各接続のステータス
- 各接続でアップロードおよびダウンロードされたデータの量 (パケットデータ接続の場合のみ表示)
- 各接続の時間 (データ通信の場合のみ表示)

注意 : サービスプロバイダが実際に請求する通話料金は、ネットワーク機能や請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

接続を切断するには、その接続までスクロールして、**[オプション]** > **切断**の順に選択します。

開いている接続をすべて切断するには、**[オプション]** > **すべて切断**の順に選択します。

データ接続の詳細を表示する

接続が 1 つ以上確立しているときに、**接続状況**メイン表示で使用できるオプションは、**詳細**、**切断**、**すべて切断**、**ヘルプ**、および**終了**です。

接続の詳細を表示するには、その接続までスクロールして、**[オプション]** > **詳細**の順に選択します。

名前 — 使用中のインターネットアクセスポイント (IAP) の名前、またはモデム接続名 (接続がダイヤルアップ接続の場合)

ベアラ — データ接続のタイプ。**データ通信**、**高速 GSM**、**パケット接続**があります。

状態 — 接続の現在のステータス。**接続中**、**接続 (停止)**、**接続 (使用中)**、**保留中**, **切断中**、**切断**があります。

受信 — 本機で受信したデータ量 (単位 : バイト)

送信 — 本機から送信したデータ量 (単位 : バイト)

時間 — 接続が確立してから現在までの接続時間

速度 — 現在のデータ送受信の速度 (単位 : キロバイト / 秒)

名前 — 使用しているアクセスポイントの名前

ﾀﾞｲﾔﾙ — 使用しているダイヤルアップ接続の電話番号

共有 (接続が共有されている場合のみ表示) — 同じ接続を使用しているアプリケーションの数

リモート同期

を押して、**外部接続** > **同期**の順に選択します。**同期**を使用すると、カレンダーや電話帳を、互換性のあるコンピュータやインターネット上でさまざまなカレンダーおよびアドレス帳アプリケーションと同期することができます。

同期アプリケーションでは、同期処理に SyncML 技術が使用されています。SyncML の互換性については、本機のデータと同期するカレンダーおよびアド

レス帳アプリケーションのメーカーにお問い合わせください。

同期の設定は、特別な SMS で送信される場合があります。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。

新しい同期プロファイルを作成する

同期メイン表示で使用できるオプションは、**同期**、**新規同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ**、**同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ編集**、**削除**、**ログ表示**、**デフォルトに設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

1. プロファイルが定義されていない場合、新しいプロファイルを作成するかどうかを尋ねられます。**[はい]** を選択します。

   既存のプロファイルに追加で新しいプロファイルを作成するには、**[オプション] > 新規同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** の順に選択します。新しいプロファイルにデフォルトの設定値を使用するか、または既存のプロファイルの値をコピーして必要な変更を加えるかを選択します。

2. 次のオプションを設定します。

   同期プロファイル名 : — プロファイルにわかりやすい名前を付けます。

   データベアラ — 接続のタイプを選択します。**インターネット**、**Bluetooth** があります。

   アクセスポイント (**データベアラ**が**インターネット**に設定されている場合のみ表示)— そのデータ接続で使用するアクセスポイントを選択します。

   ホストアドレス — 正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

   ポート (**データベアラ**が**インターネット**に設定されている場合のみ表示) — 正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

   ユーザ名 — 同期サーバに使用するユーザ ID。正しい ID については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

   パスワード — パスワードを入力します。正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

   同期要求を許可 — 同期サーバが同期を開始できるように設定するには、**はい**を選択します。

   全同期要求を承認 — サーバが初期化した同期が開始する前に、本機がメッセージを表示するように設定するには、**いいえ**を選択します。

   ネットワーク認証 (**データベアラ**が**インターネット**に設定されている場合のみ表示) — **はい**を選択して、ネットワークユーザ名とパスワードを入力します。◉を押して、ユーザ名フィールドとパスワードフィールドを表示します。

◐を押して、**電話帳**、**カレンダー**、または**ノート**を選択します。

- 選択したデータベースを同期するには、**はい**を選択します。
- **同期タイプ**で、**標準** (双方向の同期)、**サーバ側を更新**、または**電話機側を更新**から同期のタイプを選択します。
- **ﾘﾓｰﾄﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ**には、リモートサーバ上のカレンダー、アドレス帳、またはノートのデータベースへのパスを正しく入力します。

3 **[戻る]** を押して、設定を保存し、メイン表示に戻ります。

データを同期させる

同期メイン表示では、他の同期プロファイルや同期させるデータの種類を表示できます。

1 同期プロファイルを選択して、**[オプション] > 同期**の順に選択します。同期のステータスは、画面下部に表示されます。

USB ケーブルで PC と接続している場合は、PC 側で同期を開始します。

完了前に同期をキャンセルするには、**[キャンセル]** を押します。

2 同期が完了すると、通知メッセージが表示されます。同期が完了した後、**[オプション] > ログ表示**の順に選択してログファイルを開きます。ログファイルには、同期ステータス (**完了**または**未完了**) のほか、本機やサーバ上で追加、更新、削除、破棄 (同期されていない) されたカレンダーや電話帳のエントリの数が示されます。

デバイスマネージャ

を押して、**ツール > デバイス**の順に選択します。携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門からサーバプロファイルや各種構成設定を受信できる場合があります。これらの構成設定には、データ接続用のアクセスポイント設定や、本機内の各種アプリケーションで使用する設定などがあります。

サーバに接続して、本機用の構成設定を受信するには、**設定開始**を選択します。

サービスプロバイダからの構成設定の受信を許可または拒否するには、**構成有効化**または**構成無効化**を選択します。

サーバプロファイル設定

正確な設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

サーバ名 — 構成サーバの名前を入力します。

サーバ ID — 構成サーバを識別する固有の ID を入力します。

サーバパスワード — お客様の電話機をサーバに識別させるパスワードを入力します。

アクセスポイント — サーバに接続するときに使用するアクセスポイントを選択します。

ホストアドレス — サーバの URL アドレスを入力します。

ポート — サーバのポート番号を入力します。

ユーザ名と**パスワード** — ユーザ名とパスワードを入力します。

構成を許可 — サーバに接続して、本機用の構成設定を受信するには、**はい**を選択します。

全要求自動承認 — サーバからの構成設定の受信を許可するかどうか確認したうえで受信するようにするには、**いいえ**を選択します。

ツール

設定

設定を変更するには、を押して、**ツール** > **設定**の順に選択します。設定グループを選択し、◉を押して開きます。変更する設定を選択して、◉を押します。

電話機設定

一般

電話機言語 — 本機の表示言語を変更すると、日時の表示形式や計算などで使用する区切り記号も変わります。**自動**を使用すると、SIM カードの情報に応じて言語が選択されます。表示言語を変更すると、本機が再起動します。

電話機言語の設定変更は、本機内のすべてのアプリケーションに影響します。この変更は設定を再度変更するまで変わりません。

英語予測 - 本機内のすべてのエディタに対して予測文字入力を**オン**または**オフ**に設定できます。予測文字辞書に対応していない言語もあります。

予測辞書リセット - 変換した文字は自動的に変換候補リストに記録されます。お客様がユーザ辞書に登録した単語や頻繁に使用する単語が、変換候補リストの上位に表示されます。変換候補リストは初期値にリセットできます。お客様がユーザ辞書に登録した単語は影響を受けません。

日本語予測 - 本機内のすべてのエディタに対して日本語予測文字入力を**オン**または**オフ**に設定できます。

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ — 本機の電源を入れると、ウェイクアップメッセージまたはロゴが少しの間表示されます。デフォルト画像を使用する場合は**デフォルト**を選択し、ウェイクアップメッセージ (最大 50 文字まで) を入力する場合は**テキスト**を選択します。また、**ｷﾞｬﾗﾘｰ**で写真や画像を選択する場合は**画像**を選択します。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定に戻す - 一部の設定は初期値に戻すことができます。初期値に戻すにはロックコードが必要です。「セキュリティ」の「電話機と SIM」(P.111) を参照してください。設定をリセットした後は、本機の電源が入るまでに多少時間がかかる場合があります。作成したドキュメントとファイルは影響されません。

待受画面のキー設定

待受画面機能拡張 — 待受画面でアプリケーションへのショートカットを使用します。「待受画面機能拡張」(P.26) を参照してください。

[左ソフトキー] — 待受画面でショートカットを左ソフトキー [━] に登録するには、リストからアプリケーションを選択します。

[右ソフトキー] — 待受画面でショートカットを右ソフトキー [━] に登録するには、リストからアプリケーションを選択します。

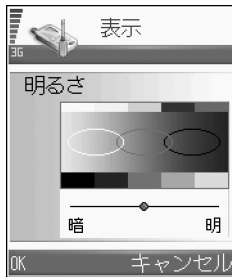
リストからアプリケーションを選択することにより、各種ナビゲーションキーのショートカットを登録することもできます。**待受画面機能拡張**がオンである場合、ナビゲーションキーのショートカットは使用できません。

オペレータロゴ — この設定はオペレータロゴを受信して保存している場合にのみ表示され、オペレータロゴを表示するかどうかを選択できます。

表示

明るさ — 画面を明るくしたり暗くしたりできます。画面の明るさは、周囲の環境に応じて自動的に調整されます。

ｽｸﾘｰﾝｾｰﾊﾞｰ起動時間 — タイムアウト時間が過ぎるとスクリーンセーバーが表示されます。

照明点灯時間 — バックライトがオフになるまでのタイムアウト時間を選択します。

通話設定

発信者番号通知 (ネットワークサービス) — お客様の電話番号を通話相手に表示する (**はい**) か、通話相手に表示しない (**いいえ**) かを設定できます。お客様がサービスに加入している場合は、**契約時デフォルト設定**を選択すると携帯電話事業者またはサービスプロバイダが内容を設定します。

割込通話サービス (ネットワークサービス) — 割込通話サービスを開始した場合、通話中に別の電話がかかってくると通知されます。割込通話サービスを開始するには**開始**を選択し、割込通話サービスを終了するには**停止**を選択します。また、この機能が開始しているかどうかを調べるには**状態確認**を選択します。

通話拒否時 SMS 送信 — 電話に応答できない理由を知らせる SMS を発信者に送信する場合は、**はい**を選択します。「電話に応答する、着信を拒否する」(P.31) を参照してください。

通話拒否時定型文 — 応答を拒否したときに SMS で送信する本文を入力します。

テレビ電話の静止画 — テレビ電話がかかってきた場合に映像送信を拒否できます。映像のかわりに表示する静止画を選択します。

補足 : 着信転送の設定を変更するには、 を押して、**ツール** > **設定** > **転送電話ｻｰﾋﾞｽ**の順

に選択します。「転送電話サービス」(P.113) を参照してください。

国際ｱｸｾｽｺｰﾄﾞ置換 — 日本から国際電話をかけるときに使用する特定の国際電話アクセス番号がある場合は、**はい**を選択して、国際電話アクセス番号を入力します。+ 記号で始まる電話番号を電話帳に保存し、国コードが 81 でない (81 は日本の国コード) 場合、その番号に電話をかけると、+ 記号がここで保存したアクセス番号に置き換えられます。保存したアクセス番号が使用されていない国から通話するときは**いいえ**を選択します。この設定は、電話、テレビ電話、データ通信、FAX 通信の場合にのみ有効ですが、携帯電話事業者間のローミング契約によって異なることがあります。

自動リダイヤル — **オン**を選択すると、電話がつながらない場合に最大 10 回まで自動的に電話をかけ直すことができます。自動リダイヤルを停止するには、 を押します。

通話後の情報表示 — 最後に行った通話のおおよその通話時間を本機に表示させる場合は、この機能を開始します。

ワンタッチダイヤル — **オン**を選択すると、ワンタッチダイヤルキー ([か 2abc] ～ [wxyz 9]) を長く押すことで、そのキーに登録した番号に電話をかけることができます。「ワンタッチダイヤルで電話をかける」(P.30) もあわせて参照してください。

エニーキーアンサー — **オン**を選択すると、どのキー ([ ]、[ ]、 、 は除く) を押しても、かかってきた電話に応答できるようになります。

エニーキーアンサーを**オン**に設定中は、次の方法で電話の着信を拒否します。

- 着信中に**通話拒否時 SMS 送信** (P.104 参照) を使用するには、着信中に **[マナー] > [ﾒｯｾｰｼﾞ送信]** の順に [ ](右ソフトキー) 押します。
- 電話の着信中に応答を拒否する場合は、着信中に (終了キー) を押します。

使用回線 (ネットワークサービス) — この設定は、SIM カードが 2 つの加入者番号 (つまり電話回線) に対応している場合にのみ表示されます。電話をかけたり SMS を送信したりする際に使用する電話回線を選択します。選択した回線に関係なく、どちらの回線にかかってきた電話にも応答できます。**回線 2** を選択しても、このネットワークサービスに加入していない場合は、電話をかけることができません。回線 2 を選択すると、待受画面に「2」が表示されます。

補足 : 電話回線を切り替えるには、待受画面で [記号 #] を長く押します。

電話回線変更 (ネットワークサービス) — 回線選択ができないようにするには、**電話回線変更 > 無効化**の順に選択します (SIM カードが対応している場合)。この設定を変更するには、PIN2 コードが必要です。

接続設定

データ接続とアクセスポイント

本機は、GSM ネットワーク内の GPRS などのパケットデータ通信「」に対応しています。

用語 : GPRS(General Packet Radio Service) は、パケットデータ技術を使って情報を細かいパケットに分割してモバイルネットワーク経由で送信します。

データ接続を確立するには、アクセスポイントが必要です。アクセスポイントは、次に示すいくつかの種類を指定できます。

- MMS の送受信を行う MMS アクセスポイント
- WML や XHTML ページを表示するインターネットアプリケーション用のアクセスポイント
- E-mail の送受信を行うインターネットアクセスポイント (IAP)

アクセスするサービスを提供するサービスプロバイダで、必要なアクセスポイントの種類を調べてください。パケットデータ接続サービスのご利用とお申し込みについては、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

GSM ネットワークと WCDMA ネットワークにおけるパケットデータ接続

本機を GSM および WCDMA ネットワークで使用しているときは、複数のデータ接続を同時に使用したり、複数のアクセスポイントで 1 つのデータ接続を共有したり、通話中にデータ接続を使用中のままにしたりできます。使用中のデータ接続を確認する方法については、「接続状況」(P. 98) を参照してください。

次のインジケータは、使用するネットワークに応じて、電波強度インジケータの下に表示されることがあります。

「」GSM ネットワーク。ネットワークでパケットデータを使用できます。

「」GSM ネットワーク。パケットデータ接続を使用中で、データを転送中です。

「」GSM ネットワーク。複数のパケットデータ接続を使用中です。

「」GSM ネットワーク。パケットデータ接続が保留中です (この状態は通話中などに起こります)。

「」WCDMA ネットワーク。ネットワークでパケットデータを使用できます。

「」WCDMA ネットワーク。パケットデータ接続を使用中で、データを転送中です。

「」WCDMA ネットワーク。複数のパケットデータ接続を使用中です。

アクセスポイント設定を受信する

サービスプロバイダから SMS でアクセスポイント設定を受信できる場合があります。また、本機にアクセスポイント設定がすでに設定されている場合があります。「データおよび設定」(P.67) を参照してください。

新しいアクセスポイントを作成するには、**ツール** > **設定** > **接続** > **アクセスポイント**の順に選択します。

携帯電話事業者やサービスプロバイダがアクセスポイントを保護「」している場合があります。保護されているアクセスポイントは編集や削除ができません。

アクセスポイント

アクセスポイントリストで使用できるオプションは、**編集**、**新規ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ**、**削除**、**ヘルプ**、および**終了**です。

サービスプロバイダからの指示に従って、設定してください。

接続名 — わかりやすい接続名を付けます。

データベアラ — 選択するデータ接続に応じて、特定の設定フィールドだけが使用可能になります。**指定してください**または赤のアスタリスクが表示されているすべてのフィールドに入力します。他のフィールドは、特にサービスプロバイダからの指示がない限り、空欄のままにできます。

アクセスポイント設定の編集時に使用できるオプションは、**変更**、**詳細設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

データ接続を使用できるようにするには、ネットワークサービスプロバイダがこの機能に対応しているとともに、必要な場合に、お客様の SIM カードでこの機能を有効にする必要があります。

アクセスポイント名 (パケットデータの場合のみ) — アクセスポイント名はパケットデータネットワークや WCDMA ネットワークと接続する場合に必要で、携帯電話事業者またはサービスプロバイダから入手できます。

補足 : 「MMS および E-mail 設定を受信する」(P.66)、「E-mail」(P.75)、および「インターネットにアクセスする」(P.81) もあわせて参照してください。

ユーザ名 — ユーザ名はデータ接続を行うときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、ユーザ名では大文字と小文字が区別されます。

パスワード確認 — サーバにログインするたびに新しいパスワードを入力する必要がある場合や、本機にパスワードを保存したくない場合は**はい**を選択します。

パスワード — パスワードはデータ接続を行うときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

認証 — **標準**または**安全**を選択します。

ホームページ — お客様の設定内容に応じて、URL アドレスまたは MMS センターのアドレスを入力します。

次の設定を変更するには、**[オプション] > 詳細設定**の順に選択します。

ネットワークタイプ — 使用するインターネットプロトコルのタイプとして、**IPv4 設定**または **IPv6 設定**を選択します。

電話機 IP アドレス — お客様の電話機の IP アドレスを入力します。

ネームサーバ — **1 次ネームサーバ :** には、1 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。**2 次ネームサーバ :** には、2 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。これらのアドレスを入手するには、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

用語 : ドメインネームサービス (DNS) とは、ドメイン名 (www.nokia.com など) を IP アドレス (192.100.124.195 など) に変換するインターネットサービスのことです。

ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ — プロキシサーバのアドレスを指定します。

プロキシポート番号 — プロキシサーバのポート番号を入力します。

パケット接続

パケットデータ設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響します。

パケット接続 — **可能時**を選択していて、パケットデータ対応のネットワーク圏内にいる場合、本機がパケットデータネットワークに登録されます。また、パケットデータ接続が開始されると、接続 (たとえば、E-mail の送受信) が速くなります。**必要時**を選択した場合は、パケットデータ接続を必要とするアプリケーションや操作を開始する場合にのみパケットデータ接続が使用されます。パケットデータ通信圏にいないときに**可能時**を選択すると、定期的にパケットデータ接続が試みられます。

アクセスポイント — このアクセスポイント名は、お客様のコンピュータのパケットデータモデムとして本機を使用する場合に必要になります。

構成

信頼できるサーバ設定を携帯電話事業者やサービスプロバイダからの構成メッセージで受信できます。また、その設定がお客様の SIM カードや USIM カードに保存されている場合もあります。これらの設定は本

機に保存して、**構成**で表示したり削除したりできます。

日時

「時計設定」(P.22) を参照してください。

「一般」(P.103) の言語設定もあわせて参照してください。

セキュリティ

電話機と SIM

PIN コード要求 — 有効にすると、本機の電源を入れるたびにコードが要求されます。一部の SIM カードでは、PIN(Personal Identification Number: 個人用識別番号) コード要求を無効にできない場合があります。「PIN コードとロックコードに関する用語」(P.110) を参照してください。

PIN コード、**PIN2 コード**、および**ロックコード** — ロックコード、PIN コード、PIN2 コードを変更できます。これらのコードでは、数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。「PIN コードとロックコードに関する用語」(P.110) を参照してください。

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したアクセスコードは使用しないでください。

これらのいずれかのコードを忘れた場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

自動ﾛｯｸまでの時間 — 自動ロックまでの時間を設定できます。この時間を過ぎると、本機が自動的にロックされ、正しいロックコードを入力しない限り使用できなくなります。タイムアウト時間は分単位で入力します。自動ロックまでの時間をオフにするには、**なし**を選択します。

本機のロックを解除するには、ロックコードを入力します。

注意 : 本機がロックされているときでも、オフラインモードで本機にプログラムされている緊急電話番号には電話できる場合があります。USIM カードによっては、キーガードが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができない場合があります。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.158) を参照して電話をかけてください。

補足 : 本機を手動でロックするには、⏻ を押します。コマンドリストが表示されるので、**電話機ロック**を選択します。

SIM 変更時にロック — 認識されていない SIM カードが本機に挿入されたときにロックコードを要求するかどうかを設定できます。本機には、所有者の

カードとして識別する SIM カードのリストが保持されます。

注意 : 次の機能は現在ご利用になれません。

・指定番号ダイヤル

・限定ユーザグループ

・SIM サービス確認

指定番号ダイヤル — SIM カードが対応している場合、本機の発信先や SMS の送信先を、選択した電話番号に制限できます。この機能を使用するには PIN2 コードが必要です。指定番号ダイヤルリストを表示するには、を押して、**ツール** > **設定** > **セキュリティ** > **電話機と SIM** > **指定番号ダイヤル**の順に選択します。新しい番号を指定番号ダイヤルリストに登録するには、**[オプション]** > **新規電話帳登録**または**電話帳から追加**の順に選択します。**指定番号ダイヤル**を使用しているときは、パケットデータ接続を使用できません。ただし、パケットデータ接続で SMS を送信する場合は除きます。この場合、メッセージセンターの番号と受信者の電話番号が指定番号ダイヤルに含まれている必要があります。

指定番号ダイヤル表示で使用できるオプションは、**開く**、**電話をかける**、**指定ダイヤル使用** / **指定ダイヤル停止**、**新規電話帳登録**、**編集**、**削除**、**電話帳へ登録**、**電話帳から追加**、**検索**、**マーク / マーク解除**、**ヘルプ**、および**終了**です。

注意 : 通話を制限するセキュリティ機能 (発着信規制、限定ユーザグループ、指定番号ダイヤルなど) が使用中であっても、本機にプログラムされた公認の緊急電話番号には電話できる場合があります。USIM カードによっては、キーガードが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができない場合があります。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.158) を参照して電話をかけてください。

限定ユーザグループ (ネットワークサービス) — お客様から電話できる相手またはお客様に電話できる人のグループを指定できます。

SIM サービス確認 (ネットワークサービス) — SIM カードサービスを使用中に確認メッセージを表示するように設定できます。

PIN コードとロックコードに関する用語

PIN(Personal Identification Number: 個人用識別番号) コード — このコードは SIM カードの不正使用防止のために使用します。PIN コード (4 ~ 8 桁) は通常 SIM カードと一緒に提供されます。PIN コードの入力を続けて 3 回間違えると PIN コードがブロックされます。SIM カードを再び使用する前にブロッ

クを解除する必要があります。このセクションにあるPUK コードに関する情報を参照してください。

UPIN コード — このコードは USIM カードと一緒に提供される場合があります。USIM カードは SIM カードの拡張版であり、WCDMA 携帯電話に対応しています。UPIN コードによって USIM カードの不正使用を防止できます。

注意 : ボーダフォンでは提供をおこなっておりません。

PIN2 コード — このコード (4 ～ 8 桁) は一部の SIM カードと一緒に提供され、本機の一部の機能にアクセスする場合に必要になります。

ロックコード — このコード (5 桁) を使用すると、不正使用防止のために本機をロックできます。ロックコードの初期設定は **12345** です。不正使用を防止するため、ロックコードを変更してください。新しいコードは他人に知られないようにして、本機とは別の安全な場所に保管してください。

PUK(Personal Unblocking Key: 個人用ブロック解除キー) コードと PUK2 コード — これらのコード (8 桁) はそれぞれ、ブロックされた PIN コードまたは PIN2 コードを変更するために必要です。これらのコードが SIM カードと一緒に提供されていない場合は、お客様の電話機に装着されている SIM カードのオペレータにお問い合わせください。

UPUK コード — このコード (8 桁) はブロックされた UPIN コードを変更するために必要です。このコードが USIM カードと一緒に提供されていない場合は、お客様の電話機に装着されている USIM カードのオペレータにお問い合わせください。

ウォレットコード — このコードはウォレットサービスを使用するために必要です。「ウォレット」(P.91) を参照してください。

証明書管理

デジタル証明書は安全性を保証するものではなく、ソフトウェアの供給元を検証するために使用するものです。

証明書管理のメイン表示では、本機に格納されている証明機関証明書のリストを表示できます。個人証明書のリストを表示するには、◎を押します (使用可能な場合)。

証明書管理のメイン表示で使用できるオプションは、**証明書詳細**、**削除**、**信頼設定**、**マーク / マーク解除**、**ヘルプ**、および**終了**です。

用語 : デジタル証明書は、XHTML ページや WML ページ、インストールされたソフトウェアの供給元を検証するために使用します。ただし、証明書の発行元が信頼できる場合にのみデジタル証明書を信用できます。

オンライン銀行、その他のサイトやリモートサーバに接続して機密情報を転送する場合は、デジタル証明書を使用してください。また、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするときに、ウィルスなどの悪意のあるソフトウェアのリスクを軽減したり、ソフトウェアの信頼性を確認したりする場合にも使用してください。

重要 : 証明書を使用することで、リモート接続やソフトウェアインストールに関わるリスクを大幅に軽減できますが、強化されたセキュリティを有効に活用するには証明書を正しく使用する必要があります。証明書が存在しても、それだけで保護されるわけではありません。強化されたセキュリティを有効にするには、本物の信頼できる正しい証明書が証明書管理に格納されている必要があります。証明書には有効期限があります。証明書が有効であるはずなのに、失効した証明書や有効になっていない証明書が表示される場合は、本機の現在の日時が正しいかどうかを確認してください。

証明書の詳細情報を表示する — 信憑性を調べる

サーバの正しい供給元は、サーバの証明書の署名と有効期間がチェックされたときにのみ確認できます。

サーバの供給元が不確かな場合や、本機に正しいセキュリティ証明書がない場合は、本機の画面にメッセージが表示されます。

証明書の詳細をチェックするには、証明書を選択して、**[オプション] > 証明書詳細**の順に選択します。証明書の詳細を開くと、証明書の有効性がチェックされて、次のメッセージのいずれかが表示される場合があります。

- **信頼されていない証明書です** — アプリケーションで証明書を使用するように設定されていません。「信頼設定を変更する」(P.112) を参照してください。
- **失効した証明書** — 選択した証明書の有効期間を過ぎています。
- **有効になっていない証明書です** — 選択した証明書の有効期間がまだ始まっていません。
- **証明書は壊れています** — 証明書を使用できません。証明書の発行者にお問い合わせください。

信頼設定を変更する

証明書設定を変更する前に、証明書の所有者が本当に信頼できるのか、また、証明書がリストされている所有者に本当に属しているのかを確認する必要があります。

証明機関証明書を選択して、**[オプション] > 信頼設定**の順に選択します。証明書に応じて、選択した証明書を使用できるアプリケーションのリストが表示されます。たとえば、次のように表示されます。

- **Symbian インストール** : **はい** — この証明書は､新しい Symbian オペレーティングシステムアプリケーションの供給元を証明できます。
- **インターネット** : **はい** — この証明書は、サーバを証明できます。
- **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのｲﾝｽﾄｰﾙ** : **はい** — この証明書は､新しい Java アプリケーションの供給元を証明できます。

設定の値を変更するには、**[オプション] > 信頼設定編集**の順に選択します。

転送電話サービス

転送電話ｻｰﾋﾞｽを使用すると、かかってきた電話を留守番電話や別の電話番号に転送できます。詳しくは、サービスプロバイダにお問い合わせください。

1 を押して、**ツール > 設定 > 転送電話ｻｰﾋﾞｽ**の順に選択します。
2 転送する電話 (**電話**、**データ通信とテレビ電話**、**FAX 通信**) を選択します。
3 必要な転送オプションを選択します。お客様の電話番号が通話中の場合や、かかってきた電話を拒否したときに電話を転送するには、**通話中**を選択します。
4 設定オプションをオン (**開始**) またはオフ (**停止**) に設定するか、オプションが開始しているかどうか (**状態確認**) を調べます。複数の転送オプションを同時に開始することもできます。

すべての電話が転送される場合は、待受画面に「 」が表示されます。

発着信規制と転送電話サービスは同時に使用できません。

発着信規制 (ネットワークサービス)

発着信規制を使用すると、本機からかける電話と本機にかかってくる電話を制限できます。この設定を変更するには、サービスプロバイダの発着信規制パスワードが必要です。必要な規制オプションを選択し、オン (**開始**) またはオフ (**停止**) に設定するか、オプションが使用中かどうか (**状態確認**) を調べます。**発着信規制**は、すべての通話が対象になり、データ通信も含まれます。

ネットワーク

本機では、GSM ネットワークと WCDMA ネットワークを自動的に切り替えることができます。GSM ネットワークの場合、待受画面に「 」が表示されます。WCDMA ネットワークの場合は「3G」が表示されます。

ネットワークモード (携帯電話事業者が対応している場合にのみ表示) — どのネットワークを使用するかを選択します。**デュアルモード**を選択すると、ネットワークパラメータおよび携帯電話事業者間のローミング契約に応じて、GSM ネットワークまたは WCDMA ネットワークが本機で自動的に使用されます。詳細については、携帯電話事業者にお問い合わせください。

携帯電話事業者選択 — **自動**を選択すると、本機がネットワークを検索して利用可能なネットワークの 1 つを選択するように設定されます。**手動**を選択すると、ネットワークリストでネットワークを手動で選択できます。手動で選択したネットワークが切れると、エラー音が鳴って、ネットワークを再接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択するネットワークは、お客様の契約ネットワーク (本機に装着している SIM カードのオペレータ) とローミング契約している必要があります。

用語 : ローミング契約とは、2 つ以上のネットワークサービスプロバイダ間の契約です。あるサービスプロバイダのユーザが他のサービスプロバイダを使用できるようになります。

セル情報表示 — **オン**を選択すると、本機がマイクロセルラーネットワーク (MCN) 技術に基づくセルラーネットワークで使用中であることが表示されるとともに、セル情報の受信を開始するように設定されます。

アクセサリ設定

待受画面に表示されるインジケータ :
「 」ヘッドセットが接続されています。
「 」ループセットが接続されています。
「 」Bluetooth テクノロジ搭載のカーキットが接続されています。
「 」ヘッドセットが使用できません。または、ヘッドセットへの Bluetooth 接続が切れました。

ヘッドセット、**ループセット**、または **Bluetooth ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ**を選択すると、次のオプションが使用可能になります。

デフォルトモード — 特定のアクセサリを本機に接続するたびに開始されるモードを設定します。「音の設定」(P.23) を参照してください。

自動応答 — 電話がかかってきてから約 5 秒後に自動応答するように設定します。着信音の再生方法が**ビー**

プ音一回または**着信音なし**に設定されている場合、自動応答は無効になります。

音声コマンド

音声コマンドを使用して本機を制御できます。音声コマンドはボイスタグと同じ方法で録音します。「ボイスタグの登録」(P.39) を参照してください。

を押して、**ツール** > **音声ｺﾏﾝﾄﾞ**の順に選択します。

音声コマンドをアプリケーションに登録する

音声コマンドはアプリケーションごとに 1 つだけ設定できます。

1 音声コマンドを登録するアプリケーションを選択します。

新しいアプリケーションをリストに追加するには、**[オプション]** > **新規ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ**の順に選択します。

2 **[オプション]** > **ボイスコマンド追加**の順に選択します。「ボイスタグの登録」(P.39) を参照してください。

ファイルマネージャ

本機の多くの機能ではメモリを使ってデータを保存します。そのような機能としては、電話帳、メッセージ、静止画、着信音、カレンダー、To-do ノート、ドキュメント、ダウンロードしたアプリケーションなどがあります。空きメモリ容量は、どのくらいのデータがすでに電話機メモリに保存されているかによって決まります。追加保存領域としてメモリカードを使用できます。メモリカードは読み書き可能なので、メモリカードのデータを削除したり保存したりできます。

電話機メモリやメモリカード内 (挿入されている場合) のファイルやフォルダを参照するには、を押して、**ツール** > **ファイル**の順に選択します。電話機メモリ表示「」が開きます。を押すと、メモリカード表示「」が開きます。

ファイルをコピーしたり、別のフォルダに移動したりするには、とを同時に押してファイルにマークを付け、**[オプション]** > **フォルダへ移動**または**フォルダへコピー**の順に選択します。

ファイルマネージャで表示されるアイコン :
「」フォルダ
「」サブフォルダがあるフォルダ

ファイルを検索するには、**[オプション] > 検索**の順に選択します。次に、検索するメモリを選択して、ファイル名に合致する検索テキストを入力します。

補足 : Nokia PC Suite の Nokia Phone Browser を使用すると、本機の各種メモリを表示できます。製品パッケージに同梱されている CD-ROM を参照してください。

メモリの使用状況を表示する

本機に格納されているデータのタイプや、各種データタイプで使用されているメモリ容量を表示するには、**[オプション] > メモリ詳細**の順に選択します。**空きメモリ**欄に、本機の空きメモリ容量が表示されます。

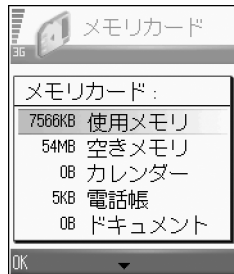
本機に挿入されているメモリカードの空きメモリ容量を表示するには、◐を押して、メモリカード表示を開き、**[オプション] > メモリ詳細**の順に選択します。

メモリ不足 — メモリを解放する

電話機メモリやメモリカードメモリの残量が少なくなると、本機にメッセージが表示されます。

電話機メモリを解放するには、ファイルマネージャでデータをメモリカードに転送します。移動するファイルにマークを付け、**フォルダへ移動 > メモリカード**の順に選択して、フォルダを選択します。

データを削除してメモリを解放するには、**ファイルマネージャ**を使用するか、対応するアプリケーションを開きます。たとえば、次のデータを削除できます。

- **メール**内の**受信メール**フォルダ、**下書き**フォルダ、および**送信済みメール**フォルダにあるメッセージ
- 電話機メモリに取得した E-mail メッセージ
- 保存したインターネットページ
- 保存した静止画ファイル、ビデオファイル、サウンドファイル
- 電話帳の情報
- カレンダーノート
- ダウンロードしたアプリケーション。「アプリケーション マネージャ」(P.118) もあわせて参照してください。
- 不要になったその他のデータ

メモリカードツール

注意 : 本機は、Reduced Size Dual Voltage (1.8/3V) MultiMediaCard (MMC) を使用しています。相互運用を確実にするためにデュアルボルテージマルチメディアカードを使用してください。MMC の互換性につきましては、MMC メーカーやプロバイダにご確認ください。

を押して、**ツール** > **メモリ**の順に選択します。追加保存領域としてメモリカードを使用できます。「メモリカードを取り付ける」(P.12) を参照してください。電話機メモリの情報をバックアップしておき、後でその情報を電話機に復元することもできます。

メモリカードスロットカバーが開いているとメモリカードを使用できません。

メモリカードは、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

処理中にはメモリカードスロットカバーを開けないでください。処理の途中でスロットカバーを開けると、メモリカードや電話機本体、カードに保存されているデータが破損する可能性があります。

メモリカードツールで使用できるオプションは、**電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ**、**カードから復元**、**ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄ**、**メモリカード名**、**メモリ詳細**、**ヘルプ**、および**終了**です。

本機と互換性のあるマルチメディアカード (MMC) のみを使用してください。他のメモリカード (SD カードなど) は MMC カードスロットに合いません。また、本機と互換性がありません。互換性のないメモリカードを使用すると、メモリカードや電話機本体、互換性のないカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

- 電話機メモリからメモリカードに情報をバックアップするには、**[オプション]** > **電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ**の順に選択します。
- メモリカードから電話機メモリに情報を復元するには、**[オプション]** > **カードから復元**の順に選択します。

メモリカードをフォーマットする

メモリカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて完全に削除されます。本機付属のメモリカードは、フォーマット不要です。

補足 : メモリカードの名前を変更するには、**[オプション]** > **メモリカード名**の順に選択します。

メモリカードには、プレフォーマットされているものと、フォーマットする必要があるものがあります。メモリカードを使用する前にフォーマットする必要があるかどうか小売店にお問い合わせください。

メモリカードをフォーマットするには、**[オプション] > メモリカードのフォーマット**の順に選択します。**[はい]** を選択して確認します。フォーマットが完了したら、メモリカードの名前を入力して、**[OK]** を選択します。

アプリケーションマネージャ

を押して、**ツール > アプリ**の順に選択します。2 種類のアプリケーションやソフトウェアを本機にインストールできます。本機は、アプリケーションやソフトウェアのインストールに制限があります。

- Java™ テクノロジに基づく J2ME™ アプリケーション。拡張子は JAD または JAR「 」です。PersonalJava™ アプリケーションはインストールできないので本機にダウンロードしないでください。アイコン ( ) は、メインメニューの画面に表示されます。

  例 : インストールファイルを E-mail の添付ファイルとして受信した場合は、メールボックスを開き、E-mail を開いて、添付ファイル表示を開きます。次にインストールファイルを選択して、◉ を押し、インストールを開始します。

- Symbian オペレーティングシステムに対応しているその他のソフトウェア「 」。このインストールファイルの拡張子は、SIS です。本機専用のソフトウェアだけをインストールしてください。アイコン ( ) は、メインメニューに表示されます。

インストールファイルは、互換性のあるコンピュータから本機に転送したり、インターネットサイトからダウンロードしたり、MMS、E-mail の添付ファイルとして、または Bluetooth 接続を使って受信したりできます。Nokia PC Suite の Nokia Application Installer を使って、アプリケーションを本機やメモリカードにインストールできます。ファイル転送に Microsoft Windows Explorer を使用している場合は、メモリカード (ローカルディスク) にファイルを保存してください。

アプリケーションやソフトウェアをインストールする

アプリケーションマネージャを開いたときに、次のアイコンが表示されます。

「□」(赤) - SIS アプリケーション
「□」(青) - Java アプリケーション
「 」- アプリケーションが完全にインストールされていません (画面右側に表示されます)。

重要 : 有害ソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのアプリケーションだけをインストールしてください。

インストールする前に、次のことを行ってください。

アプリケーションのタイプとバージョン番号、アプリケーションの供給元や製造元を表示するには、**[オプション] > 詳細情報表示**の順に選択します。

アプリケーションのセキュリティ証明書の詳細を表示するには、**[オプション] > 証明書表示**の順に選択します。「証明書管理」(P.111) を参照してください。

既存のアプリケーションの更新や修正が含まれるファイルをインストールする場合は、元のインストールファイルまたは削除するソフトウェアパッケージの完全バックアップがある場合にのみ、元のアプリケーションを復元できます。元のアプリケーションを復元するには、アプリケーションを削除し、元のインストールファイルまたはバックアップコピーを使ってアプリケーションを再度インストールします。

補足 : Nokia PC Suite の Nokia Application Installer を使ってもアプリケーションをインストールできます。本機付属 CD-ROM を参照してください。

Java アプリケーションをインストールするには JAR ファイルが必要です。このファイルがない場合は、ダウンロードするよう表示されます。アプリケーションで指定されているアクセスポイントがない場合は、選択するようにメッセージが表示されます。JAR ファイルをダウンロードする際、サーバアクセス用のユーザ名とパスワードを入力する必要がある場合があります。その場合は、アプリケーションの供給元または製造元から入手してください。

1 **アプリ**を開いて、インストールファイルを選択します。

   これ以外に、電話機メモリやメモリカードを検索して、アプリケーションを選択し、◉ を押してインストールを開始する方法もあります。

2 **[オプション] > インストール**の順に選択します。

   補足 : ブラウジング中に、インストールファイルをダウンロードして、接続を切らずにインストールできます。

   インストール中は、インストールの進行状況に関する情報が本機に表示されます。デジタル署名や証明書のないアプリケーションをインストールしようとすると、警告が表示されます。アプリケーションの供給元と内容が確かな場合にのみインストールを続行してください。

アプリのメイン表示で使用できるオプションは、**インストール**、**詳細情報表示**、**URL 入力**、**証明書表示**、**送信**、**削除**、**ｱﾌﾟﾘﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**、**ログ表示**、**ログ送信**、**更新**、**設定**、**ヘルプ**、および**終了**です。

インストールしたアプリケーションを開始するには、アプリケーションを選択して、◉ を押します。

ネットワーク接続を開始して、アプリケーションに関する追加情報を表示するには、アプリケーション

を選択して、**[オプション]** > **URL 入力**の順に選択します (使用可能な場合)。

どのソフトウェアパッケージがいつインストールまたは削除されたかを表示するには、**[オプション]** > **ログ表示**の順に選択します。

お客様のインストールログをヘルプデスクに送信して、インストールまたは削除されたものを知らせるには、**[オプション]** > **ログ送信** > **SMS**、**MMS**、**Bluetooth**、または **E-mail** の順に選択します (正しい E-mail 設定が行われている場合にのみ使用できます)。

アプリケーションやソフトウェアを削除する

ソフトウェアパッケージを選択して、**[オプション]** > **削除**の順に選択します。**[はい]** を押して確認します。

ソフトウェアを削除する場合、元のソフトウェアパッケージまたは削除するソフトウェアパッケージの完全なバックアップがないと再インストールできません。ソフトウェアパッケージを削除すると、そのソフトウェアで作成されたドキュメントを開けなくなる場合があります。

注意 : 別のソフトウェアパッケージが、削除したソフトウェアパッケージに依存している場合、別のソフトウェアパッケージが動作しなくなる場合があります。詳しくは、インストールしたソフトウェアパッケージのマニュアルを参照してください。

アプリケーション設定

ソフトウェアのインストール — インストールしたソフトウェアの種類を選択します (**オン**、**署名済のみ**、または**オフ**)。

オンライン証明書確認 — アプリケーションのインストール前にオンライン証明書をチェックする場合は選択します。

デフォルト URL — オンライン証明書をチェックするときに使用するデフォルトアドレスを設定します。

一部の Java アプリケーションでは、追加データや追加コンポーネントをダウンロードするために、通話、送信メッセージ、または特定のアクセスポイントへのネットワーク接続が必要になる場合があります。**アプリ**のメイン表示で、アプリケーションを選択し、**[オプション]** > **スイート設定**の順に選択して、そのアプリケーションに関連する設定を変更します。

著作権管理 — 著作権保護ファイルを扱う

著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集および転送は禁止されています。

本機に格納されているデジタル著作権管理キーを表示するには、 を押して、**ツール** > **著作権管理**の順に選択します。

- 有効なキー「 」は 1 つ以上のメディアファイルに接続されます。
- 期限切れキー「 」は、メディアファイルの使用時間を使い果たしたか、ファイルの使用期限が過ぎた場合に表示されます。**期限切れ**の著作権管理キーを表示するには、 を押します。
- メディアファイルの使用時間を追加購入したり、使用期間を延長したりするには、著作権管理キーを選択して、**[オプション]** > **コンテンツ使用**の順に選択します。インターネットサービスメッセージを受信できない場合は、著作権管理キーを更新できません。「インターネットサービスメッセージ」(P.76) を参照してください。
- その時点で使用中でないキー (**未使用**) を表示するには、 を 2 回押します。未使用の著作権管理キーに接続されるメディアファイルは本機に保存されていません。
- ファイルの有効状態や送信可否などの詳細情報を表示するには、著作権管理キーを選択して、 を押します。

メモリカード (MMC) 追加
アプリケーション

本機用の追加アプリケーションについて

製品パッケージには RS-MMC(Reduced-Size Dual Voltage MultimediaCard) が同梱されており、その中には Nokia やサードパーティが開発した追加アプリケーションが格納されています。RS-MMC の内容や、アプリケーションとサービスの利用可能性は、国、代理店、携帯電話事業者によって異なる場合があります。www.nokia.com/support で提供されるアプリケーションと、そのアプリケーションの使い方に関する詳細情報は、限定された言語でのみ提供されます。

一部の操作や機能は、SIM カードやネットワークによって、MMS によって、または機器の互換性や対応しているコンテンツ形式によって変わります。一部のサービスでは、別料金がかかることがあります。

非保証の表示

RS-MMC(Reduced-size MultimediaCard) に格納されているサードパーティ製アプリケーションは、ノキアとは関連のない個人または法人によって作成され、所有されています。ノキアはこれらサードパーティ製アプリケーションについての著作権や知的財産権を有しておりません。従いまして、ノキアはこれらのサードパーティ製アプリケーションの機能や、アプリケーションに含まれる情報や素材について責任を負いません。ノキアはこれらアプリケーションに関する保証も行いません。

あなたは、このソフトウェア及び / またはアプリケーション (総合して以下「ソフトウェア」と称します) が現状有姿 (“as is”) で提供され、適用ある法律によって認められる最大限の範囲で、あらゆる明示的および黙示的な保証も提供されないことを確認します。ノキアおよび関連会社は、明示または黙示の如何を問わず、権限や商業性の保証、特定目的への適合性に関する保証、またはソフトウェアが第三者の特許、著作権、商標などの権利を侵害しないことの保証を含み (ただしこれらに限定されない)、いかなる保証もするものではありません。ノキアもその関連会社も、ソフトウェアのどの部分もあなたの要求に見合うものであるかどうかについて、また、ソフトウェアの操作が中断されないことや、エラーが発生しないことについて、一切保証を行いません。あなたは、ご自身の意図する目的を達成させるためのソフトウェアの選択、またソフトウェアのインストール、使用、ならびにそれらによる結果に対して全責任を負うものとします。ノキア、その従業員および関連会社は、ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害 (逸失利益、売上、データ、情報、代替品またはサービスの購入費用、物質損害、人的損害、事業の中断、その他の特別な、または間接的、付随的、経済的、結果的な損害を含みますが、これらに限られないものとします。) についても、それがどのような原因により生じたものであっても、契約、不法行為、過失その他のいかなる責任理論によるものであっても、一切の責任を負いません。またノキアもしくは関連会社がそのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様とします。国、州、または管轄によっては上述のような保証の排除または責任の制限を認めていない場合がありますが、責任の上限額を設定することを認めている場合があります。かかる場合には、ノキア、その従業員および関連会社の責任は、50 ユーロを上限とします。この免責条項は、消費者に認められている法的権利を侵害するものではありません。

本書に記載された製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。使用可能性は国や地域により異なります。

NOKIA CORPORATION
NOKIA MULTIMEDIA MARKETING
P.O. BOX 100, FIN-00045 NOKIA GROUP, FINLAND
TEL. +358 7180 08000
TELEFAX +358 7180 34016
WWW.NOKIA.COM

はじめに

本機は、高性能かつ高機能でコンパクトな画像表示機能付き電話機で、勤務先や自宅、外出先でも多彩な機能をご利用いただけます。また、本機の機能を拡張する魅力的な各種アプリケーションが、Nokia をはじめさまざまなサードパーティからも提供されています。アプリケーションには、Reduced-Size MultiMediaCard（メモリカード）で提供されるものと、本機に同梱されている CD-ROM で提供されるものがあります。本書では、一部のアプリケーションについて説明しています。

使用できるアプリケーションは、国や地域によって異なります。

アプリケーションによっては、使用するにあたり、該当するライセンス条項に同意する必要があるものもあります。

注意 : メモリカードを取りはずすと、メモリカードにインストールされているアプリケーションは使用できなくなります。そうしたアプリケーションにアクセスするには、メモリカードを取り付けてください。

注意 : CD-ROM に格納されているアプリケーションは、使用する前に、互換性のある PC にインストールする必要があります。

ネットワークサービス

多くのアプリケーションは、動作するためにワイヤレスネットワーク機能を必要とします。これらのネットワークサービスはすべてのネットワークでご利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されている携帯電話事業者のサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されている携帯電話事業者から、サービスをご利用する際の追加の指示を受けたり、課金についての説明が必要になったりする場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

サポート

サードパーティ製のアプリケーションは、サードパーティの開発者がサポートします。アプリケーションに関する問題が発生した場合は、関連インターネットサイトでサポートを受けてください。本書に記載されている各アプリケーションの説明の最後にあるインターネットリンク先を参照してください。

オフィス (MMC)

Quickword

本機で Microsoft Word 文書を簡単に操作できます。**Quickword** を使用すると、本来の Microsoft Word 文書を受け取って、本機の画面に表示できます。**Quickword** は、色付き文字、太字、斜体、下線、全画面表示モードをサポートしています。

補足 : **Quickword** は、Microsoft Word 97、2000、XP の .doc 形式で保存された文書と、.doc 形式の Palm eBooks に対応しています。

Quickword の特徴は次のとおりです。

- 互換性のあるPCやPalm機器との間に相互運用性があります。
- メモリカードに文書を保存して、すぐにアクセスできます。

注意 : 記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

文書にアクセスして開く方法は次のとおりです。

- **Quickword** を起動し、**参照**オプションを使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。
- 受信したE-mailメッセージのE-mail添付ファイルを開きます (ネットワークサービス)。
- Bluetooth 接続を使用して、文書を**メール**の**受信メール**に送信します。
- **ファイルマネージャ**を使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。

Word ファイルの管理

電話機メモリやメモリカードに保存されている Word 文書を参照および管理するには、 を押して、**オフィス** > **Quickword** の順に選択します。

文書ファイルを開くには、ファイルを選択して、◉ を押します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

参照 — 電話機メモリやメモリカードに保存されている Word ファイルを参照できます。

ファイル > **並べ替え** — 現在表示されているファイルを名前順、サイズ順、日付順、ファイル拡張子順に並べ替えることができます。

ファイル > 検索 — **メールボックス**内のみのファイル、または電話機メモリとメモリカードの全フォルダ内のファイルを検索できます。

更新 — ファイルリストを更新できます。

詳細 — 現在のファイルのサイズと最終更新日時を表示できます。

削除 — 現在のファイルを削除できます。

Quickword を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション] > 終了**の順に選択します。

Word 文書を表示する

Word 文書を開いて表示するには、 を押して、**オフィス > Quickword** の順に選択します。文書を選択して、 を押します。

文書内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

文書内の文字を検索するには

1 **[オプション] > 検索 > 検索**の順に選択します。
2 検索する文字を**検索**フィールドに入力します。
3 を押して、**大文字小文字**フィールドに移動します。 または を押して、**区別する**または**区別しない**を選択します。
4 **[検索]** を選択して、検索を開始します。

補足 : 検索文字の次の一致箇所を検索する場合は、[#] を押します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

移動 — 文書の先頭、文書内で選択した位置、文書の末尾に移動できます。

ズーム — ズームインやズームアウトをおこなえます。

自動スクロール — 文書を自動的にスクロールできます。スクロールを停止するには、 を押します。

補足 : 自動スクロールの速度を遅くするには を押し、速くするには を押します。

文書を閉じてファイル表示に戻るには、**[戻る]** を選択します。

Quickword を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション] > 終了**の順に選択します。

詳細情報

このアプリケーションは、http://www.nokia.co.jp/support/phones/6680 からダウンロードできます (PC から)。

Quickword に関して問題が発生した場合は、http://www.quickoffice.com/(英語) にアクセスして、詳細情報をご覧ください。

電子メールによるサポートもおこなっています。電子メールアドレスは次のとおりです。supportS60@quickoffice.com(英語)

Quicksheet

本機で Microsoft Excel ファイルを簡単に操作できます。**Quicksheet** を使用すると、Excel ファイルを受け取って、本機の画面に表示できます。

補足： **Quicksheet** は、Microsoft Excel 97、2000、2003、XP の .xls 形式で保存されたスプレッドシートファイルをサポートしています。

Quicksheet の特徴は次のとおりです。

- [━] を2回クリックするとワークシート間を切り替えることができます。
- スプレッドシートの値や数式に含まれる文字を検索できます。
- 列のサイズを変更したり、行と列を固定したりできます。
- メモリカードにスプレッドシートを保存して、すぐにアクセスできます。

注意：記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

ファイルにアクセスして開く方法は次のとおりです。

- **Quicksheet** を起動し、**参照**オプションを使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。
- 受信したE-mailメッセージのE-mail添付ファイルを開きます (ネットワークサービス)。
- Bluetooth 接続を使用して、文書を**メール**の**受信メール**に送信します。
- **ファイルマネージャ**を使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。

スプレッドシートを管理する

電話機メモリやメモリカードに保存されているスプレッドシートファイルを参照および管理するには、 を押して、**オフィス** > **Quicksheet** の順に選択します。

スプレッドシートファイルを開くには、ファイルを選択して、◉ を押します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

参照 — 電話機メモリやメモリカードに保存されているスプレッドシートファイルを参照できます。

ファイル > **並べ替え** — 現在表示されているファイルを名前順、サイズ順、日付順、ファイル拡張子順に並べ替えることができます。

ファイル > **検索** — **メールボックス**内のみのファイル、または電話機メモリとメモリカードの全フォルダ内のファイルを検索できます。

更新 — ファイルリストを更新できます。

詳細 — 現在のファイルのサイズと最終更新日時を表示できます。

削除 — 現在のファイルを削除できます。

Quicksheet を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション]** > **終了**の順に選択します。

スプレッドシートを表示する

スプレッドシートを開いて表示するには、を押して、**オフィス** > **Quicksheet** の順に選択します。スプレッドシートファイルを選択して、を押します。

スプレッドシート内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

ワークシート間の切り替えをおこなうには、**[オプション]** > **移動** > **ワークシート**の順に選択し、ワークシートを指定して、**[OK]** を選択します。

スプレッドシートの値や数式に含まれる文字を検索するには、**[オプション]** > **検索** > **オプション**の順に選択します。

次のオプションを指定します。

検索 — 検索する文字を入力します。

検索対象 — または を押して、**値**または**式**で検索します。

範囲 — または を押して、検索領域 (**現在のシート**など) を選択します。

[検索] を選択して、検索を開始します。

スプレッドシートの表示方法を変更するには、**[オプション]** を選択して、次のオプションを選択します。

画面サイズ変更 — 全画面表示モードと部分画面表示モードを切り替えることができます。

ズームレベル — ズームインやズームアウトをおこなえます。

固定 — 強調表示した行、列、またはその両方を表示したまま、スプレッドシート内を移動できます。

列幅調整 — または を押して、列を狭くしたり広くしたりできます。列が希望の幅になったら、を押します。

スプレッドシートを閉じてファイル表示に戻るには、**[戻る]** を選択します。

Quicksheet を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション]** > **終了**の順に選択します。

詳細情報

このアプリケーションは、
http://www.nokia.co.jp/support/phones/6680
からダウンロードできます (PC から)。

Quicksheet に関して問題が発生した場合は、http://www.quickoffice.com/(英語) にアクセスして、詳細情報をご覧ください。

電子メールによるサポートもおこなっています。電子メールアドレスは次のとおりです。
supportS60@quickoffice.com (英語)

注意 : **Quickshee**t は、**Quickword** に依存しています。**Quickword** をアンインストールすると、**Quicksheet** でスプレッドシートや Excel 文書を表示できなくなります。

Quickpoint

本機で PowerPoint 文書を簡単に操作できます。**Quickpoint** を使用すると、PowerPoint プレゼンテーションを受け取って、本機の画面に表示できます。

補足 : **Quickpoint** は Microsoft Powerpoint 97、2000、XP の .ppt 形式で作成されたプレゼンテーションをサポートしています。

Quickpoint の特徴は次のとおりです。

- 次の 4 種類の表示形式で表示できます。
  - アウトライン表示
  - ノート表示
  - スライド表示
  - サムネール表示
- メモリカードにプレゼンテーションを保存して、すぐにアクセスできます。

注意 : 記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

ファイルにアクセスして開く方法は次のとおりです。

- **Quickpoint** を起動し、**参照**オプションを使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。
- 受信した E-mail メッセージの E-mail 添付ファイルを開きます (ネットワークサービス)。
- Bluetooth 接続を使用して、文書を**メール**の**受信メール**に送信します。
- **ファイルマネージャ**を使用して、電話機メモリやメモリカードに保存されている文書を参照して開きます。

プレゼンテーションを管理する

プレゼンテーションファイルを参照および管理するには、 を押して、**オフィス** > **Quickpoint** の順に選択します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

参照 — 電話機メモリやメモリカードに保存されているプレゼンテーションファイルを参照できます。

ファイル > 並べ替え — 現在表示されているファイルを名前順、サイズ順、日付順、ファイル拡張子順に並べ替えることができます。

ファイル > 検索 — メールボックス内のみのファイル、または電話機メモリとメモリカードの全フォルダ内のファイルを検索できます。

更新 — ファイルリストを更新できます。

詳細 — 現在のファイルのサイズと最終更新日時を表示できます。

削除 — 現在のファイルを削除できます。

Quickpoint を終了してオフィスフォルダに戻るには、[オプション] > 終了の順に選択します。

プレゼンテーションを表示する

プレゼンテーションを選択して表示するには、を押して、オフィス > Quickpoint の順に選択します。

アウトライン表示、ノート表示、スライド表示、サムネール表示の間で切り替えをおこなうには、または を押します。

または を押すと、プレゼンテーションの次または前のスライドに移動できます。

アウトラインを表示する

プレゼンテーションを選択して、を押します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

画面サイズ変更 — 全画面表示モードと部分画面表示モードを切り替えることができます。

アウトライン — プレゼンテーションのアウトライン項目を展開したり折りたたんだりできます。

ナビゲート — ページを上下に移動できます。

表示 — ノート表示、スライド表示、またはサムネール表示に切り替えることができます。

プレゼンテーションを閉じてファイル表示に戻るには、[戻る] を選択します。

Quickpoint を終了してオフィスフォルダに戻るには、[オプション] > 終了の順に選択します。

ノートを表示する

プレゼンテーションを選択し、を押し、を押して、ノート表示を選択します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

画面サイズ変更 — 全画面表示モードと部分画面表示モードを切り替えることができます。

ナビゲート — 次または前のスライドに移動できます。

表示 — アウトライン表示、スライド表示、またはサムネール表示に切り替えることができます。

プレゼンテーションを閉じてファイル表示に戻るには、**[戻る]** を選択します。

Quickpoint を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション] > 終了**の順に選択します。

スライドを表示する

プレゼンテーションを選択し、◉を押し、◔を押して、**スライド**表示を選択します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

画面サイズ変更 — 全画面表示モードと部分画面表示モードを切り替えることができます。

ナビゲート — 次または前のスライドに移動できます。

表示 — **アウトライン**表示、**ノート**表示、または**サムネール**表示に切り替えることができます。

全画面表示モードでは、キーを押して次のことができます。

- [1] — ズームアウトできます。
- [2abc] — ズームインできます。
- [3def] — スライドを画面サイズに合わせることができます。

プレゼンテーションを閉じてファイル表示に戻るには、**[戻る]** を選択します。

Quickpoint を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション] > 終了**の順に選択します。

サムネールを表示する

プレゼンテーションを選択し、◉を押し、◔を押して、**サムネール**表示を選択します。

[オプション] を選択して、次のいずれかを選択することもできます。

ナビゲート — ページを上下に移動できます。

表示 — **アウトライン**表示、**ノート**表示、または**スライド**表示に切り替えることができます。

プレゼンテーションを閉じてファイル表示に戻るには、**[戻る]** を選択します。

Quickpoint を終了して**オフィス**フォルダに戻るには、**[オプション] > 終了**の順に選択します。

詳細情報

このアプリケーションは、http://www.nokia.co.jp/support/phones/6680 からダウンロードできます (PC から)。

Quickpoint に関して問題が発生した場合は、http://www.quickoffice.com/(英語) にアクセスして、詳細情報をご覧ください。

電子メールによるサポートもおこなっています。電子メールアドレスは次のとおりです。supportS60@quickoffice.com(英語)

イメージング

ムービーディレクタ

ムービーディレクタを使用すると、映像、サウンド、文字が入った編集済みビデオクリップを作成できます。編集は、選択するスタイルに応じて自動的におこなわれます。スタイルによって、ビデオクリップで使用されるトランジションや視覚効果が決まります。

を押して、**オフィス** > **ムービーディレクタ**の順に選択します。

または を押すと、「」タブ「」とタブの間を移動できます。

「」タブでは、次のオプションを選択できます。

クイック muvee — ランダムに選択したビデオクリップや静止画から短編のビデオクリップを作成できます。スタイルを選択して、を押します。

カスタム muvee — ビデオクリップを選択して、スタイル、音楽、メッセージを当てはめたり、ビデオクリップの長さを設定したり、保存する前にビデオクリップをプレビューしたりできます。次のオプションを指定します。

- **ビデオ** — 使用するビデオクリップを選択できます。
- **画像** — 使用する静止画を選択できます。
- **スタイル** — リストからスタイルを選択できます。スタイルによって、効果やメッセージキャプションが決まります。各スタイルは、デフォルトの音楽やメッセージ文字と関連付けられています。
- **ミュージック** — リストから音楽クリップを選択できます。
- **メッセージ** — ビデオクリップの始めと終わりにキャプションを入れることができます。メッセージは入力することも、テンプレートから選択することもできます。デフォルトのメッセージ文字は編集可能です。
- **muvee作成** — ビデオクリップの長さを設定するように要求されます。マルチメディアメッセージ (MMS) で送信するのに適したサイズのビデオクリップを作成する場合は **MMS** を選択し、選択した音楽クリップと同じ長さのビデオを作成する場合は**ミュージックと同じ**を選択し、ビデオの長さをユーザが入力する場合は**ユーザ定義**を選択します。

ビデオをプレビューする準備が整うと、**muvee プレビュー**表示が開きます。ここでは、**再生**、**再作成**、および**保存**を選択できます。

補足：スライドショーを作成するには、**カスタム muvee** を選択して、静止画のみを選択します。

ｽﾀｲﾙﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ — 新しいスタイルをダウンロードしてインストールできます。

設定 — 変更する設定を選択できます。

- **使用するメモリ** — **電話機メモリ**または**メモリカード**を選択できます。
- **解像度** — **高**、**低**、または**自動**を選択できます。
- **デフォルトの muvee 名** — ビデオクリップのデフォルト名を入力できます。

タブにはビデオクリップのリストがあり、**再生**、**送信**、**名前変更**、および**削除**をおこなうことができます。

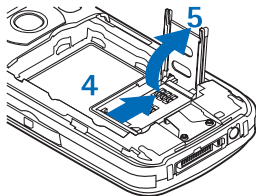
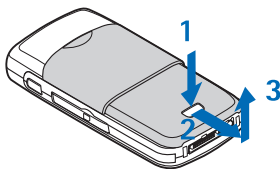
Vodafone 702NKII User's Guide

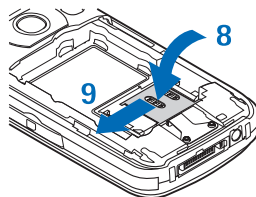
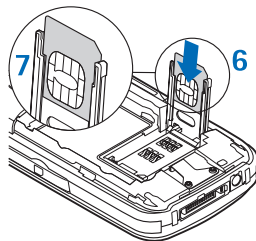
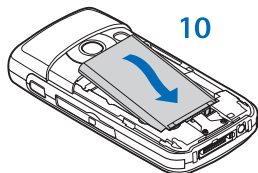
Before use

Insert the SIM or USIM card and battery

Glossary: The USIM card is an enhanced version of the SIM card and is supported by UMTS mobile phones.

1 With the back of the phone facing you, press the release button (1), and slide the cover in the direction of the arrow (2).

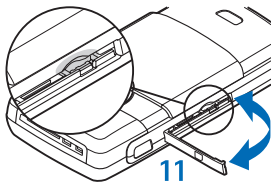
2 Lift the cover (3).
3 To release the SIM card holder, slide the holder in the direction of the arrow (4), and open it (5).

4 Insert the SIM or USIM card into the holder (6). Make sure that the bevelled corner (7) on the SIM card is facing upward from the holder and that the contact area on the card is facing the connectors on the device.

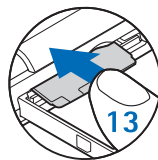
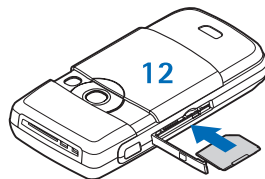
5 Close the SIM card holder (8), and lock it into place (9).

6 Insert the battery (10).
7 Replace the back cover.

Insert the memory card

Use your memory card to save the memory on your phone. In the sales package, you can find:

- the memory card (Reduced Size MultiMediaCard, RSMMC)

- the MultiMediaCard (MMC) adapter. The adapter is not needed when you use the memory card in your phone. The adapter allows you to use the memory card in another device that has a full-size MMC slot.

1 To insert the memory card, open the door (11) of the memory card slot. With the phone facing down, place your finger in the recess on top of the door and pull out the bottom of the door.

2 Insert the memory card in the slot (12). Make sure that the bevelled corner is facing towards the base of the phone and that the contact area on the card is facing down.

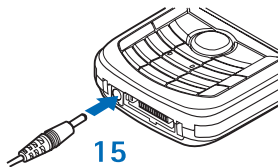
3 Push the card in (13). You can hear a click when the card locks into place.
4 Close the door. You cannot use the memory card if the door is open.

Eject the memory card

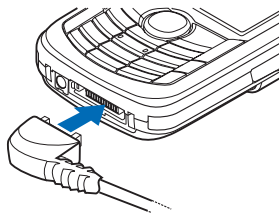
1 Open the door of the memory card slot.
2 Press the memory card to release it from the slot (14).
3 Remove the memory card. If your phone is switched on, press OK.

Do not open the memory card slot door in the middle of an operation. This may damage the memory card and the device, and data on the card may be corrupted.

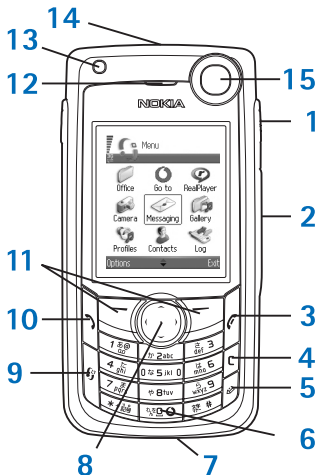
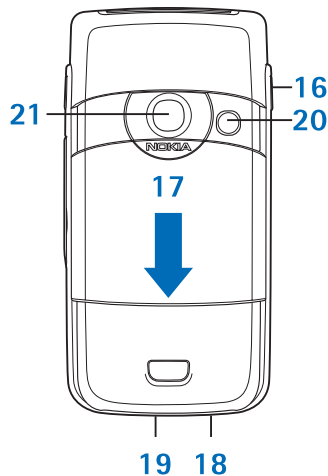
Charge the battery

1 Connect the charger to a wall outlet.
2 Connect the power cord to the phone (15).
The battery indicator bar starts scrolling. The phone can be used while charging. If the battery is completely discharged, it may take a few minutes before the charging indicator is shown.

3 When the battery is fully charged, the bar stops scrolling. Disconnect the charger, first from the phone, then from the wall outlet.

Headset

Connect the compatible headset to the Pop-Port™ connector of your phone.

Warning: This headset may affect your ability to hear sounds around you. Do not use this headset in situations that may endanger your safety.

Keys and parts

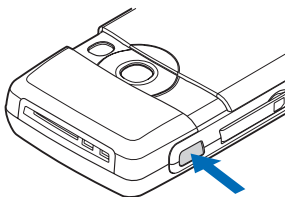
- Power key (1)
- Memory card slot (2)
- End key (3)
- The **Clear** key (4) deletes text and items.
- The **Edit** key (5) opens a list of commands when you edit text, such as Copy, Cut, and Paste.
- Press and hold わをを0 (6) as a shortcut to a Web connection.
- Microphone (7)
- 5-way **Scroll** key (8) to move around the menus. Press the Scroll key in the middle ( ) to select, accept, or activate.
- The **Menu** key (9) opens the main menu, as shown in the picture.
- Call key (10)

- Left ( ) and right ( ) selection keys (11) select the commands and items shown on the display.
- Earpiece (12)
- Light sensor (13) constantly observes the lighting conditions. May cause the display and keypad to flash in low light.
- Loudspeaker outlet (14)
- Front camera (15) for video calling (lower resolution than the back camera).
- Press the **Voice** key (16) during a call to change between the handset and loudspeaker. Press and hold in the standby mode to activate voice commands.
- Open the camera lens cover (17) to activate the back camera. This also deactivates the keypad lock, if it

is on. Closing the camera lens cover returns the phone to the previous mode, and keypad lock is reactivated, if it was on.

- Charger connector (18)
- Pop-Port™ connector (19) for the USB data cable, headset, and other enhancements.
- LED flash (20)
- Back camera (21) for high resolution image capture or video recording.

Switch the phone on

Press and hold the power key .

If the phone asks for a PIN code, UPIN code, or lock code, enter the code (displayed as ****), and press (**OK**). The PIN code or UPIN code is usually supplied with the SIM or USIM card. The factory setting for the lock code is **12345**.

Your device has a built-in antenna.

Note: As with any other radio transmitting device, do not touch the antenna unnecessarily when the device is switched on. Contact with the antenna affects call quality and may cause the device to operate at a higher power level than otherwise needed. Avoiding contact with the antenna area when operating the device optimises the antenna performance and the battery life.

About the display

Remove the protective plastic films covering the display and front camera.

A small number of missing, discoloured, or bright dots may appear on the screen. This is a characteristic of this type of display. Some displays may contain pixels or dots that remain on or off. This is normal, not a fault.

First settings

1 When you switch on the phone for the first time, it may ask you to set the following information:
City, Time, and Date: Use (Scroll key) and the number keys. Enter the first letters of the city name to find the city. Note that the city selected also defines the time zone for the clock in your phone.
2 Press (Menu key) to open the main Menu.

Note: Your service provider/network operator may have requested a different order for menu items or the inclusion of different icons in the phone menu. Contact your service provider/ network operator or Hello Nokia for assistance with any features that differ from those described in this guide.

Configure MMS and Internet settings

Your device has a configuration tool, which automatically configures MMS, GPRS, streaming and Internet settings based on your service provider information. You may also have settings from your service providers already in your phone.

Keypad lock (keyguard)

Use the keypad lock to prevent the keys from being accidentally pressed.

To lock: In the standby mode, press , then * + 記号 . When the keys are locked, is shown on the display.

To unlock: Press , then * + 記号 .

When the keypad lock is on, calls still may be possible to the official emergency number programmed into your device. Enter the emergency number, and press .

To turn on the display light when the keypad lock is on, press .

In this situation, calls to 110, 118 and 119 may not be possible depending on your USIM card. In that case, please set this option off and make calls with these numbers.

Essential indicators

The phone is being used in a GSM network.

The phone is being used in a UMTS network.

You have received one or several messages to the **Inbox** folder in **Messaging**.

There are messages waiting to be sent in the **Outbox** folder.

and You have missed calls.

Shown if **Ringing type** is set to **Silent** and **Message alert tone**, **E-mail alert tone** are set to **Off**.

The phone keypad is locked.

You have an active clock alarm.

The second phone line is being used.

All calls to the phone are diverted to another number. If you have two phone lines, the divert indicator for the first line is and for the second .

A headset is connected to the phone.

A loopset is connected to the phone.

A Bluetooth-enabled car kit is connected to the phone.

The connection to a Bluetooth-enabled headset has been lost.

A data call is active.

A GPRS or EDGE packet data connection is available.

A GPRS or EDGE packet data connection is active.

A GPRS or EDGE packet data connection is on hold.

A WCDMA packet data connection is available.

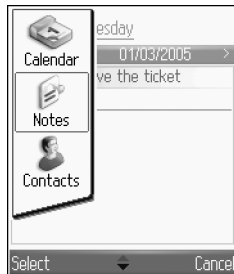
A WCDMA packet data connection is active.

Bluetooth connectivity has been set to **On**.

Data is being transmitted using a Bluetooth connection.

A USB connection is active.

Standby mode shortcuts

- To switch between applications that are open, press and hold . If memory is low, the phone may close some applications. The phone saves any unsaved data before closing an application.
- To open **Go to** list, press .
- To open **Contacts**, press .
- To open **Log**, press .
- To write a new message, press .
- To change the profile, press , and select a profile.
- To open the last dialled numbers list, press .
- To use voice commands, press and hold .
- To start a connection to **Web**, press .

Tips for efficient use

- To mark an item in a list, scroll to it, and press and at the same time.
- To mark multiple items in a list, press and hold , while you press or . A check mark is placed next to the selected items. To end the selection, release the scroll key, then release . After you select all the items you want, you can move or delete them.
- In some situations, when you press , a shorter options list shows the main commands available in the view.
- To copy and paste text: To select letters and words, press and hold . At the same time, press or . As the selection moves, text is highlighted. To copy the text to clipboard, while still holding , press **Copy**. To insert the text into a document, press and hold and press **Paste**.

Transfer content from another phone

- Use the Nokia Content Copier available in Nokia PC Suite to copy content from a compatible Nokia phone. See the CD-ROM supplied with your phone. Nokia Content Copier supports several Nokia phone models. For more information on the phones supported by each Nokia PC Suite, refer to the www.nokia.co.jp pages.

Help

Your phone has a help function. To access it from an application, select **Options > Help**.

Example: To view instructions on how to create a contact card, start to create a contact card, and select **Options > Help**; or select **Tools > Help** to open the instructions for **Contacts**. When you are reading the instructions, to switch between **Help** and the application that is open in the background, press and hold .

Nokia support on the web

Check www.nokia.co.jp for additional information, downloads, and services related to your Nokia product.

区点コード一覧表

区点 1~3行目	区点４行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ

区点 1~3行目	区点４行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					【 あ 】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点 1~3行目	区点４行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					【 い 】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					【 う 】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					【 え 】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					【 お 】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					【 か 】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬

区点 1~3行目	区点４行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					【 き 】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					【 く 】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂

区点 1~3行目	区点４行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					【 け 】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					【 こ 】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
					【 さ 】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
【 し 】										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
【 す 】										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
【 せ 】										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
【 そ 】										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
【 た 】										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
【 ち 】										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
【 つ 】										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
【 て 】										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
【 と 】										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
【 な 】										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
【 に 】										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
【 ぬ 】										
390									濡	
【 ね 】										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
【 の 】										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
【 は 】										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
【 ひ 】										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
【 ふ 】										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
【 へ 】										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
【 ほ 】										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
【 ま 】										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
【 み 】										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【 む 】									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【 め 】									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【 も 】									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【 や 】									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【 ゆ 】									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【 よ 】									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【 ら 】									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【 り 】									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【 る 】									
466	瑠	瑩	涙	累	類					

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【 れ 】									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【 ろ 】									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【 わ 】									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬

区点コード一覧表

区点 1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

トラブルシューティング

Q&A

Q: 自局電話番号の表示方法は？

A: > **電話帳** > **[オプション]** > **SIM 電話帳** > **SIM フォルダ** > **[オプション]** > **自局電話番号**の順に選択します。

Q: 電話帳の一括削除の方法は？

A: > **電話帳** > **[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** > **[オプション]** > **削除**の順に選択します。

Q: 初期設定への戻し方は？

A: > **ツール** > **設定** > **電話機** > **一般** > **デフォルト設定に戻す** > **ロックコード**（初期設定：12345）を入力します。

注意：「**デフォルト設定に戻す**」では設定が元に戻るだけで、ユーザデータは削除されません。

Q: ロックコードは何ですか？

A: 初期設定は「12345」です。

Q: 時計合わせで札幌に設定してしまったので東京に設定し直したい。

A: > **オフィス** > **時計** > 世界時計のタブを選択 > **[オプション]** > **都市追加** > 東京を選択 > **[オプション]** > **現在地の設定**の順に選択します。

Q: 留守電に切り替わるまでの時間を設定したい。

A: > **ツール** > **設定** > **転送電話ｻｰﾋﾞｽ** > **電話** > 転送の条件を選択 > **開始** > **別の電話番号へ** > 09066517000 を入力 > 5 ～ 30 秒の中から選択します。転送の条件が「応答なし」、「通話不能」の場合のみ時間の変更が可能です。

Q: RC-MMC へのバックアップ方法を知りたい。

A: > **ツール** > **メモリ** > **[オプション]** > **電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ** の順に選択します。

Q: RS-MMC にバックアップしたデータの戻し方を知りたい。

A: > **ツール** > **メモリ** > **[オプション]** > **カードから復元**の順に選択します。

注意：RS-MMC にバックアップされたデータが無い場合、「**カードから復元**」のメニューは表示されません。

Q: RS-MMC の空き（使用）メモリを知りたい。

A: > **ツール** > **メモリ**の順に選択します。

Q: RS-MMC に保存されている中身を確認したい。

A: > **ツール** > **ファイル** > RS-MMC のタブを選択します。

Q: 本体に保存されている画像を RS-MMC へ保存したい。

A: > **ギャラリー** > **画像** > RS-MMC に保存したい画像上にカーソルを置く > **[オプション]** > **整理** > **メモリカードにコピー／メモリカードへ移動**の順に選択します。

Q: インターネット閲覧で URL を直接入力したい。

A: 待受画面 > [ ] > **[オプション]** > **ナビゲーション** > **URL 入力**の順に選択します。

Q: 海外でのネットワークの選択方法を知りたい。

A: 自動選択なのでそのままお使いいただけます。

Q: MMS が送受信できない。

A: > **メール** > **[オプション]** > **設定** > **MMS** > **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** > **VFJP MMS** の順に選択します。

注意：何らかの理由で VFJP MMS が削除されている場合は、デフォルト設定に戻してください。

Q: MMS を受信した場合、電話帳に登録されていても名前が表示されず、E-mail アドレスのみが表示される。

A: 仕様ですのでご了承ください。

Q: Nokia PC Suite の Audio Manager を使って作成した音楽ファイル（MP3/AAC）が聞けない。

A: この機能には対応しておりません。

Q: Symbian のアプリケーションがインストールできるか知りたい。

A: ボーダフォン、Symbian 証明書のついたアプリケーションのみインストール可能です。

Q: 着信音の聞き方を知りたい。

A: > **モード** > **[オプション]** > **カスタマイズ** > **着信音** > **音選択**の順に選択します。

Q: 携帯電話端末正面左上のライトのようなものは何ですか？

A: ライトではなく光センサーです。暗所にてセンサーが反応することにより、ディスプレイのバックライトとキーパッド部分が点灯する仕様です。

Q: ワードファイルの閲覧方法を知りたい。

A: 同梱の RS-MMC を携帯電話端末に挿入していただくだけでご覧いただけます。

電池について

充電と放電

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。新しい電池を使用する際には、完全充電と放電のサイクルを 2、3 回繰り返すと、完全に充電できるようになります。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間 (通話時間と待受時間) が極端に通常より短くなった場合は、新しい電池をお買い求めください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

電池パックを外す前に、本機の電源が切ってあり、充電器が接続されていないことを確認してください。

充電器を使用していないときは、コンセントから外してください。充電したまま放置しないでください。過充電は、電池の寿命を短くする場合があります。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。極端な高温や低温の状態では、電池の充電能力が低下します。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物 (コイン、クリップ、またはペン) が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子 (電池の金属部分) に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に 15 ℃～ 25 ℃ (59° F ～ 77° F) の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0 ℃以下では、電池の性能が著しく制限されます。

火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池は、リサイクル処分など地域の条例に従って処理してください。一般廃棄物として廃棄しないでください。

Nokia 純正アクセサリ

Nokia6680 とご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のコミュニケーションニーズに合ったアクセサリをお選びください。Nokia6680 に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

Nokia6680 対応のアクセサリリスト :

オーディオ

Fashion Stereo Headset	HS-3
Headset	HS-5
Boom Headset	HDB-4
Inductive Loopset	LPS-4
Radio Headset	HS-2R
Wireless Boom Headset	HS-4W
Wireless Headset	HDW-3
Wireless Headset	HS-11W
Wireless Image Headset	HS-13W
Wireless Clip-on Headset	HS-21W
Music Stand	MD-1

車載キット

Wireless Plug-in Car Handsfree	HF-6W
Plug-in Car Handsfree	HF-3
Headrest Handsfree	BHF-3
Wireless Car Kit	CK-1W
Advanced Car Kit	CK-7W
Car Kit	CK-10
Mobile Holder	CR-27

データ

128 MB MultiMediaCard(MMC)	MU-2
Wireless GPS Module	LD-1W

イメージング

Remote Camera	PT-6
Image Album	PD-1

メッセージ

Digital Pen	SU-1B
Wireless Keyboard	SU-8W

電源

Retractable Charger AC-1

Mobile Charger LCH-12

本機に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

アクセサリのご購入については、製品お買い上げ店に確認してください。アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

- お子様の手の届く所に置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際は、コードではなくてプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。

Nokia が認定した電池、充電器、およびアクセサリのみを使用してください。それ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、危機が及ぶ場合があります。

電池

タイプ	仕様	連続通話時間 #	連続待受時間 #
BL-5C	Li-Ion	最大約 190 時間 (WCDMA) 最大約 360 時間 (GSM)	最大約 260 時間

SIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。

Nokia Travel Charger ACP-12

高速で効率よく電話機の電池を充電できます。旅行に便利な多電圧対応の充電器です。
注意 : 国によってプラグのタイプは異なります。

Wireless Boom Headset HS-4W

Nokia Wireless Boom Headset をご使用になると、両手が自由になります。会議出席のために急いでいるときでも、散歩中でも、電話に出るためにバッグやコートのなかを探す必要はありません。

ハンズフリーの便利さがわかると、この軽量で快適なヘッドセットを手放せなくなります。

仕事でもプライベートでも、生活のニーズとリズムに合わせて洗練されたこの快適な技術が役立ちます。ご活用ください。

- スタイリッシュで快適なワイヤレスヘッドセット
- Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載
- 使いやすいヘッドセットでの通話操作
- 簡単に使えるハンズフリー機能
- 左右の耳への掛け替えが容易
- 状態表示用の LED ランプ付き

Nokia Digital Pen SU-1B

デジタルペンでカラフルで個性的なメッセージを作成し、互換性のある電話機に Bluetooth テクノロジーで送信したり、MMS で転送したりできます。デジタルペンで書いた内容を互換性のある PC に保存することもできます。

お手入れとメンテナンスのお問い合わせ先

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強い洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ (カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等) のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。適切に動作しない機器がある場合は、製品お買い上げ店までご相談ください。

安全についての追加情報

操作環境

本機の利用について特別な規則がある場所では、それらの規則に従ってください。本機の使用が禁止されている、または電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。本機を通常の操作位置以外で、ご使用にならないでください。無線周波数暴露のガイドラインに適合するために、Nokia が認定したアクセサリのみを使用してください。本機の電源が入っている状態で人体に身に付ける場合は、Nokia 認定のキャリングケースに入れてご使用ください。

医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の RF 信号から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の RF 信号に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 本機の電源が入っているときは、常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。
- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。

ペースメーカーの誤作動が少しでも感じられた場合は、すぐに本機の電源を切ってください。

補聴器

デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

自動車

RF 信号は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置 (電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など) に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われている現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、液化石油ガス (プロパンまたはブタン等) を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

緊急通報

重要：他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。

ネットワークによっては、有効な SIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。

2 必要な回数だけ を押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。

3 現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。

4 を押して電話をかけます。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

警告：オフラインモードでは、特定の緊急電話番号以外に電話をかけたり、ネットワーク接続が必要な機能を使用したりすることはできません。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 Nokia 6680 の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機 Nokia 6680 の SAR は、0.32W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

ノキア・ジャパンのホームページ：
http://www.nokia.co.jp

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の２）で規定されています。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

日本国内でのご使用に関して不明な点や何かお困りの際は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ノキアコンタクトセンター「ハローノキア」
0570-0-66542
http://www.nokia.co.jp

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。

索　引

た

な

は

ま

や

ら

わ

B

E

M

N

P

R

S

T

U